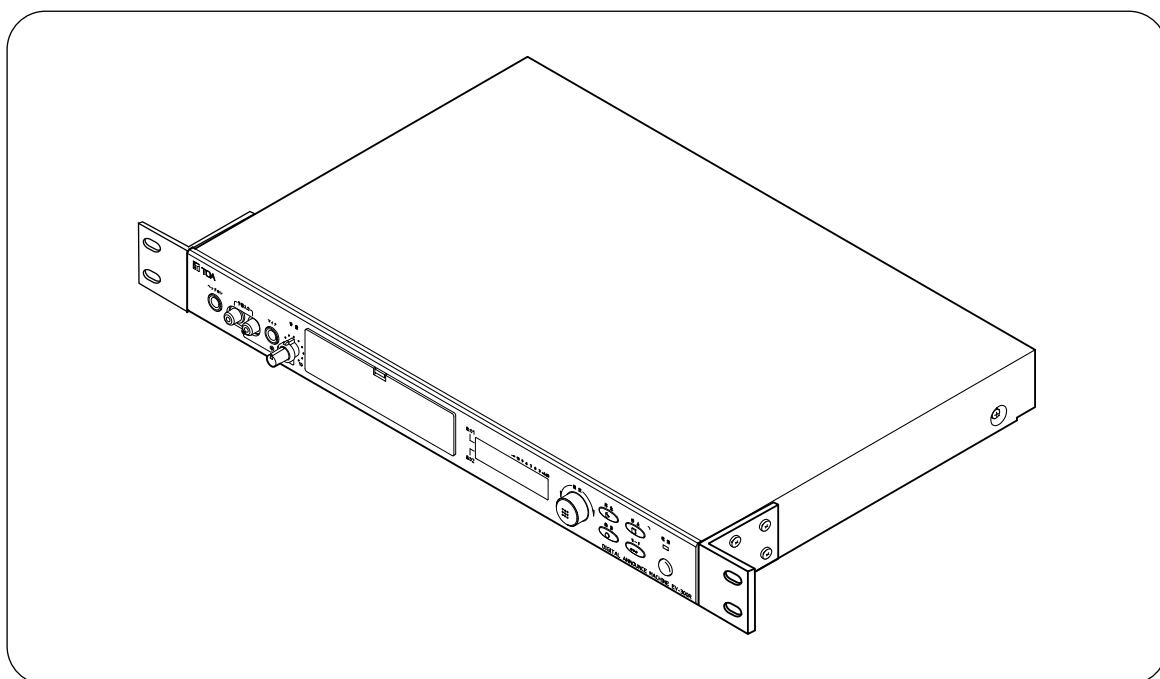




取扱説明書

デジタルアナウンスマシン

EV-350R



このたびは、TOA デジタルアナウンスマシンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みにになり、末長くご愛用くださいますよう
お願い申し上げます。

TOA 株式会社

目次

安全上のご注意	6
---------------	---

機器の概要

はじめに

概要	9
特長	9
使用上のご注意	9
メモリーカードについて	
使用できるメモリーカード	9
使用できるメモリーカードと録音可能最大時間（カード1枚あたり）	10
SRAMメモリーカードをご使用になる前に	10
メモリーカードの抜き差し	11
メモリーカードの取り扱い	11

各部の名称とはたらき

[前面]	12
[後面]	13

基本操作と機能

基本操作と表示画面

各種設定・操作に使用するキーとダイアル	14
表示画面の説明	14
操作の全体の流れ（再生・録音・設定）	15
操作機能の一覧（録音・再生・設定）	16

文章とプログラム

文章とは	18
プログラムとは	18

録音の機能と操作

録音

録音する前に

録音上の注意点	20
接 続	20
電源投入	21
カードのフォーマット（初期フォーマット）	21

録音音質

録音音質について	22
録音音質の適用について	22

マニュアルスタート録音とオートスタート録音

録音方式	23
オートスタート録音の設定	23

緊急文章の録音	23
---------------	----

録音設定の手順	24
---------------	----

録音のしかた

マニュアルスタート録音	24
オートスタート録音	26

緊急文章の録音	26
---------------	----

再生の機能と操作

再生

再生する前に

1元再生モードと2元再生モード	28
出力表示	28

手動操作による再生

操作部と接続部	29
再生のしかた	29

再生操作の手順

[出力1に設定されたプログラムの再生]	30
[出力2に設定されたプログラムの再生]	30
[出力1および出力2に設定されたプログラムの再生]	30
再生中の画面表示	32
再生プログラムの情報表示	33

緊急再生（外部起動）	34
------------------	----

緊急再生の起動	34
---------------	----

設定の機能と操作

設定機能

設定機能（1. プログラムの設定）

プログラム入力の設定（1-1 プログラム入力）	35
-------------------------------	----

再生方式

[プログラム連続再生]	36
[プログラム単独再生]	36
[リピート再生]	37
[エンドレス再生]	38

ステップの入力／削除／挿入	39
---------------------	----

プログラムの出力レベルの設定（1-2 出力レベル）	40
---------------------------------	----

プログラムの確認（1-3 プログラム確認）	40
-----------------------------	----

プログラムの初期化（1-4 プログラム初期化）	40
-------------------------------	----

プログラムタイトルの入力・編集（1-5 プログラムタイトル入力）	40
--	----

設定機能（2. 文章の編集）

文章の確認（2-1 文章確認）	40
-----------------------	----

文章の消去（2-2 文章消去）	40
-----------------------	----

文章タイトルの入力・編集（2-3 文章タイトル）	40
--------------------------------	----

文章無音部削除（2-4 文章無音削除）	40
---------------------------	----

設定機能（3. 文章／プログラムのモニタ）

文章のモニタ（3-1 文章モニタ）	41
-------------------------	----

プログラムモニタ（3-2 プログラムモニタ）	41
------------------------------	----

設定機能（4. 出力／音量の調節）

1元再生モード／2元再生モードの切り換え（4-1 1元／2元再生切り換え）	41
---	----

全体音量の設定（4-2 全体音量）	41
-------------------------	----

設定機能（5. 本体の動作設定）

リモート制御機能設定（5-1 制御機能設定）〔録音／消去、再生、停止〕	42
---	----

リモート制御の起動モード切り換え（5-2 起動モード切り換え）	
---------------------------------	--

[起動モード]	44
---------------	----

ダイレクトモード	
[リモート録音]	45
[リモート消去]	45
[リモート再生]	45
[リモート停止]	47
バイナリモード	
[リモート録音]	47
[リモート消去]	48
[リモート再生]	48
[リモート停止]	49
ビジー出力および再生遅延時間の設定 (5-3 ビジー設定)	
[ビジー出力の設定]	50
[再生遅延時間の設定]	50
設定機能 (6. 本体の環境設定)	
操作ビープ音の設定 (6-1 操作ビープ音)	50
RS-232Cの設定 (6-2 RS-232C設定)	50
パスワードの設定 (6-3 パスワード)	51
本体初期化 (6-4 本体初期化)	51
キーロックの設定 (6-5 キーロック)	51
バージョン表示 (6-6 バージョン)	51
設定機能 (7. カードの編集)	
カードネームの入力・編集 (7-1 カードネーム入力)	51
カードの再フォーマット (7-2 カード再フォーマット)	51
カード最適化 (7-3 カード最適化)	51
ソフトライトプロテクト (7-4 ソフトライトプロテクト)	52
設定機能 (8. プログラム／文章／カードコピー)	
プログラムのコピー (8-1 プログラムコピー)	52
文章のコピー (8-2 文章コピー)	52
カードのコピー (8-3 カードコピー)	52
文章コピー時にエラー表示が出たときの処理	53
設定機能 (9. オートレベル設定)	
オートレベル調整 (9-1 オートレベル調整)	53
設定操作	
設定の操作例	
設定のしかた	54
プログラムの内容と初期値	55
設定操作 (1. プログラムの設定)	
設定操作の手順 (1-1 プログラム入力)	56
設定操作の手順 (1-2 出力レベル、1-3 プログラム確認)	60
設定操作の手順 (1-4 プログラム初期化、1-5 プログラムタイトル入力)	62
設定操作 (2. プログラムの編集)	
設定操作の手順 (2-1 文章確認、2-2 文章消去)	64
設定操作の手順 (2-3 文章タイトル入力、2-4 文章無音部削除)	66
設定操作 (3. 文章／プログラムのモニタ)	
設定操作の手順 (3-1 文章モニタ、3-2 プログラムモニタ)	68
設定操作 (4. 出力／音量の調節)	
設定操作の手順 (4-1 1元／2元再生切り換え、4-2 全体音量)	69

設定操作 (5. 本体の動作設定)	
設定操作の手順 (5-1 制御機能設定、5-2 起動モード切り換え)	70
設定操作の手順 (5-3 ビジー設定)	72
設定操作 (6. 本体の環境設定)	
設定操作の手順 (6-1 操作ビープ音、6-2 RS-232C 設定、6-3 パスワード、	
6-4 本体初期化、6-5 キーロック、6-6 バージョン)	74
設定操作 (7. カードの編集)	
設定操作の手順 (7-1 カードネーム入力、7-2 カード再フォーマット)	76
設定操作の手順 (7-3 カード最適化、7-4 ソフトライトプロテクト)	78
設定操作 (8. コピー)	
設定操作の手順 (8-1 プログラムコピー)	79
設定操作の手順 (8-2 文章コピー、8-3 カードコピー)	80
設定操作 (9. オートレベル調整)	
設定操作の手順 (9-1 オートレベル調整)	82
文字入力のしかた	
使用できる文字、記号、コマンド	83
文字／コマンド表示部と選択ダイヤルの操作	83
文字の入力例	84

放送のしかたと設置・接続

マイク放送と入力機器の放送	
マイク放送のしかた	85
入力機器の放送のしかた	85
設 置	
接続例	
前 面	86
後 面	86
端子台	87
異常出力端子 (後面端子台) の動作	87
ラックマウントのしかた	88
ゴム足の取り付けかた	88
RS-232C 端子の移設	89

仕 様

仕 様	
付属品	91

安全上のご注意

- ご使用前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

注意を促す記号	行為を禁止する記号	行為を強制する記号
 注意	 分解禁止 禁止 接触禁止	 電源プラグを抜く



警告

誤った取り扱いをしたとき、人が死亡または重傷に結びつく可能性のあるもの。

設置・据付をするとき

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようご注意ください。
火災・感電の原因となります。



禁止

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



禁止

使用するとき

万一、異常が起きたら

次の場合、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出、断線など）
- 音が出ないとき



注意



警告

誤った取り扱いをしたとき、人が死亡または重傷に結びつく可能性のあるもの。

使用するとき

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

内部に異物を入れない

本機の通風孔やメモリーカード挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。



禁止

雷が鳴ったらさわらない

雷が鳴り出したら、電源プラグにはさわらないでください。

感電の原因となります。



接触禁止



注意

誤った取り扱いをしたとき、人が傷害または物的損害に結びつく可能性のあるもの。

設置・据付をするとき

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となることがあります。



禁止

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

移動させるときは電源プラグを抜く

差し込んだまま移動させるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜く

設置場所に注意

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。



禁止

上に重いものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



禁止



注意

誤った取り扱いをしたとき、人が傷害または物的損害に結びつく可能性のあるもの。

使用するとき

定期的に内部の掃除を

内部の掃除については、販売店にご相談ください。
内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災の原因となることがあります。



注意

電源プラグやコンセント部の掃除を

電源プラグを差してあるコンセント部にほこりがたまると、火災の原因となることがあります。定期的にコンセント部の掃除をしてください。
また、電源プラグは根元まで差し込んでください。



注意

お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、安全のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電・火災の原因となることがあります。



電源プラグを抜く

はじめに

■ 概 要

本機は、録音メディアにメモリーカードを使用したメンテナンスフリーの録音・再生用デジタルアナウンスマシンです。

■ 特 長

- 液晶表示による操作指示や選択ダイヤルの操作により簡単に録音、再生ができます。
- メモリーカードは2枚まで実装できます。
- 録音グレード（ロング、ノーマル、ハイ1、ハイ2の4種類）とサンプリング周波数（32 kHzと44.1 kHzの2種類）を組み合わせて、用途に応じた8種類の録音音質が選べます。
- 録音した文章を組み合わせてプログラムとして再生することができます。
- 最大256プログラムを再生できます。
- 最大256文章または1024文章（切り換え式）を録音できます。（メモリーカード2枚使用時）
- 完全な2元再生が可能です。
- 緊急制御機能により緊急時のメッセージを他のプログラムに優先して再生することができます。（緊急時のメッセージはあらかじめ録音しておく必要があります。）
- 録音、再生、消去、停止が外部機器からリモート制御できます。
- フロントカバーによりメモリーカードの誤脱着を防止することができます。
- キーロック機能により誤操作やいたづらを防止できます。
- 業務緊急・停電放送用の非常電源パネル（別売）と接続することができ、停電時でも動作できます。
- インターバルタイマ機能によりインターバル放送ができます。

■ 使用上のご注意

- 付属の電源コードは、本機専用品です。本機以外の機器に使用しないでください。
- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで使用しないでください。変形や変色の原因になります。
- 湿気やほこりの多い場所で使用したり、放置しないでください。故障の原因になります。
- フロントパネルやケースなどがほこりや油などで汚れた場合は、乾いたやわらかい布で拭いてください。ベンジン・シンナー・化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因になります。

■ メモリーカードについて

本機に使用するメモリーカードは別売ですので、別途ご用意ください。

● 使用できるメモリーカード

本機で使用できるメモリーカードはATAフラッシュメモリーカードとSRAMメモリーカードの2種類です。ピュアフラッシュメモリーカードは使用できません。

● 使用できるメモリーカードと録音可能最大時間（カード1枚あたり）

容量 (バイト)	カードタイプ	ロング	ノーマル	ハイ1	ハイ2	メーカー/型番
8M	ATA フラッシュ	16分26秒	10分57秒	8分13秒	5分29秒	TOA / EV-F8M
20M	ATA フラッシュ	43分24秒	28分56秒	21分42秒	14分28秒	TOA / M-A20M
40M	ATA フラッシュ	1時間27分5秒	58分4秒	43分33秒	29分2秒	TOA / M-A40M

- 大容量のカードのメーカー/型番については、当社営業所までお問い合わせください。
- 従来のEV-300R / EV-300Pで使用できるカードはすべて使用できます。
- 本機にはメモリーカードを2枚まで実装できます。

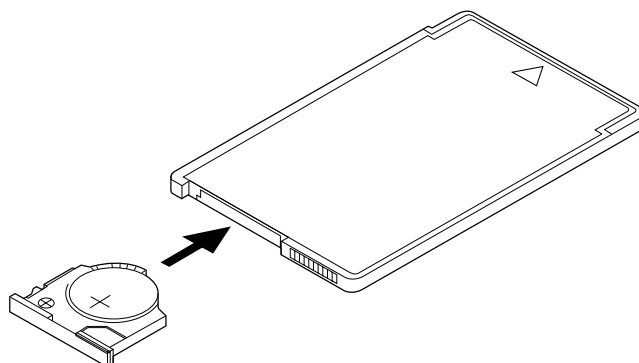
● SRAMメモリーカードをご使用になる前に

[バックアップ用電池の入れかた]

1. LOCKスイッチを左側にスライドさせ、電池ホルダーを引き出します。

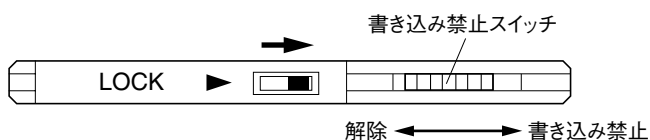


2. 付属のバックアップ用電池を入れてください。
上側が [+] になるように付属のバックアップ用電池をホルダーに入れ、メモリーカード本体に差し込みます。



3. LOCKスイッチを右側にスライドさせ、電池ホルダーが抜けないようにロックします。

4. 書き込み禁止スイッチ (WP スイッチ) を解除 (書き込み可) してください



ご注意

- 書き込み禁止スイッチを禁止側に設定しますと、そのカードには録音することができなくなります。すでに録音されている内容を誤って消したくないときに使用してください。
- EV-F シリーズには電池および電池ホルダーが付属していません。

[バックアップ用電池の交換方法 (EV-F シリーズは除く)]

電池が消耗してきますと、液晶画面に「カードA バッテリーコウカン」

カードA バッテリーコウカン

または「カードA バッテリーナシ」というメッセージが表示されます。

カードA バッテリーナシ

※ 「カードA バッテリーナシ」のメッセージが表示されましたら、なるべく早く電池を交換してください。

- SRAM メモリーカード (EV-M256, M512, M1024, M2048) は、バックアップ用電池交換時にも録音内容を消さないための補助電池が内蔵されています。
- 補助電池は充電式で、本機に差し込んで30分以上充電すると、電池交換時に約10分間録音内容を保持できます。
- 電池を交換するときは、必ず本機 (通電状態) に30分以上差し込んで、補助電池を完全に充電してから交換してください。
- バックアップ用電池の寿命は、EV-M256 で約5年、EV-M512 で約4年、EV-M1024 で約2年、EV-M2048 で約1年です。
- バックアップ用電池 (交換用) は、BR2325 または CR2325 をご使用ください。(BR2325, CR2325 は市販のリチウム電池です。)

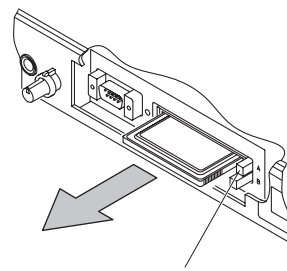
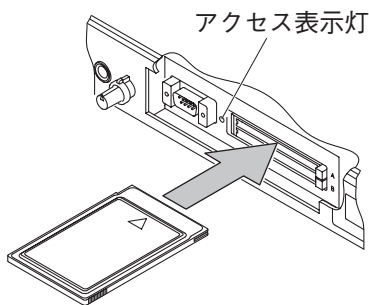
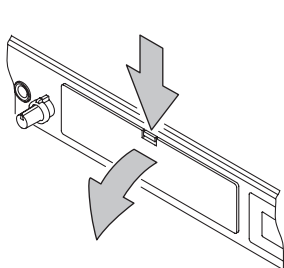
● メモリーカードの抜き差し

メモリーカードの抜き差しは、フロントカバーを取り外してから行います。

1. フロントカバーのつめを下に押し、取り外します。

2. メモリーカードの抜き差し
[メモリーカードの差しかた]

[メモリーカードの抜きかた]



イジェクトボタンを押します。

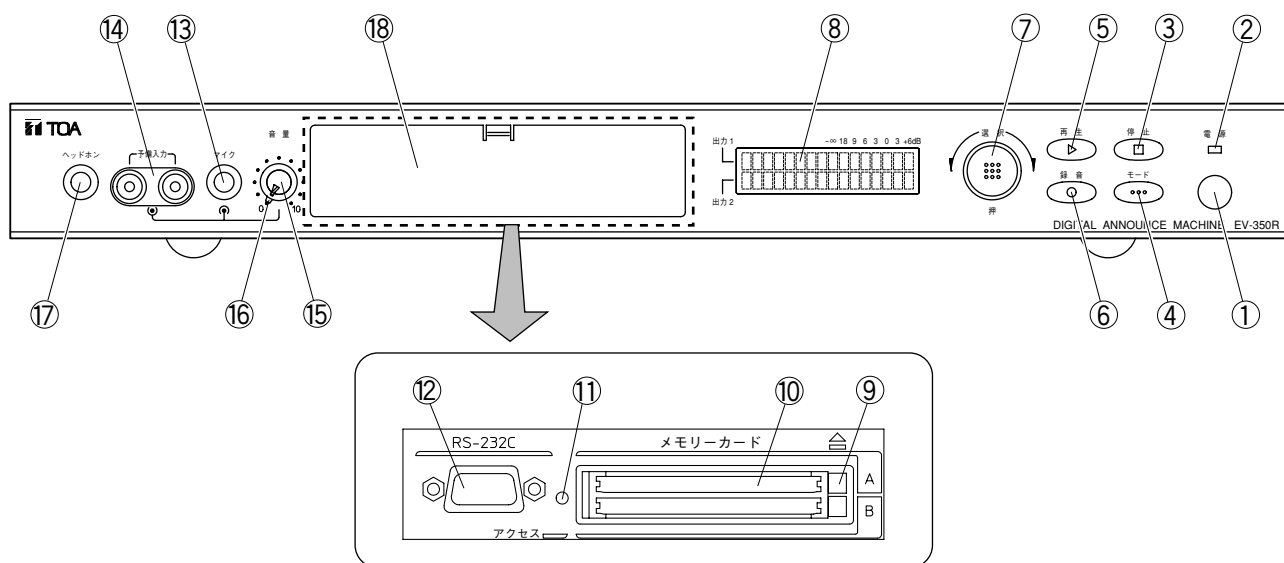
ご注意 アクセス表示灯が点灯、点滅しているときは、カードの抜き差しはしないでください。カードのデータが失われることがあります。

● メモリーカードの取り扱い

- 表面をアルコール類で拭かないでください。
- 直射日光に当てないでください。
- 電池は早めに交換してください。(EV-F シリーズは除く)
- 水にぬらさないでください。
- カードを保管するときは、カードに付属の静電保護袋 (青色) に入れてください。(端子への異物の付着防止にもなります。)

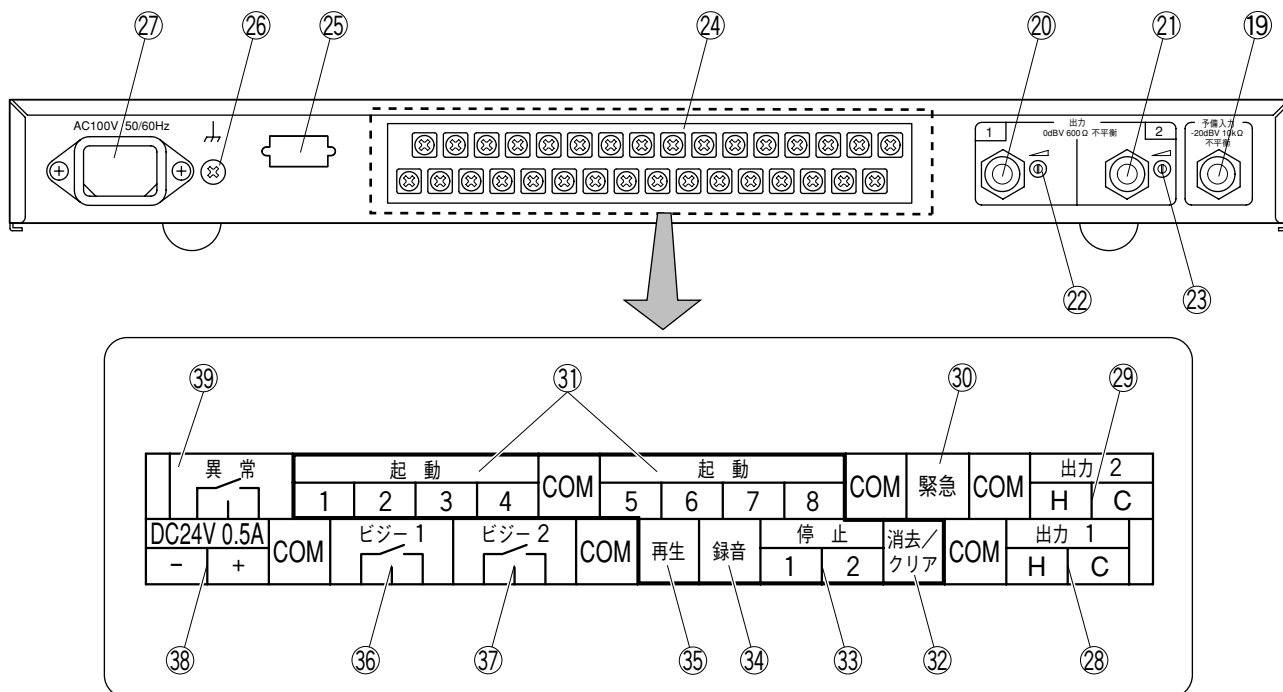
各部の名称とはたらき

[前面]



- ① 電源スイッチ
電源を「入/切」するときには押します。
- ② 電源表示灯
電源が入ると点灯します。
- ③ 停止キー
再生や録音を停止するときには押します。
- ④ モードキー
初期画面から設定のメニュー画面に切り換えるときに押します。(P. 14)
- ⑤ 再生キー
初期画面から再生待機状態に切り換えるときや、再生待機状態から指定したプログラムを再生するときには押します。
録音待機状態や設定画面で押すと再生待機状態に切り換わります。(P. 14)
- ⑥ 録音キー
初期画面から録音待機状態に切り換えるときや、録音待機状態から指定した文章を録音するときには押します。
再生待機状態や設定画面で押すと録音待機状態に切り換わります。(P. 14)
- ⑦ 選択ダイヤル
録音、再生や設定の画面で動作を選択するときには操作します。(P. 14)
- ⑧ 表示画面 (液晶表示)
録音や再生の状態、設定内容などを表示します。
- ⑨ イジェクトキー (A, B)
メモリーカードスロット (A, B) のカードを取り出すときに押します。
- ⑩ メモリーカードスロット (A, B)
録音、再生するメモリーカードを挿入します。
- ⑪ アクセス表示灯
カードのデータを読み出したり、カードにデータを書き込んだりするときには点灯します。
ご注意 アクセス表示灯が点灯、点滅しているときは、カードの抜き差しはしないでください。カードのデータが失われることがあります。
- ⑫ RS-232C 端子
外部機器の RS-232C 端子と接続します。
(D-sub 9ピン オス)
- ⑬ マイク入力
録音用や放送用のマイクを接続します。
(P. 85)
- ⑭ 予備入力
録音用や放送用の外部演奏機器を接続します。
- ⑮ マイク入力音量調節ツマミ
マイク入力の音量を調節します。
- ⑯ 予備入力音量調節ツマミ
予備入力の音量を調節します。
- ⑰ ヘッドホン出力
モニタ用のヘッドホンを接続します。
- ⑱ フロントカバー

[後面]

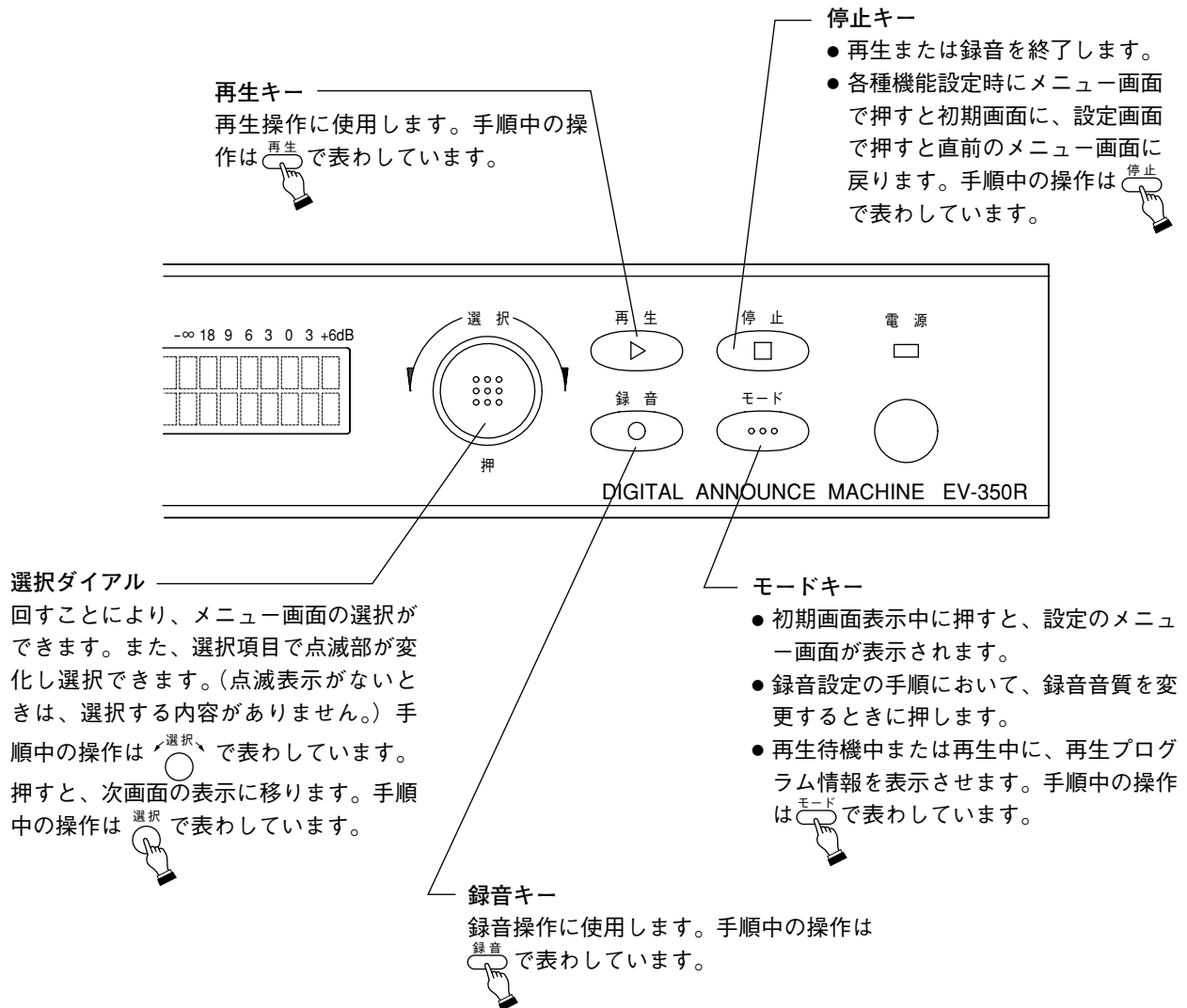


- ①⑨ 予備入力
録音用や放送用の外部演奏機器を接続します。
- ②⑩ 出力 1
本機の再生信号やマイク入力、予備入力の信号を出力します。(P. 86)
- ②⑪ 出力 2
本機の再生信号やマイク入力、予備入力の信号を出力します。
- ②⑫ 出力 1 音量調節ボリューム
- ②⑬ 出力 2 音量調節ボリューム
- ②⑭ 端子台 (P. 87)
- ②⑮ RS-232C 端子取り付け部
前面の RS-232C 端子を後面へ移動できます。(P. 89)
- ②⑯ アース端子
必ず接地してください。
- ②⑰ AC インレット
付属の AC 電源コードを接続します。
- ②⑱ 出力 1
ホーンジャックの出力 1 (②⑩) と同じ信号を出力します。(P. 86)
- ②⑲ 出力 2
ホーンジャックの出力 2 (②⑪) と同じ信号を出力します。
- ③⑩ 緊急再生起動制御入力
緊急文章を再生するときにメイクします。(P. 34)
- ③⑪ 起動制御入力 1～8
プログラムを再生するときや文章を録音、消去するときにメイクします。(P. 42)
- ③⑫ 消去／クリア制御入力
録音された文章を消去するときにメイクします。
- ③⑬ 停止制御入力
再生や録音を停止するときにメイクします。
- ③⑭ 録音制御入力
文章を録音するときにメイクします。
- ③⑮ 再生制御入力
バイナリ制御で再生するときにメイクします。
- ③⑯ ビジー出力 1
出力 1 に設定されたプログラムの再生中や録音中にメイク接点を出力します。(P. 50)
- ③⑰ ビジー出力 2
出力 2 に設定されたプログラムの再生中や録音中にメイク接点を出力します。
- ③⑱ DC24V 端子
DC24V 電源を接続します。
- ご注意** AC100V 電源と DC24V 電源を同時には使用できません。
必ずどちらか一方で動作させてください。
- ③⑲ 異常出力端子
通常はメイクします。メモ리카ードが挿入されていないときや機器に異常があるとき、ブレイクします。(P. 87)

基本操作と機能

基本操作と表示画面

● 各種設定・操作に使用するキーとダイヤル



● 表示画面の説明

プログラム入力の設定画面の例で説明します。

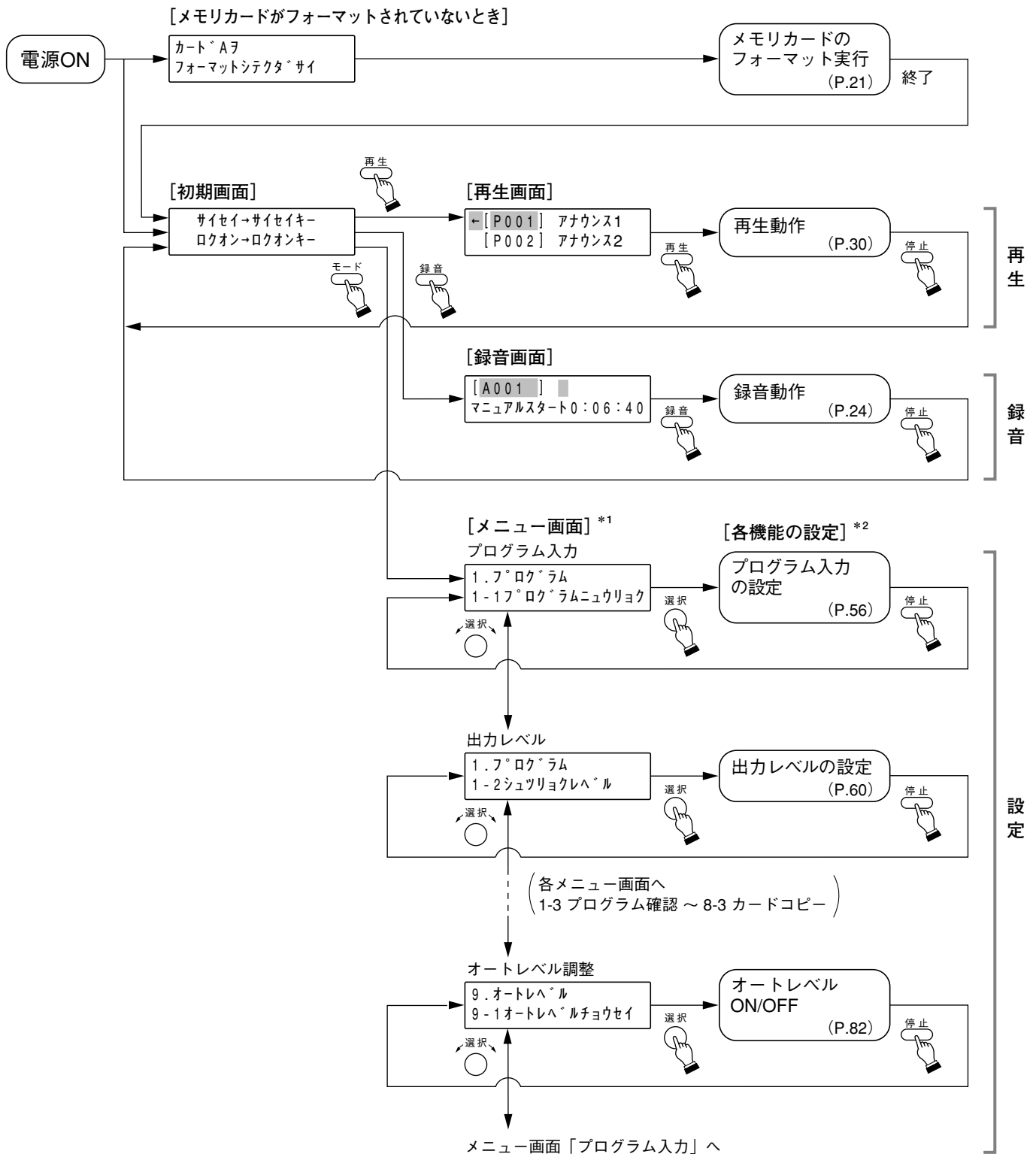
1-17プログラムニューリョク
[P001] P001

点滅部は選択項目です。
選択ダイヤルを回すと選択項目が変化し
選択できます。

※ 電源 ON 時にカードが入っていないと下記の表示になります。表示のとおりカードを挿入してください。

カ-ト`ナシ
カ-ト`ヲセツシテク`サイ

■ 操作の全体の流れ（再生・録音・設定）



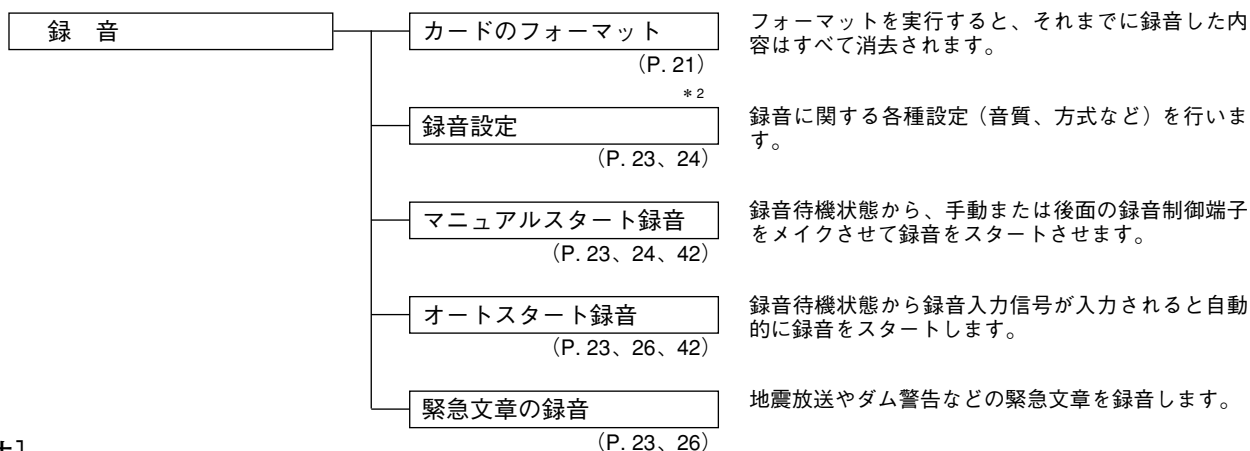
*1 メニュー画面で キーを押すと、初期画面に戻ります。

*2 各機能の設定画面で キーを押すと、直前のメニュー画面に戻ります。

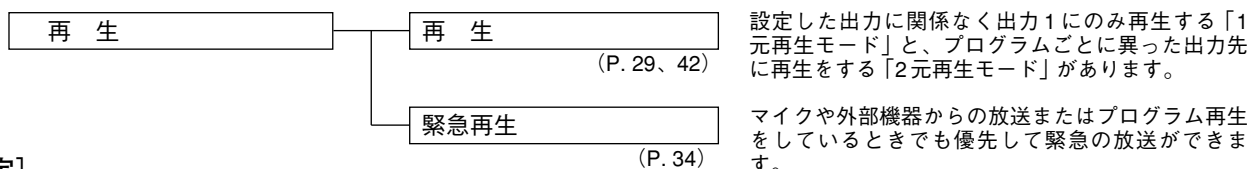
※ 各機能の設定が終了するとメニュー画面に戻ります。
すべての設定操作を終了するには、さらに キーを押して初期画面にしてください。

■ 操作機能の一覧（録音・再生・設定）

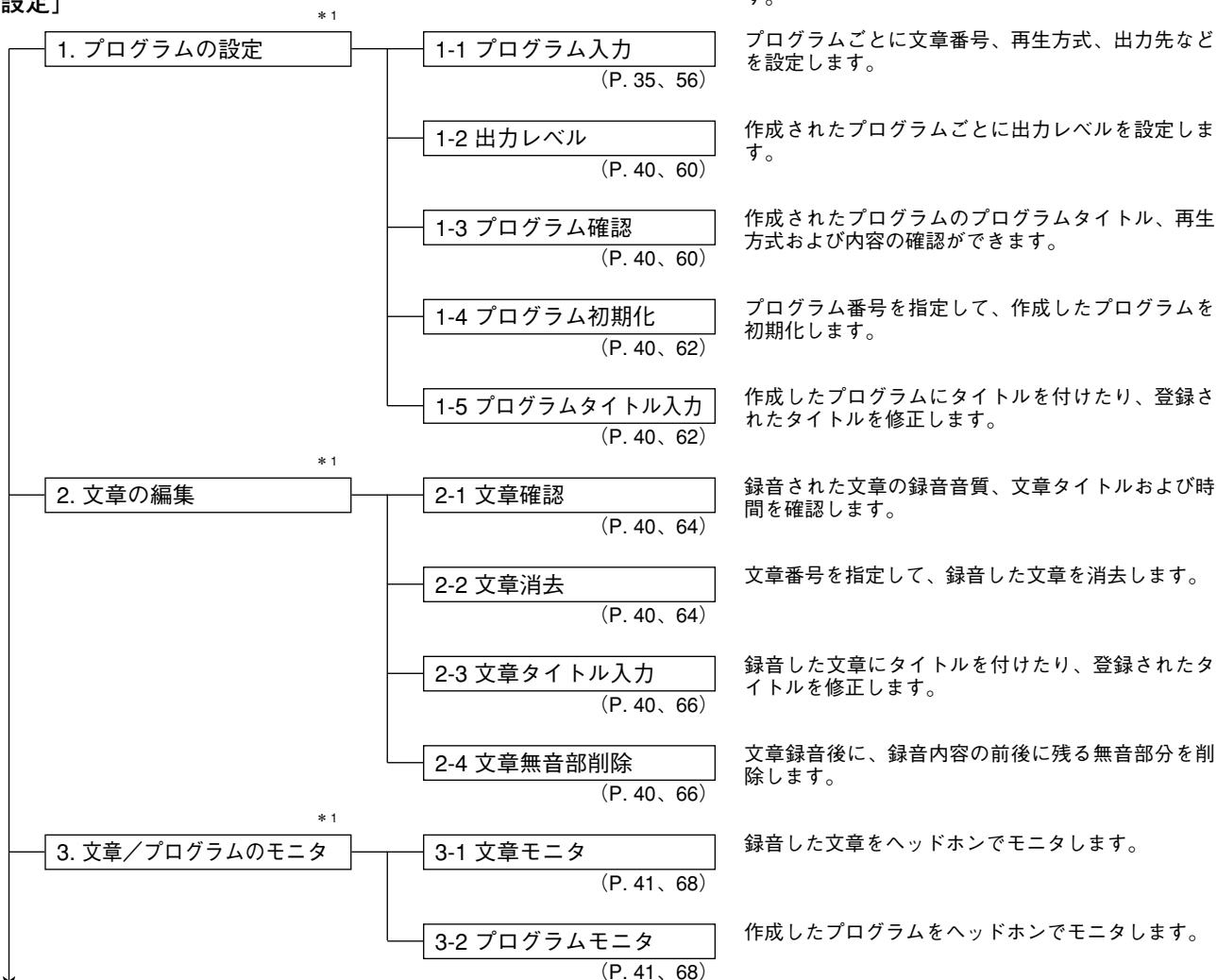
[録音]



[再生]



[設定]



次ページへ

4. 出力／音量の調節	* 2	4-1 1元／2元再生切り換え (P. 41、69)	プログラム再生時の出力を1元再生または2元再生に切り換えます。
		4-2 全体音量 (P. 41、69)	プログラム再生全体の音量を設定します。
5. 本体の動作設定	* 2	5-1 制御機能設定 (P. 42、70)	リモート制御方式をダイレクトモードかバイナリモードのどちらかに設定します。
		5-2 起動モード切り換え (P. 44、70)	リモート録音、リモート再生、リモート停止のそれぞれに起動モードを設定します。
		5-3 ビジー設定 (P. 50、72)	プログラム再生時、文章録音／消去時、マイク放送時およびシステム設定時のビジー出力 (ON／OFF) を設定します。
6. 本体の環境設定	* 2	6-1 操作ビープ音 (P. 50、74)	キー操作時にビープ音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。
		6-2 RS-232C 設定 (P. 50、74)	RS-232Cの通信速度を設定します。
		6-3 パスワード (P. 51、74)	パスワードを設定しておく、キーロック機能をONにして操作やいたずら防止をすることができます。
		6-4 本体の初期化 (P. 51、74)	本体のすべての設定を工場出荷時の設定にします。
		6-5 キーロック (P. 51、74)	キーロック機能をONにすると電源キー以外のキーやダイヤルは機能しなくなります。
		6-6 バージョン (P. 51、74)	本体プログラムソフトのバージョンを表示します。
7. カードの編集	* 1	7-1 カードネーム入力 (P. 51、76)	録音したカードに名前を付けたり、登録されたカードネームを修正します。
		7-2 カードの再フォーマット (P. 51、76)	フォーマットを実行すると、それまでに録音した内容はすべて消去されます。
		7-3 カード最適化 (P. 51、78)	カード内の文章を消去すると、カードの録音可能時間が短くなることがあります。カード最適化を実行することにより、これを避けることができます。
		7-4 ソフトライトプロテクト (P. 52、78)	カードに録音／設定された内容にプロテクトをかけます。
8. プログラム／文章／カードコピー	* 1	8-1 プログラムコピー (P. 52、79)	作成したプログラムを別のプログラム番号にコピーします。
		8-2 文章コピー (P. 52、80)	録音した文章を新しい文章番号にコピーします。
		8-3 カードコピー (P. 52、80)	カードの内容すべてを他のカードにコピーします。
9. オートレベルの設定	* 2	9-1 オートレベル調整 (P. 53、82)	オートレベル調整機能をONにすると、録音レベルの異なる文章をプログラム再生しても同じ音量で再生できます。

* 1 メモリカードに設定内容が登録されます。
 * 2 機器本体に設定内容が登録されます。

文章とプログラム

■ 文章とは

- 文章とは録音データの最小単位で一度の録音で一つの文章ができます。
- 文章にはメッセージ、チャイム音、BGM 音楽などあらゆる音源を録音することができます。
- マニュアル録音時、リモート録音時のカード1枚当りの最大録音文章数は128（初期フォーマット時）です。メモリーカードの再フォーマット時には最大録音文章数を128にするか512にするかを選択できます。カードをスロットAに挿入して録音した場合は文章番号が「A001」～「A128」、スロットBの場合は「B001」～「B128」になりますが、スロットAで「A001」～「A128」に録音したカードをスロットBに挿入すると「B001」～「B128」となります。（最大録音文章数が512のときは、「A001」～「A512」、「B001」～「B512」となります。）
- それぞれの文章には8文字までの名称を付けることができます。名称の文字はカタカナ、数字、アルファベット（大文字、小文字）、記号を使用することができます。
- カードA、カードBのどちらにも文章を録音することができます。
- カードをスロットAおよびBに挿入して録音する場合の録音可能最大時間は、スロットAのカードの録音時間とスロットBのカードの録音時間の合計となります。ただし1つの文章をカードAからカードBにまたがって録音することはできません。
- カードの録音時間を超えて録音しようとする、録音文章数が128未満（512未満）でも録音はできなくなります。

■ プログラムとは

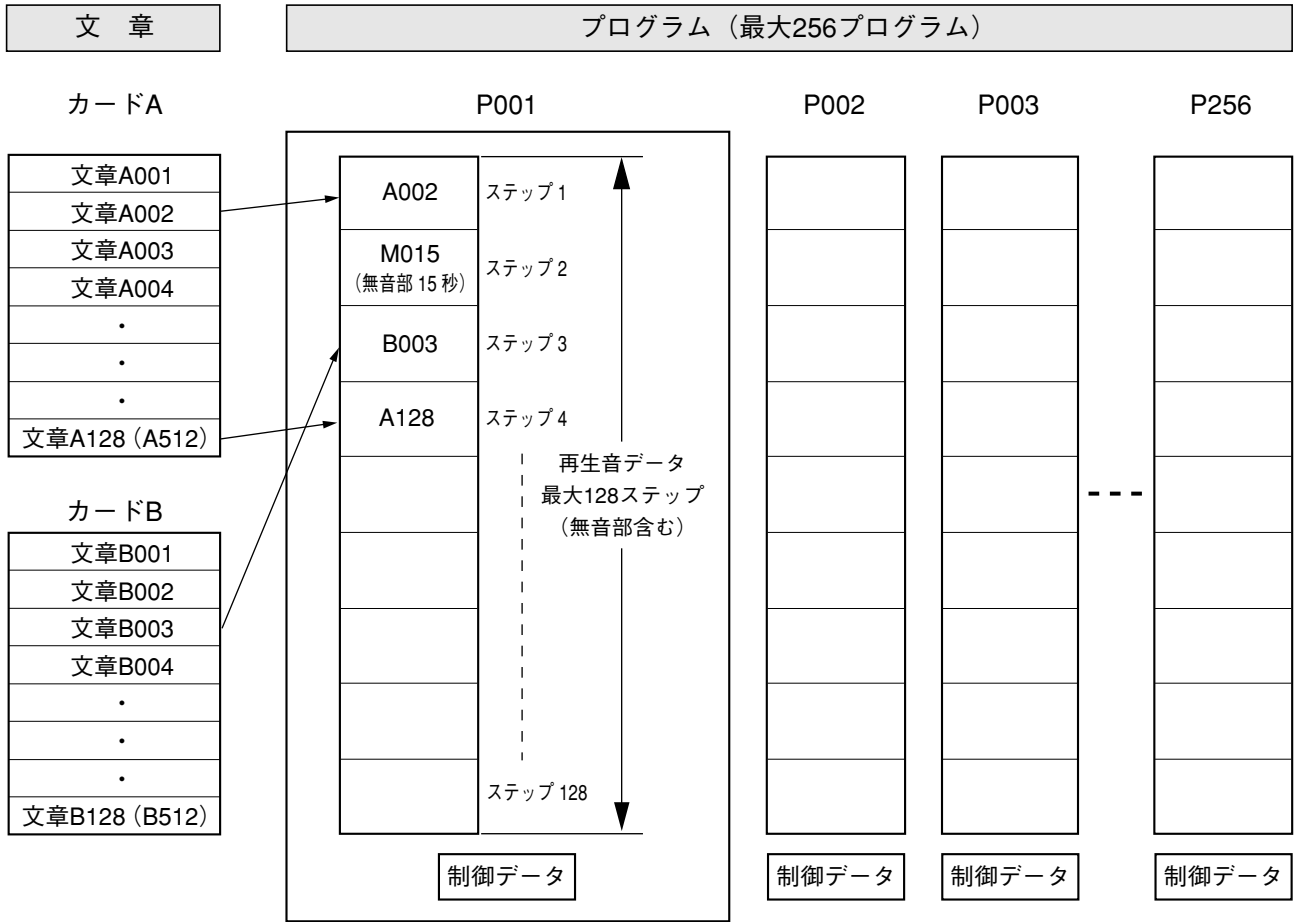
- プログラムとは「再生音データ*1」と「制御データ*2」からなる再生データのことです。プログラムはカードAに書き込まれます。
 - *1 「文章」と「無音部」を組み合わせたデータ。
 - *2 「再生方式」、「出力先（出力1、出力2、出力1および2）」、「タイトル（名称）」および「出力レベル（音量）」を設定したデータ。
- 1つのプログラムの「再生音データ」には「文章」と「無音部」が最大128ステップ（再生する順序のこと）まで組み合わせることができます。
- それぞれのプログラムには8文字までの名称を付けることができます。名称の文字はカタカナ、数字、アルファベット（大文字、小文字）、記号を使用することができます。
- 本機で入力できるプログラム数は最大256（P001～P256）です。プログラムの数はカードの挿入枚数が1枚でも2枚でも変わりありません。
- 1つの「無音部」には0～127秒まで入力することができ、0～10秒は0.1秒単位で、10～127秒は1秒単位で設定します。
- 再生はカードAに書き込まれたプログラムを指定して行います。文章を指定しての再生はできません。

[プログラムに入力する内容]

データ	内容
再生音データ	文章と無音部の組み合わせ（最大128ステップ）
制御データ	再生方式（4方式の内のいずれか）
	出力（出力1、出力2または出力1と出力2に同時）
	プログラムの名前（プログラムタイトル）
	プログラムの音量

※ データを入力しない場合は、工場出荷時の初期設定によりプログラム再生します。
(P. 35)

本機で入力できるプログラム数は最大256プログラムです。(カードの枚数には関係しません)
 プログラムで使用する文章は、カードスロットA、カードスロットBのどちらのカードからでも読み出すことができます。



※ 「制御データ」の詳しい説明は、P. 35 「プログラム入力の設定」をご覧ください。

録音

録音する前に

● 録音上の注意点

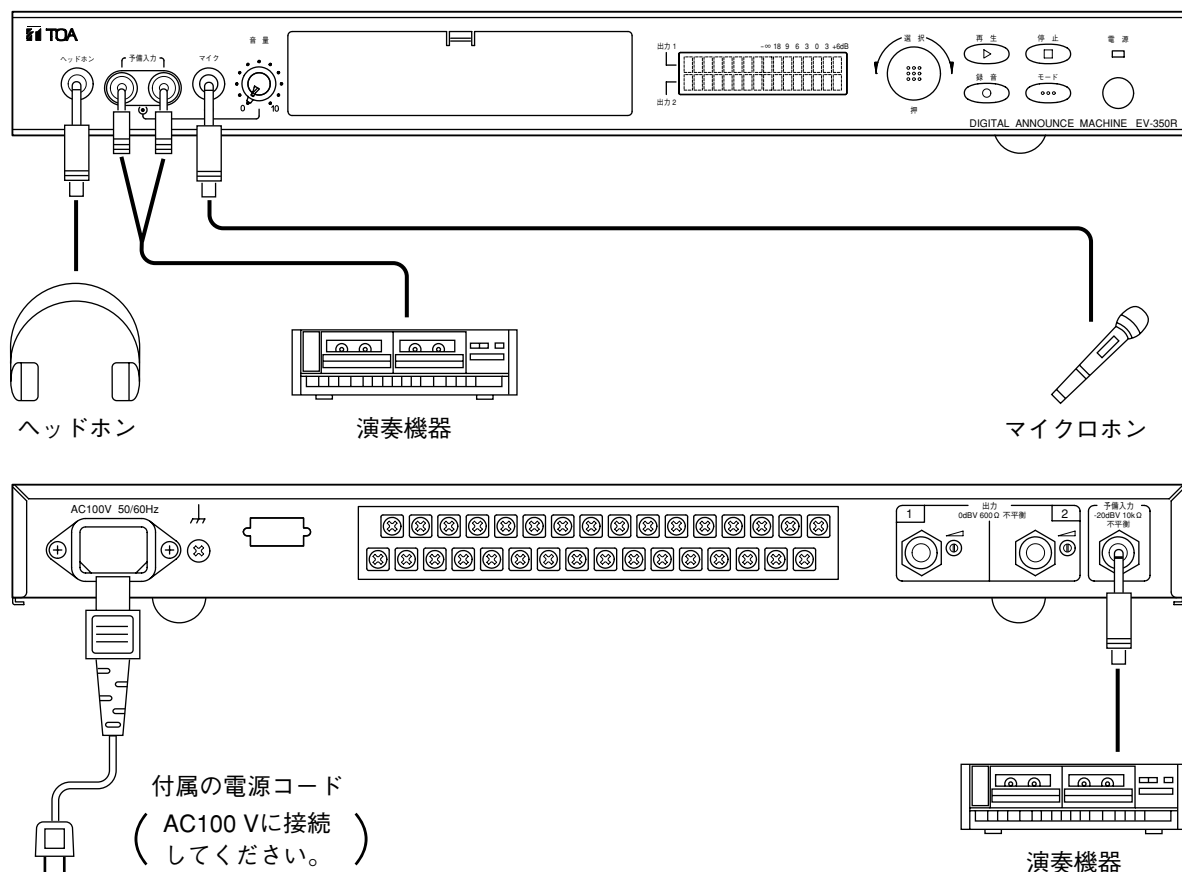
本機には使用できるメモリーカードと使用できないメモリーカードがあります。(P.9)
本機で使用できないカードが実装された場合は、そのカードが使えないという表示がでます。
使用できるメモリーカードでもそのカードがこわれているときにはこの表示がでます。
この表示がでた場合はメモリーカードを交換してください。
本機では新しいメモリーカードに録音するときにはカードをフォーマットする必要があります。

あなたが録音したものは個人用として楽しむなどのほかは
著作権上、権利者に無断では使用できません。

● 接続

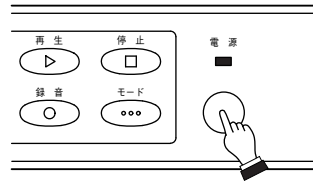
録音用マイクや録音音源用の外部演奏機器を接続します。

ご注意 複数の音源用機器を接続して、同時に録音した場合は全ての音源がミキシングされます。



● 電源投入

メモリーカードを実装し（P. 11）、電源を入れます。表示画面が初期画面になります。

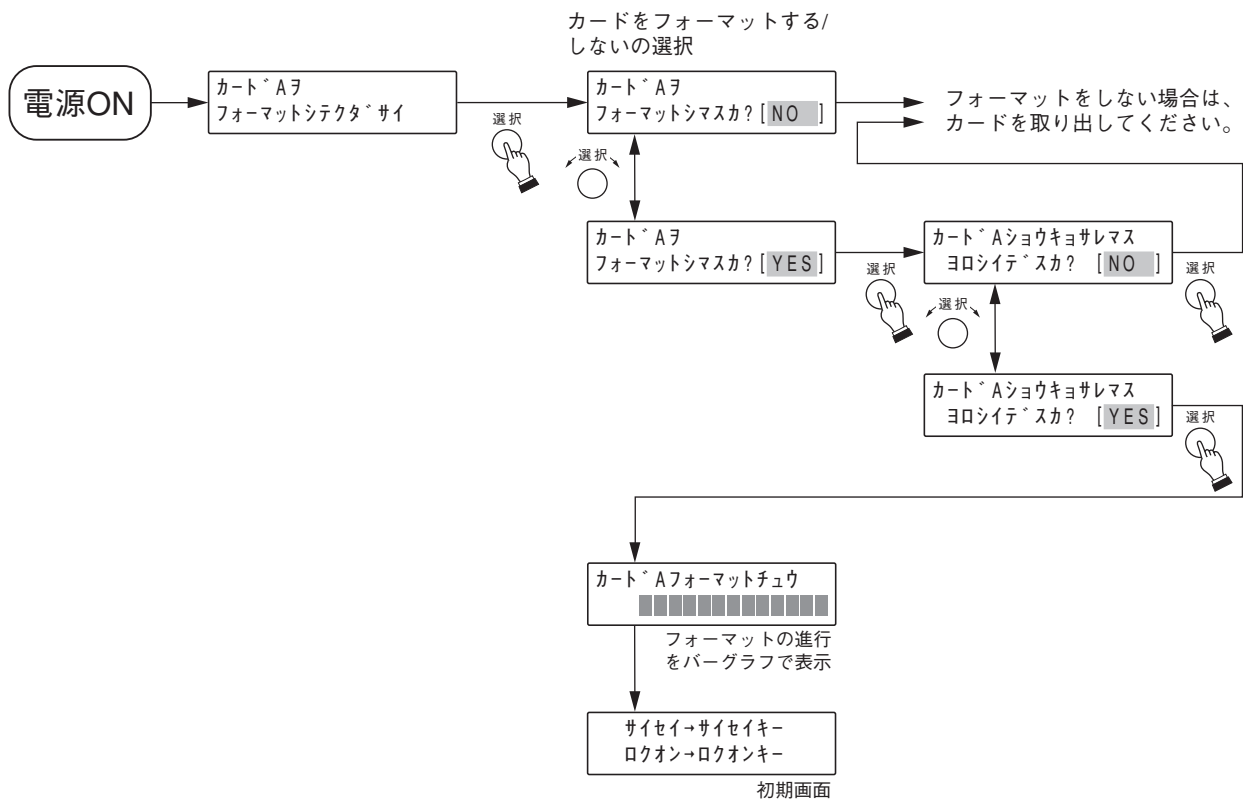


[初期画面]

サイセイ→サイセイキー
ロクオン→ロクオンキー

● カードのフォーマット（初期フォーマット）

フォーマットされていないカードを本機に実装したときは注意表示がでます。
フォーマットされていないカードは本機では録音できません。



※カードBがフォーマットされていないときも、上記と同様の手順でフォーマットします。（表示は「カードA」が「カードB」になります。）

また、カードA、Bともフォーマットされていないときは、カードAのフォーマット表示（上記）の後、引き続きカードBのフォーマット表示になります。

フォーマットされていないカードを初めてフォーマットしたときは、最大文章数は128文章になります。
512文章に設定するときは、P. 51、76「7-2 カード再フォーマット」をご覧ください。

■ 録音音質

● 録音音質について

本機には8種類の録音音質を用意しています。

録音する音源の種類、長さ、使用するメモリーカードの種類により、8種類の中から目的に応じた音質を選ぶことができます。

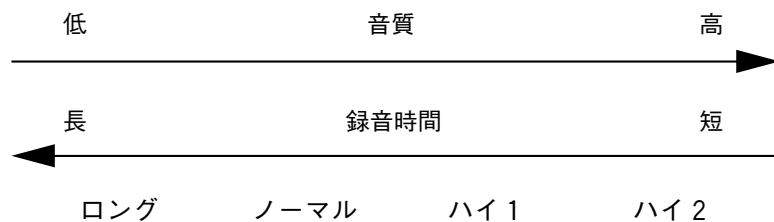
サンプリング周波数	録音グレード			
	32 kHz	ロング	ノーマル	ハイ 1
44.1 kHz	ロング	ノーマル	ハイ 1	ハイ 2

本機では、録音グレードを選択すると以下のビットレートによる音声信号の圧縮を行い録音します。

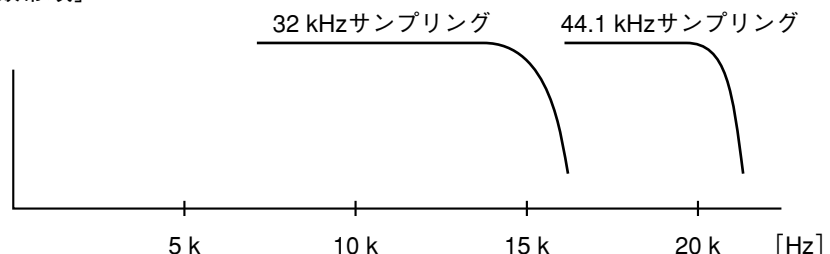
録音グレード	ロング	ノーマル	ハイ 1	ハイ 2
ビットレート	64 kbps	96 kbps	128 kbps	192 kbps

- ・同じ録音グレードでもサンプリング周波数は32 kHzの方が再生周波数帯域は狭くなりますが、音質は高くなります。
- ・サンプリング周波数と再生周波数帯域
サンプリング周波数32 kHz：再生周波数帯域20 Hz～14 kHz
サンプリング周波数44.1 kHz：再生周波数帯域20 Hz～20 kHz

[録音グレードと録音時間]



[サンプリング周波数と再生周波数帯域]



- ・一枚のメモリーカードの中でも文章(録音単位)ごとに録音グレード、サンプリング周波数を設定できます。文章ごとに必要な録音音質を選んで録音できるため効率良くカードを使用できます。
- ・違う録音グレード、サンプリング周波数で録音された文章を組み合わせ、プログラム(再生単位)として再生することができます。

● 録音音質の適用について

音質選択は以下の内容を参考にしてください。

録音グレード	適用例
ロング	アナウンスやメッセージ録音に使用します。
ノーマル	BGM、チャイム音、サイン音などに使用します。
ハイ 1	音楽録音に使用します。
ハイ 2	ハイ 1よりも高い音質が求められる音楽録音に使用します。

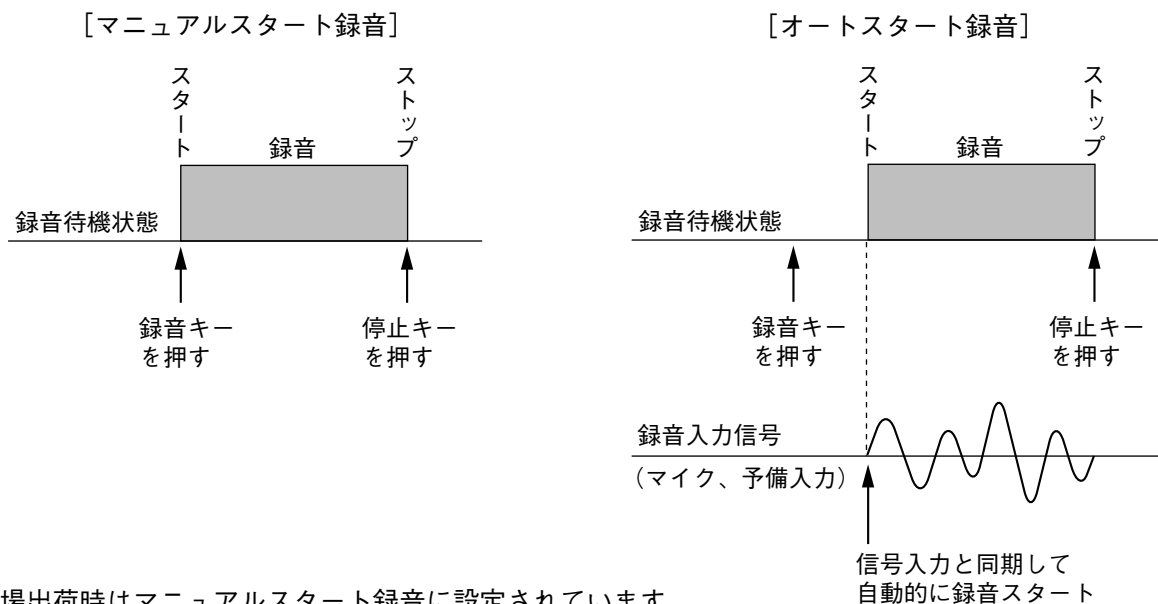
- ・サンプリング周波数は通常32 kHzを使用してください。このときの再生周波数帯域は20～14,000 Hzとなります。
- ・再生周波数帯域で20～20,000 Hzが必要とされる場合は、サンプリング周波数を44.1 kHzで使用します。

■ マニュアルスタート録音とオートスタート録音

● 録音方式

録音を開始する方法には、マニュアルスタートとオートスタートの2つの録音方式があります。

マニュアルスタート録音	録音待機状態から、録音キーを押すかまたは後面の録音制御端子をメイクさせることにより、すぐに録音をスタートさせる方法。
オートスタート録音	録音待機状態から、録音キーを押すかまたは後面の録音制御端子をメイクさせることにより入力待ちの状態になり、録音入力信号が入力されると自動的に録音をスタートさせる方法。

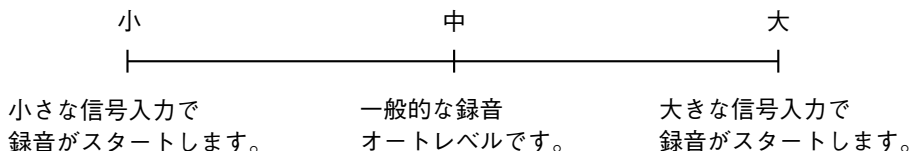


● オートスタート録音の設定

オートスタートで録音するためには、録音方式の設定が必要です。(P. 24 「録音設定の手順」)
 オートスタート録音では、録音を開始される入力レベルを設定できます。

[録音オートスタートレベル]

- ・ オートスタート録音では、録音入力信号の入力レベルを利用して本体の録音をスタートさせます。
- ・ 録音オートスタートレベルには「大」、「中」、「小」の3つのレベルがあります。



■ 緊急文章の録音

[緊急文章が録音されるカードスロット]

・ 緊急文章は

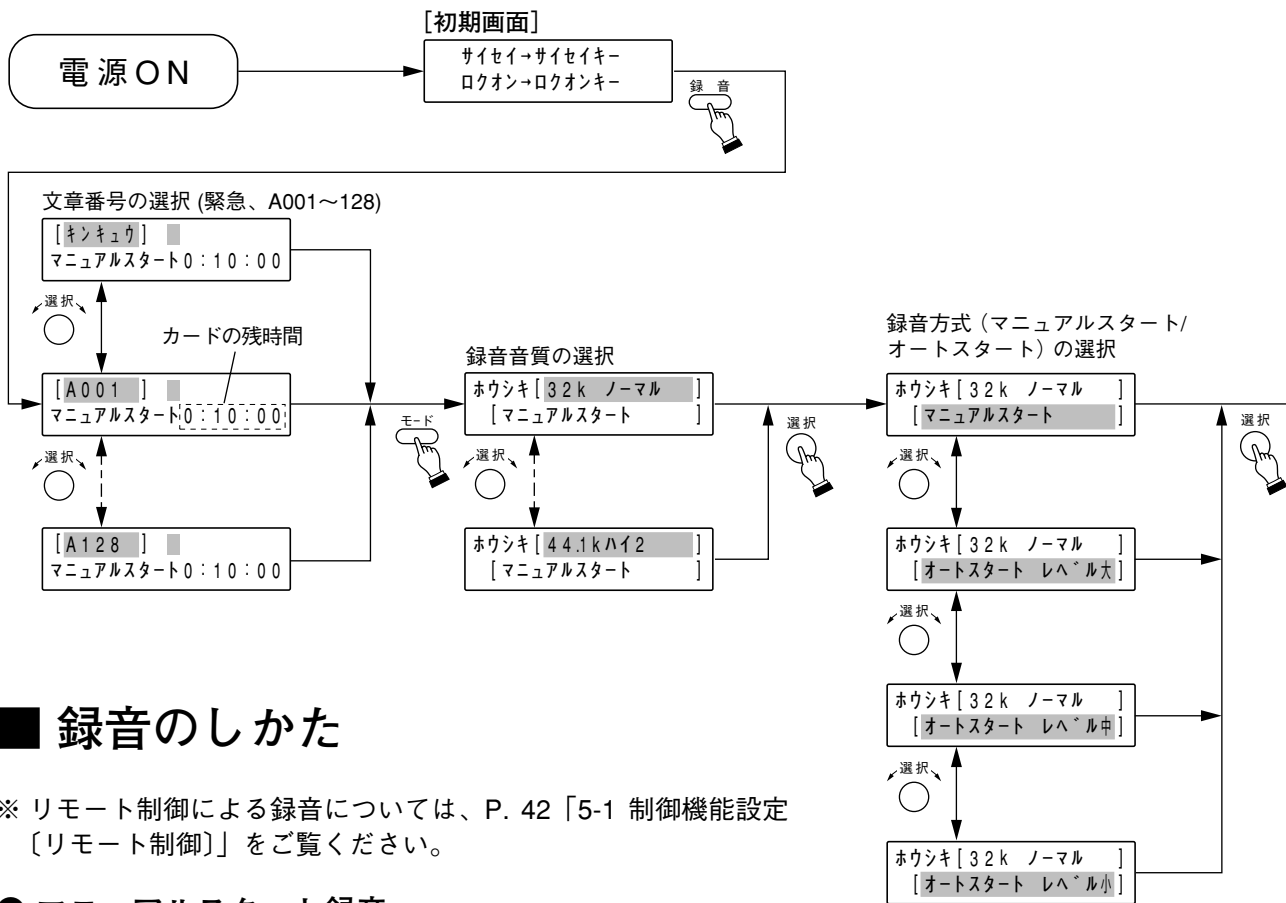
- カードスロットA、B両方にメモリーカードが差し込まれている場合 → カードスロットAのカード
 - カードスロットAだけにメモリーカードが差し込まれている場合 → カードスロットAのカード
 - カードスロットBだけにメモリーカードが差し込まれている場合 → カードスロットBのカード
- に録音されます。(緊急文章の録音操作 P. 26)

[特記事項]

- ・ 緊急文章の文章タイトルは変更できません。
- ・ 緊急文章の文章コピーはできません。

録音設定の手順

録音操作の前に必要な設定を行ってください。

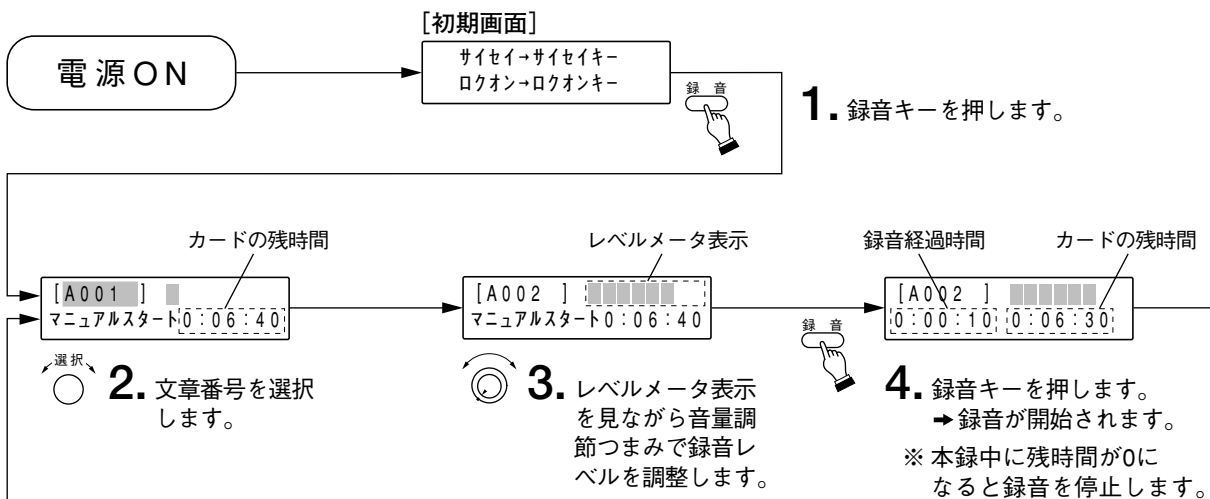


録音のしかた

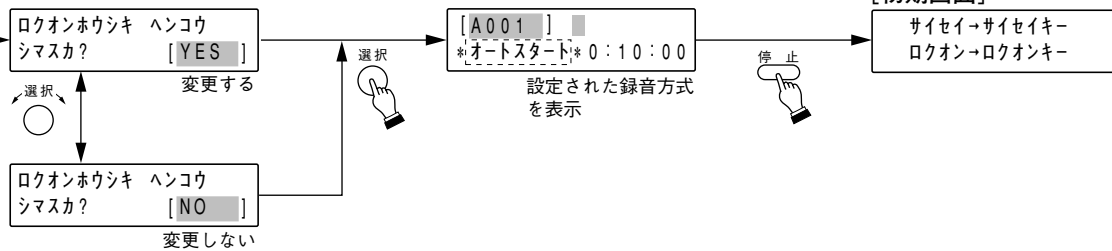
※ リモート制御による録音については、P. 42「5-1 制御機能設定 [リモート制御]」をご覧ください。

● マニュアルスタート録音

上記の設定で録音方式を「マニュアルスタート」にしておきます。また、マイク入力音量調節つまみおよび予備入力音量調節つまみは最小 (0) にしておきます。

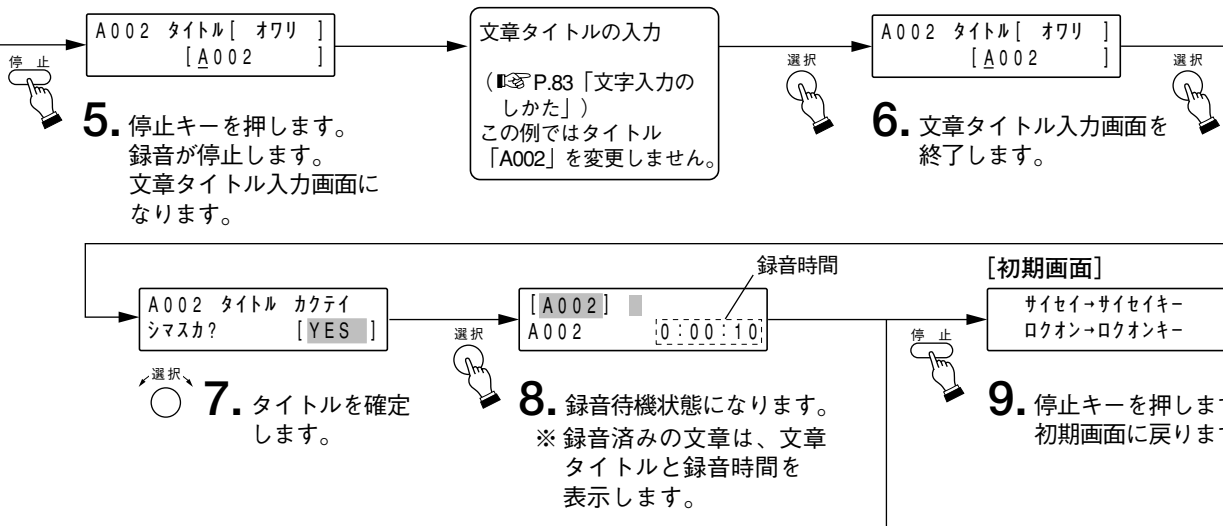


録音方式変更する/しないの選択



[選択項目]

録音音質				録音方式	
32k	ノーマル	44.1k	ノーマル	マニュアルスタート	
32k	ロング	44.1k	ロング	オートスタート	レベル大
32k	ハイ1	44.1k	ハイ1	オートスタート	レベル中
32k	ハイ2	44.1k	ハイ2	オートスタート	レベル小

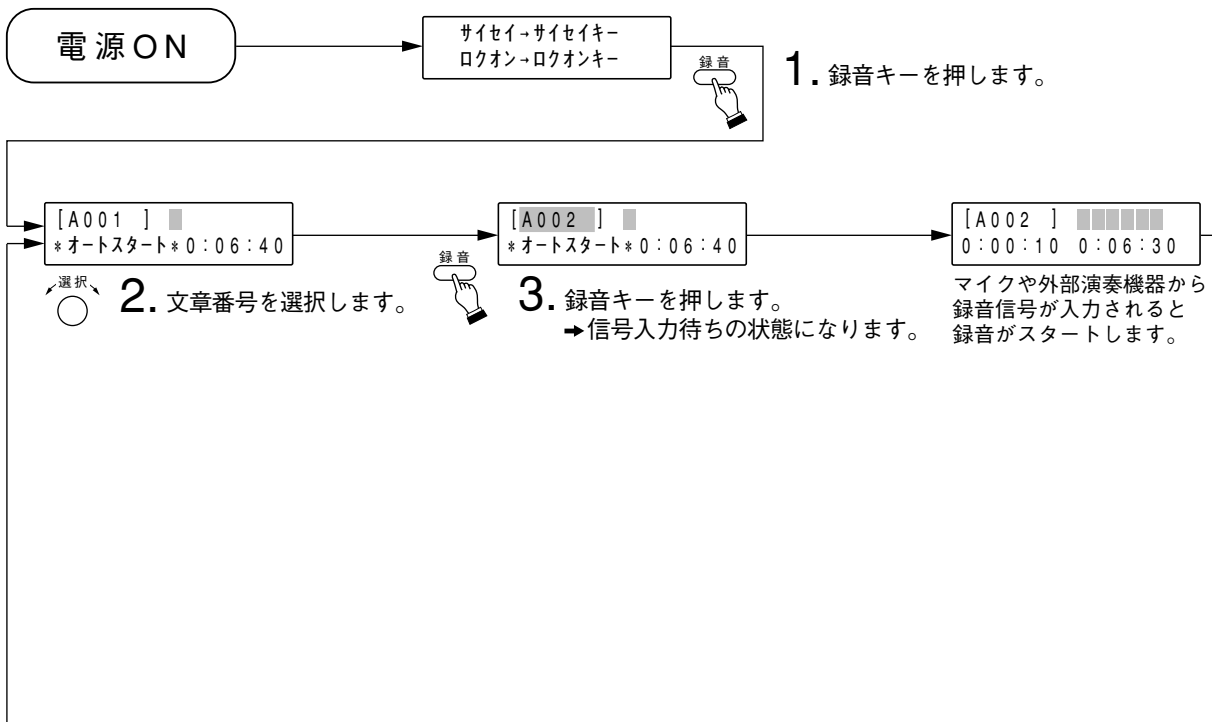


続けて録音するとき

● オートスタート録音

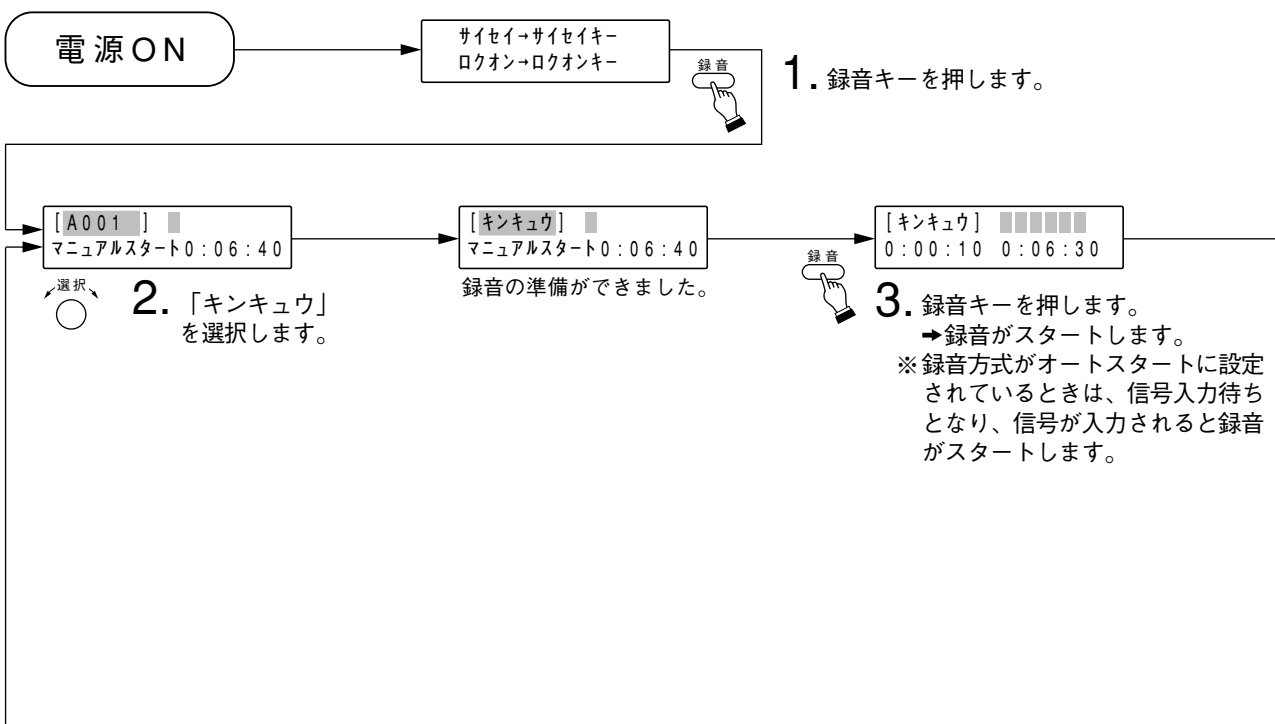
録音方式を「オートスタート」に設定しておきます。(P. 24)

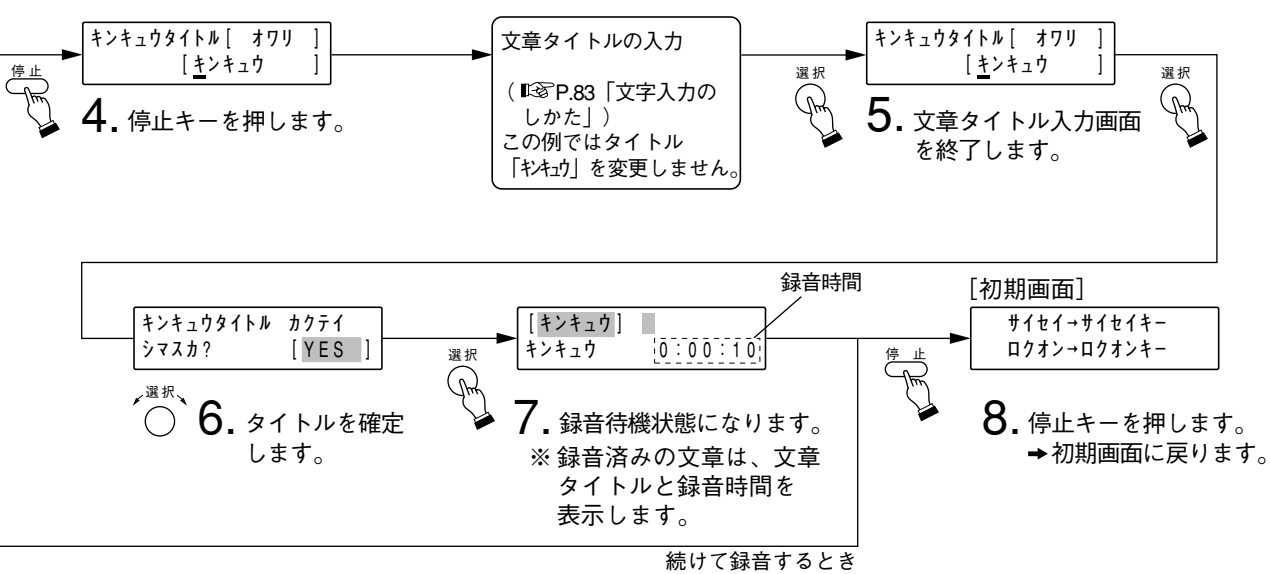
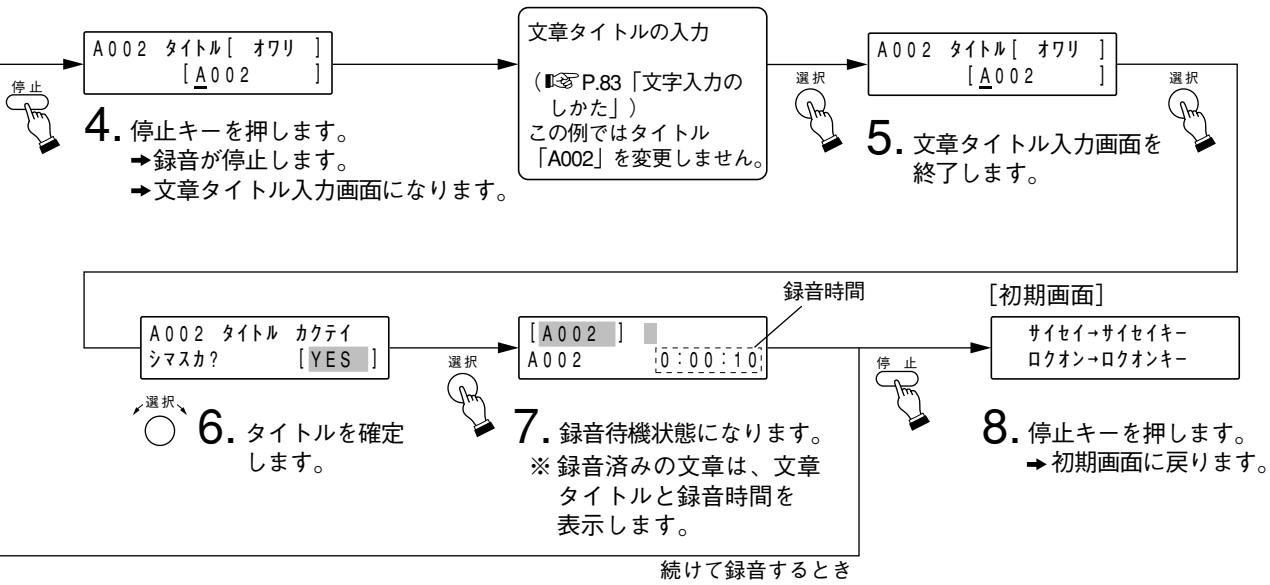
また、マイク入力音量調節、予備入力音量調節つまみで適切な録音レベルに調節しておきます。



● 緊急文章の録音

マイク入力音量調節つまみおよび予備入力音量調節つまみで適切な録音レベルに調節しておきます。





再生

再生はプログラムを指定することにより行われます。(P. 18)
再生を行う前にプログラムを入力します。(P. 35)

再生する前に

● 1元再生モードと2元再生モード

本機には出力1、出力2の2つの出力があり、プログラムごとにその出力先を設定することができます。

[1元再生モード]

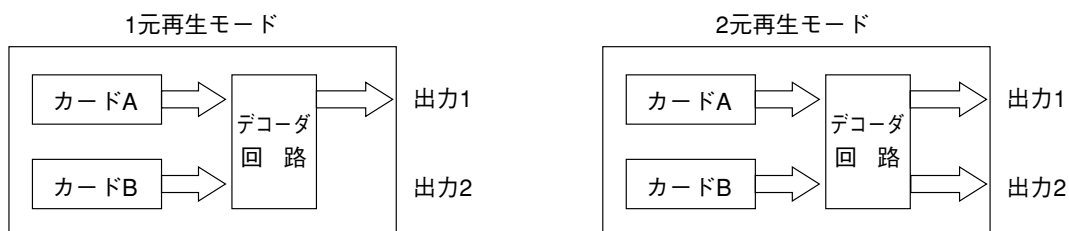
設定した出力に関係なく出力1にのみプログラム再生音が放送されます。

出力1に設定したプログラムと出力2に設定したプログラムを同時に再生すると、再生音は出力1にミキシングされて放送されます。

[2元再生モード]

設定した出力先に応じてプログラムごとに異なった再生音を放送することができます。

※ 工場出荷時には2元再生モードに設定されています。1元再生モードにする場合はP. 69をご覧ください。



● 出力表示

[プログラム表示]

再生待機状態では、再生するプログラムのプログラム番号とプログラムタイトルが表示されます。

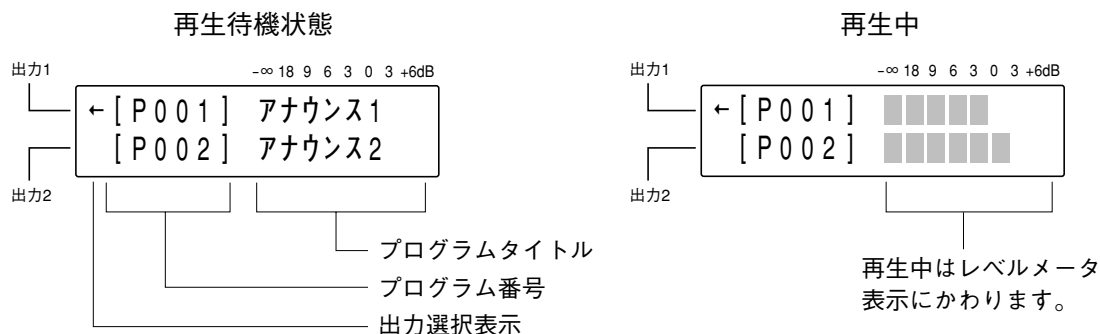
表示画面の上段に出力1に設定されたプログラムが表示され、下段には出力2に設定されたプログラムが表示されます。

出力1、出力2の両方に設定されたプログラムは上下段の両方に表示されます。

[出力選択表示]

再生待機状態や再生中には表示画面の左端に矢印が表示されます。

矢印は選択ダイヤルを押すごとに上段、下段、上下段両方の順で切り換わります。

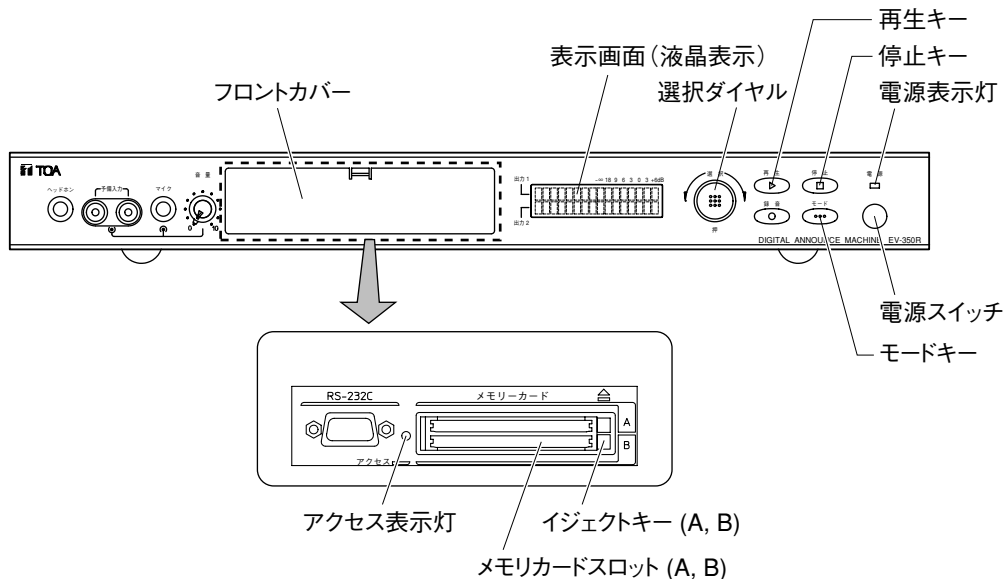


■ 手動操作による再生

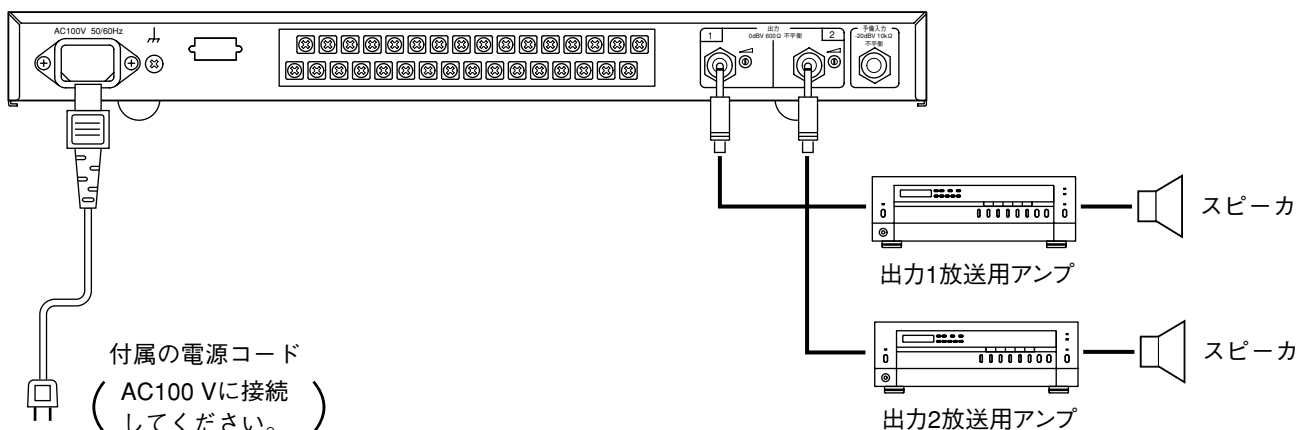
※ リモート制御による再生については、P. 42 「5-1 制御機能設定 [リモート制御]」をご覧ください。

● 操作部と接続部

[前面]



[後面]



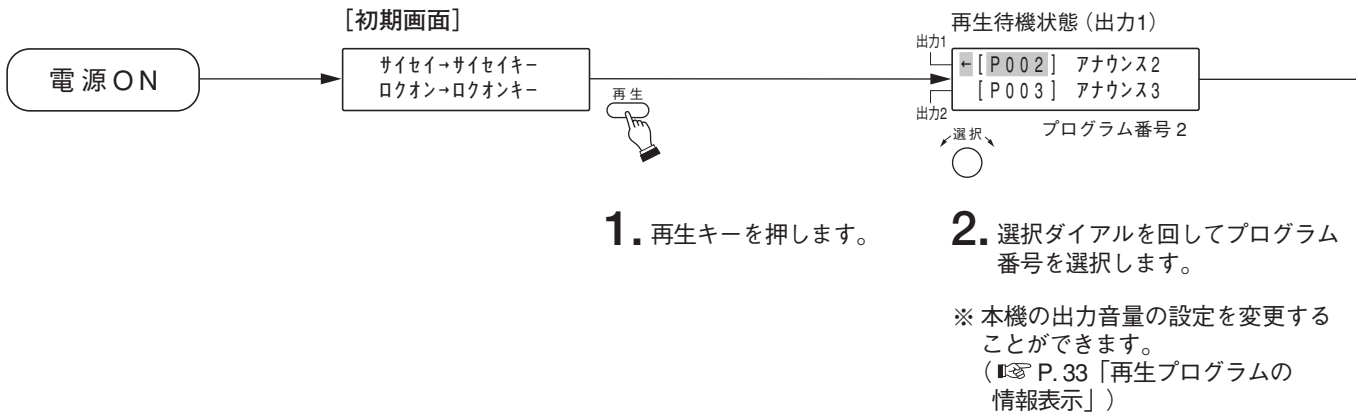
● 再生のしかた

ここではすでに入力されているプログラムを再生する方法について説明します。

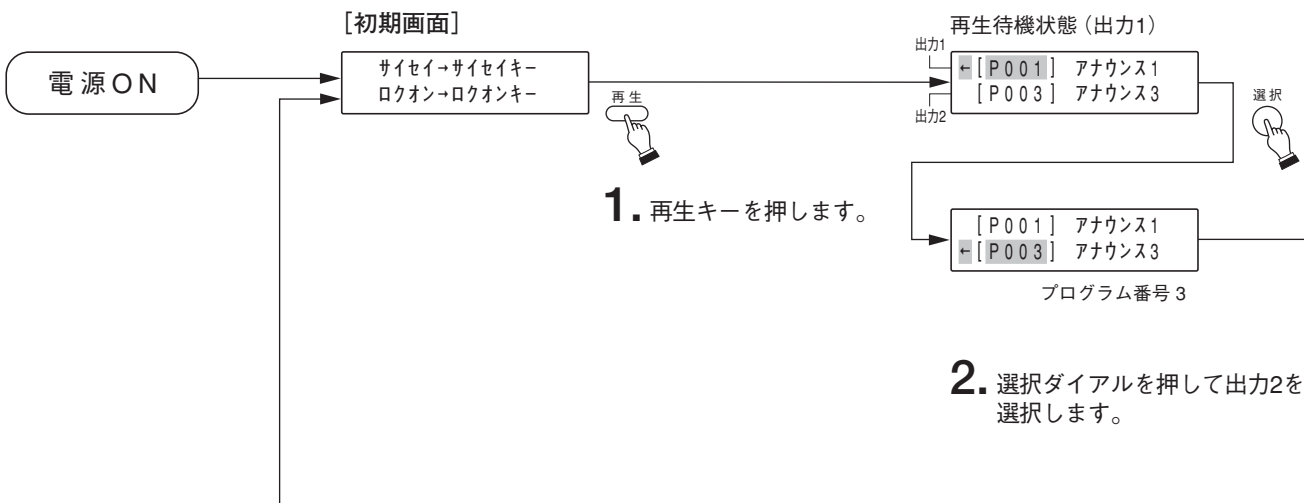
1. 接続を確認した後、本機のフロントカバーを外し、メモリーカードをセットします。
 - ・メモリーカードをセットしたときは、最初に約3秒間メモリーカードの情報を読み出すためにカードにアクセスします。アクセスしている間は各キーの操作は受け付けません。
 - ・カードにアクセスしている間はカードの抜き差しはしないでください。アクセス中にカードを抜き差しした場合は、カードのデータが失われることがあります。
2. 本機の電源および放送用アンプの電源を「入」にします。(放送用のアンプの音量調節器を最小音量になるようにしておきます。)
3. 再生を始めます。(▶▶ 次ページ「再生操作の手順」)
4. 放送用アンプの音量調節器で適切な音量に調節します。

● 再生操作の手順

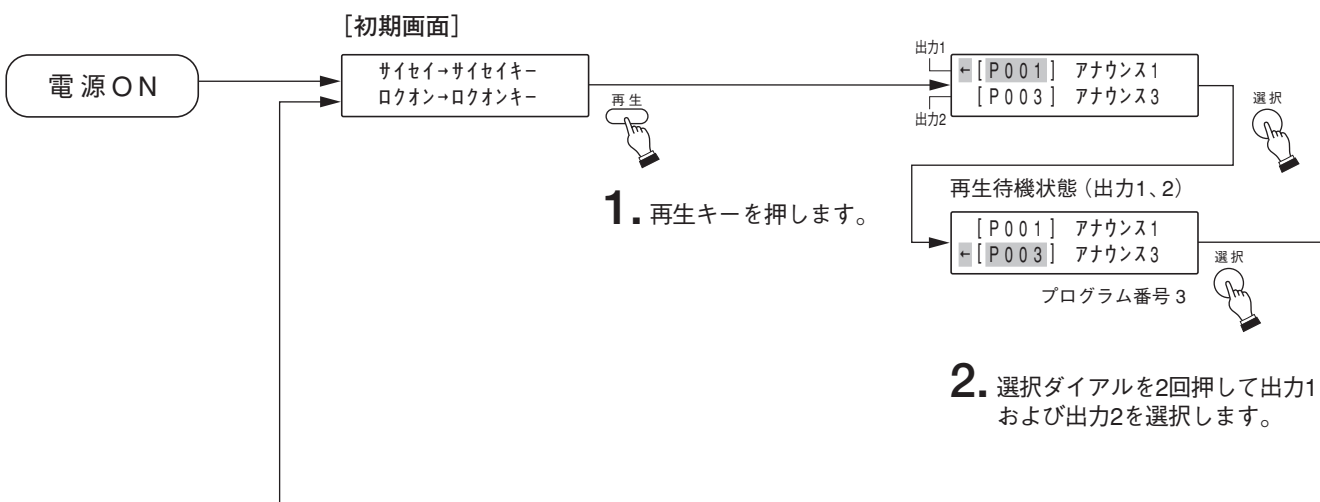
[出力1に設定されたプログラムの再生]

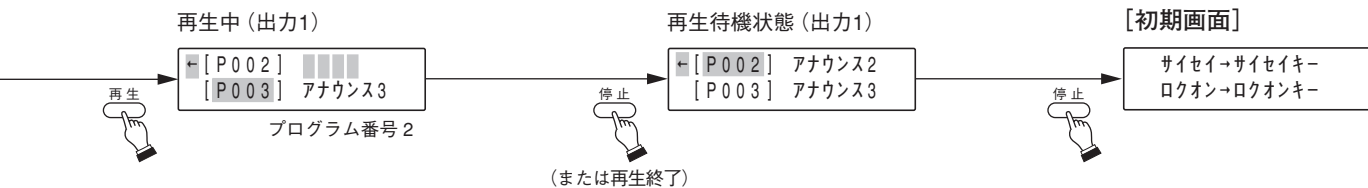


[出力2に設定されたプログラムの再生]



[出力1および出力2に設定されたプログラムの再生]



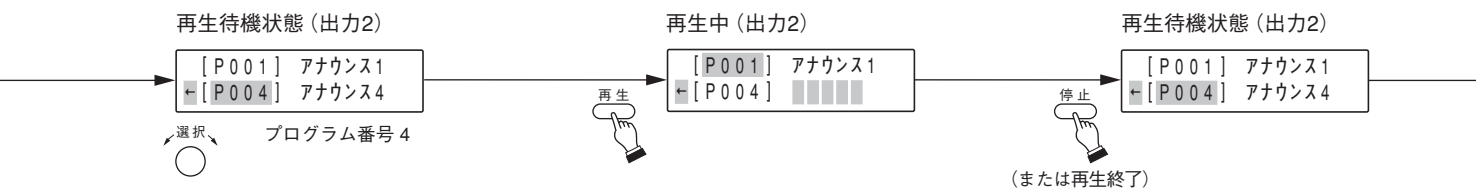


- 3.** 再生キーを押します。
→再生が開始されます。

- ※ 再生中の画面表示を変えることができます。
(参照 P. 32 「再生中の画面表示」)
- ※ 本機の出力音量の設定を変更することができます。
(参照 P. 33 「再生プログラムの情報表示」)

- 4.** 停止キーを押します。
→再生待機状態に戻ります。
(続けて再生するときは、
2.~3.を繰り返します。)

- 5.** 停止キーを押します。
→初期画面に戻ります。

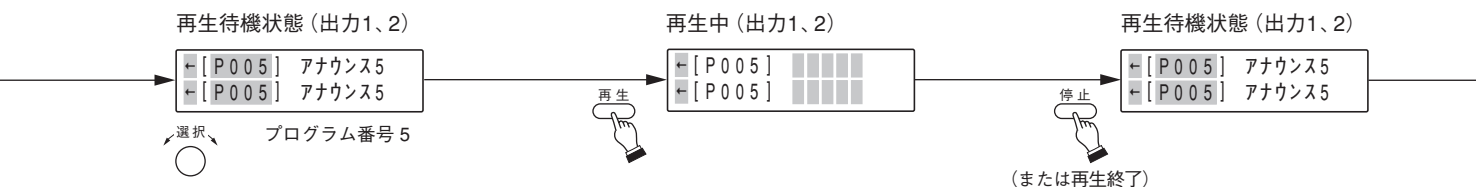


- 3.** 選択ダイヤルを回してプログラム番号を選択します。

- 4.** 再生キーを押します。
→再生が開始されます。

- 5.** 停止キーを押します。
→再生待機状態に戻ります。
(続けて再生するときは、
3.~4.を繰り返します。)

- 6.** 停止キーを押します。
→初期画面に戻ります。



- 3.** 選択ダイヤルを回してプログラム番号を選択します。

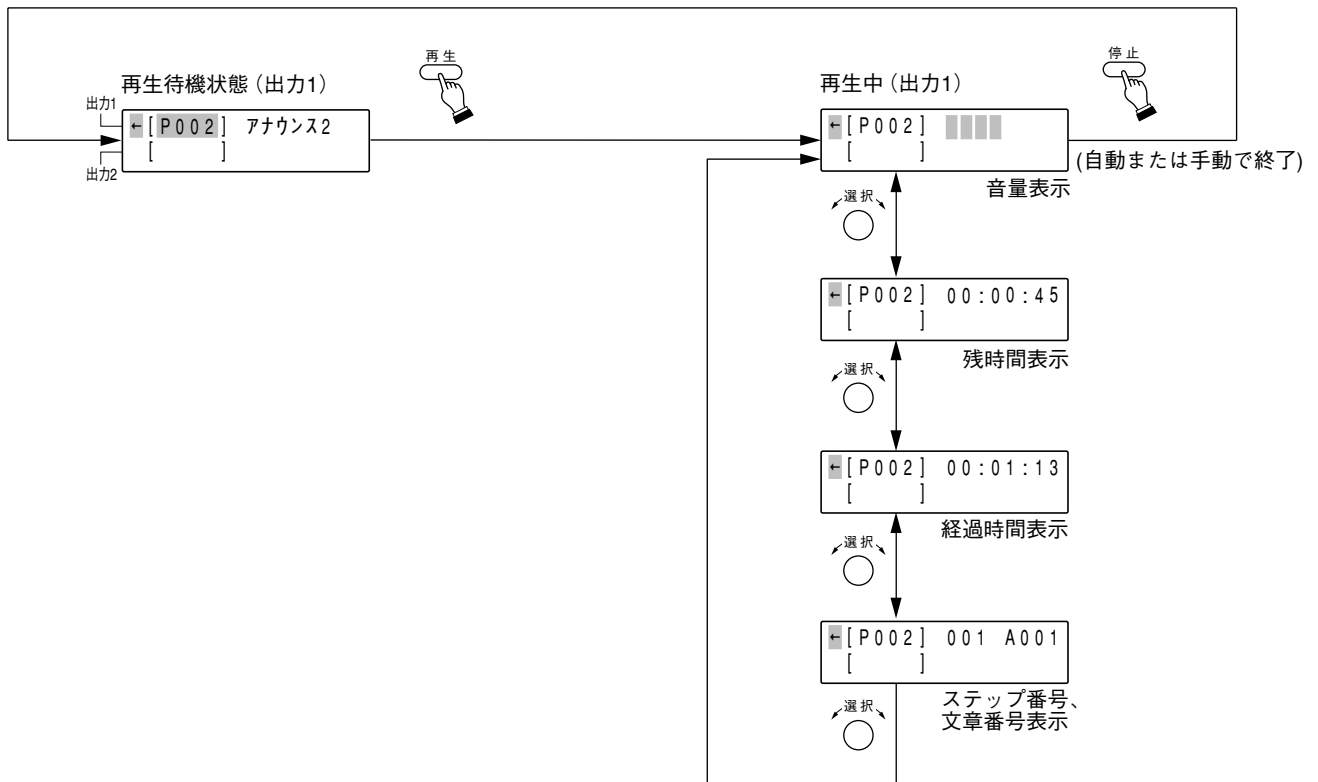
- 4.** 再生キーを押します。
→再生が開始されます。

- 5.** 停止キーを押します。
→再生待機状態に戻ります。
(続けて再生するときは、
3.~4.を繰り返します。)

- 6.** 停止キーを押します。
→初期画面に戻ります。

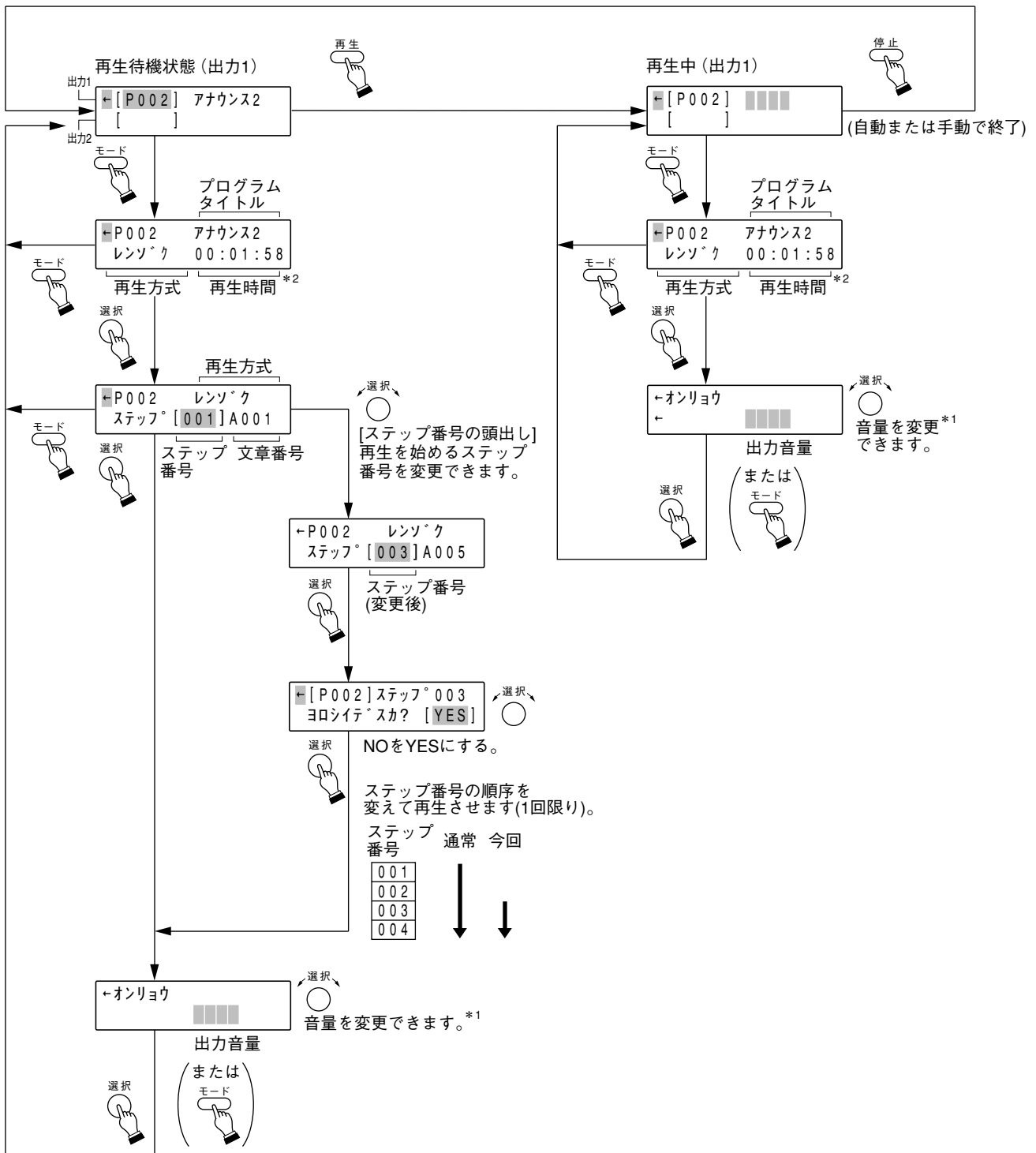
● 再生中の画面表示

再生中に選択ダイヤルを回して表示を変えることができます。(再生出力には影響しません。)



● 再生プログラムの情報表示

再生待機状態または再生中に、出力音量（全体音量）の設定を変えることができます。



*1 ここで音量変更をすると、設定メニュー「4-2 全体音量」も変更されます。(P. 41)

*2 エンドレス再生のときは、「再生時間」は表示されません。また「ステップ番号の頭出し」機能はありません。

■ 緊急再生（外部起動）

地震放送やダム警報などの緊急文章を録音しておく、本機でマイクや外部機器からの放送またはプログラム再生をしているときでも、これらの放送に優先して緊急の放送ができます。

マイク放送または外部機器での放送は中断し、プログラム再生は停止します。

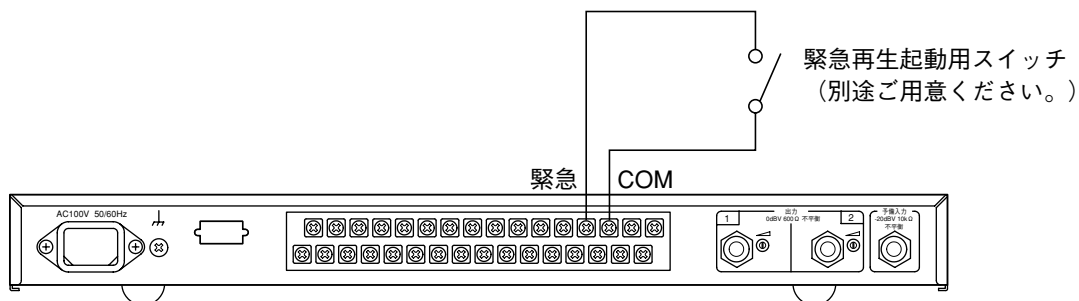
緊急文章を直接指定して起動をかけることにより緊急再生ができます。プログラム設定の必要はありません。

- ・ 緊急再生は出力1、出力2両方に出力されます。
- ・ 緊急再生中はビジー出力1とビジー出力2の両方がメイクされます。
- ・ 緊急再生の音量設定はできません、最大音量での放送となります。
ただし、後面の出力音量調節ボリュームでの音量調節はできます。
- ・ 緊急文章の文章コピーはできません。
- ・ 緊急文章を録音したカードは、カードスロットAに差し込んでください。
カードスロットBの緊急文章は、カードスロットAにメモリーカードが差し込まれていないときだけ再生可能です。
カードスロットAに緊急文章を録音していないカードを差し込んでいるときは、緊急再生はできません。

※ 緊急文章の録音については、P. 23「緊急文章の録音」をご覧ください。

■ 緊急再生の起動

- ・ 緊急再生はマニュアル再生できません。
- ・ 緊急再生起動用のスイッチを別途用意し、後面の緊急再生起動制御入力に接続しておきます。
緊急再生起動用のスイッチをメイクすると緊急再生が起動します。
- ・ 緊急文章の再生を停止させるときは、前面の停止キーを押します。（リモート制御で停止させることはできません。）



緊急文章の再生は「5-2キドウモードキリカエ」で設定する1～7の起動モードとは無関係に動作します。

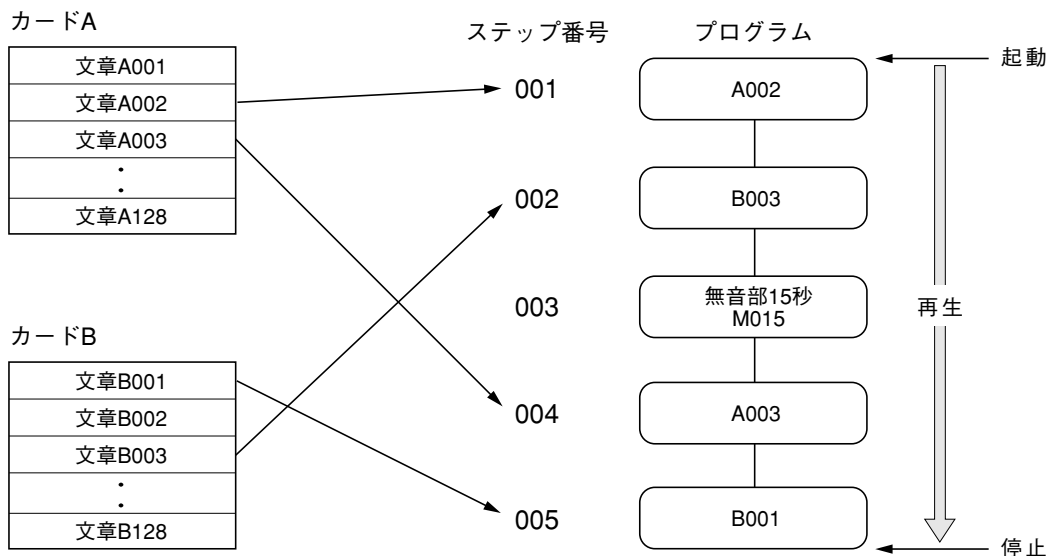
- ・ ワンショット起動した場合
緊急文章を1回再生し、停止します。
- ・ レベル起動した場合
緊急端子をメイクしている間、緊急文章の再生を繰り返し行い、緊急端子を開放すると緊急文章の残り部分を再生して停止します。

●再生方式

再生方式には以下の4つの方式があり、プログラム入力時に選択し設定します。

[プログラム連続再生]

起動がかかるとプログラムに入力された文章と無音部をステップ番号順に連続で再生し停止します。特に設定を行わない場合（工場出荷時設定）はこのプログラム連続再生になります。文章の途中で再生を停止するときは、停止キーを押すか停止起動端子をメイクします。



[プログラム単独再生]

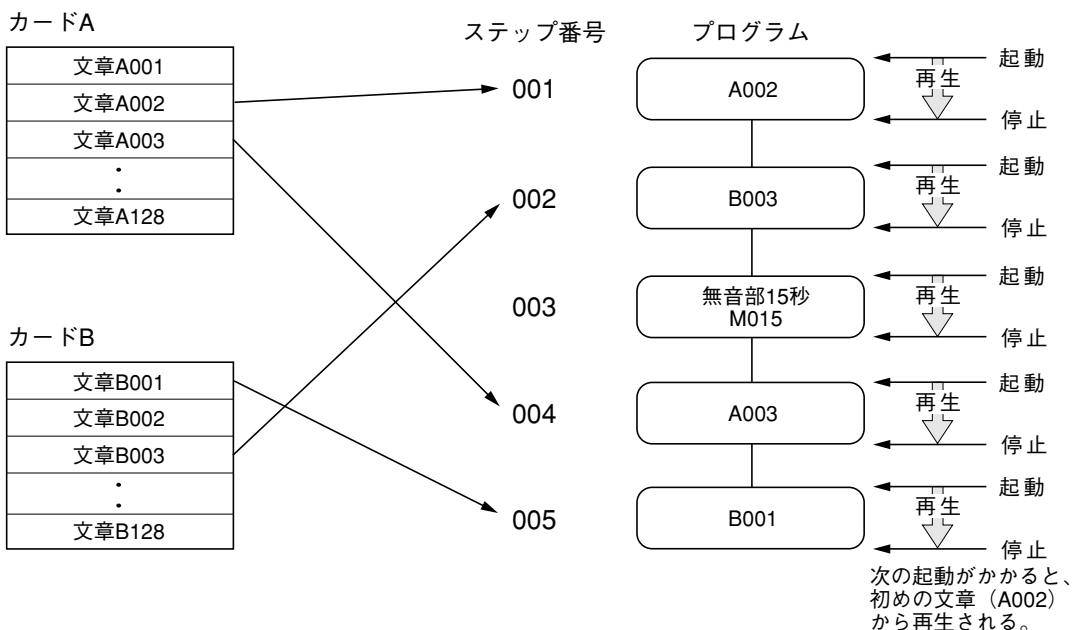
プログラムに入力された文章と無音部を起動ごとに、ステップ番号順に1文章ずつ再生します。1つの文章が終わると自動的に停止します。

最後の文章が終わると、次の起動でプログラムの最初のステップから再生します。

停止キーを押したり、停止起動端子をメイクして初期画面にしたときは、次に起動をかけると次のステップ番号から再生します。

マニュアル再生、起動端子からの再生起動のほかに、本機内部のインターバルタイマを利用して文章と文章の間に一定の時間（プログラム間隔）をおいて自動的に再生することができます（インターバル放送）。インターバルタイマはOFF、10～50秒（10秒単位）と1～99分（1分単位）で設定できます。

文章の途中で再生を停止するときは、停止キーを押すか停止起動端子をメイクします。



[リピート再生]

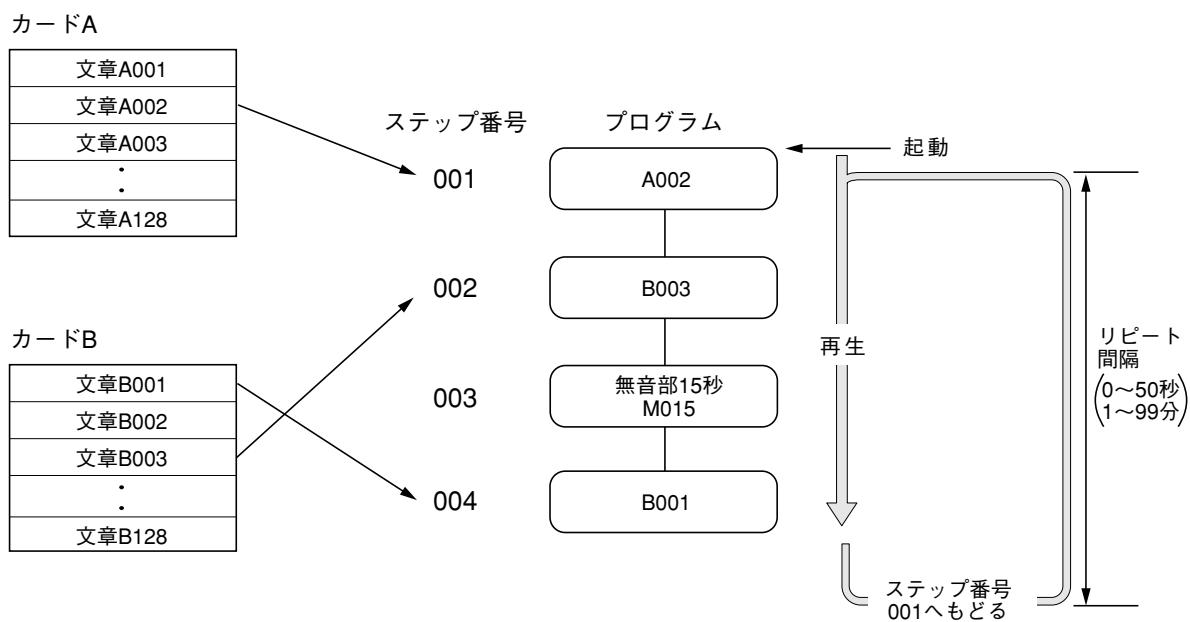
プログラムに入力された文章と無音部をステップ番号順に繰り返し再生します。

リピート間隔（最後の文章を終了してから、最初の文章を再生開始するまでの時間）とリピート回数を設定することができます。

設定されたリピート回数の再生が終了すると、再生動作は停止し初期画面になります。

リピート間隔は0～50秒（10秒単位）と1～99分（1分単位）で、またリピート回数は連続または1～128回で設定できます。

再生を停止するときは、停止キーを押すか停止起動端子をメイクします。



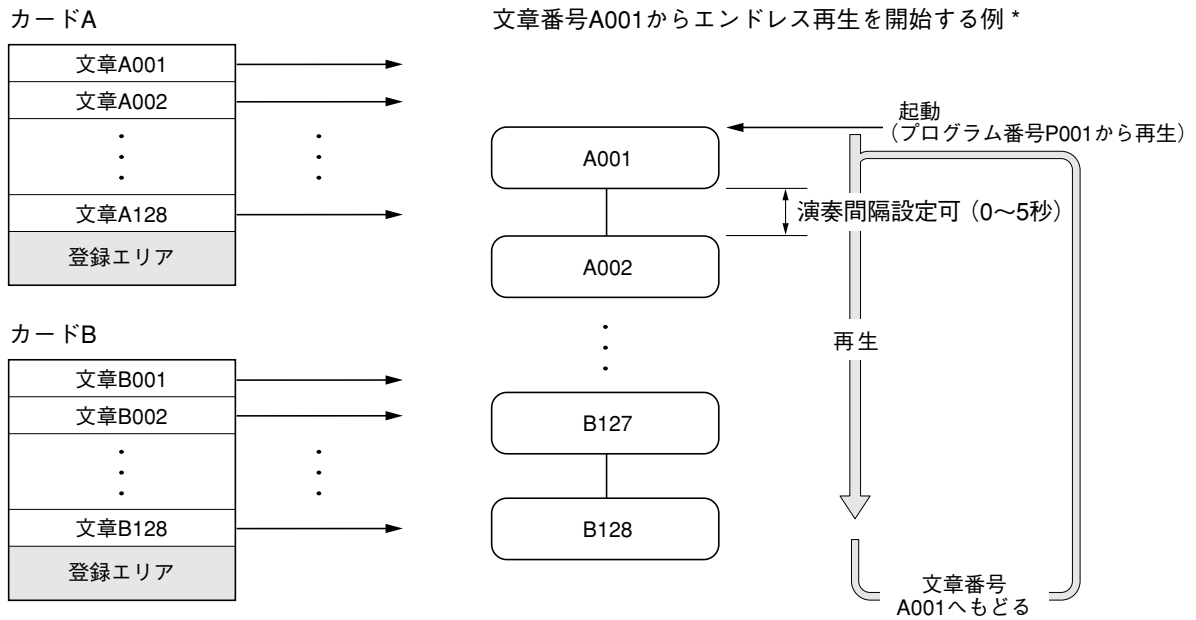
[エンドレス再生]

カードAに録音された文章を文章番号順に連続で再生します。カードAの再生が終わると、カードBの文章を再生します。

最後の文章を再生したあとは最初の文章に戻り再生を続けます。

文章と文章の間に0～5秒（1秒単位）の演奏間隔を設定することができます。

再生を停止するときは、停止キーを押すか停止起動端子をメイクします。



* プログラム番号P001の再生方式を「エンドレス再生」に設定しておいてください。

・エンドレス再生を開始する文章番号の指定方法

再生方式を「エンドレス再生」に設定されたプログラム番号（例：P002）を選択して再生すると、それに対応した文章番号（例：A002）からエンドレス再生を開始します（下表参照）。

※他の（この例ではP002以外の）プログラム番号の再生方式は自由に指定できます。

（☞ P. 35「1-1 プログラム入力」、P. 30「再生操作の手順」）

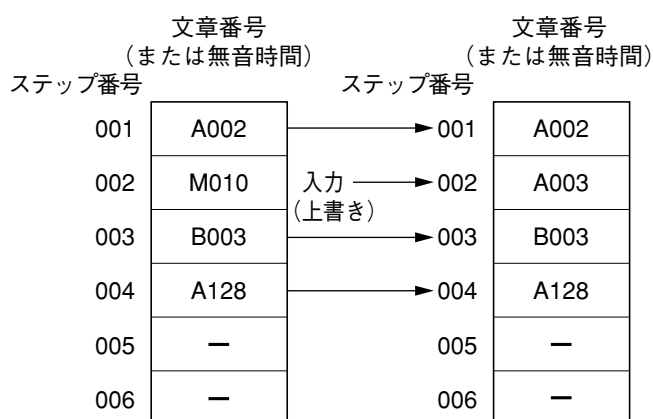
「エンドレス再生」に設定したプログラム番号	エンドレス再生を開始する文章番号
P001	→ A001
P002（ここでの例）	→ A002（ここでの例）
⋮	⋮
P128	→ A128
P129	→ B001
P130	→ B002
⋮	⋮
P256	→ B128

●ステップの入力／削除／挿入

[ステップの入力]

選択されたステップに入力し、そのステップに上書きします。

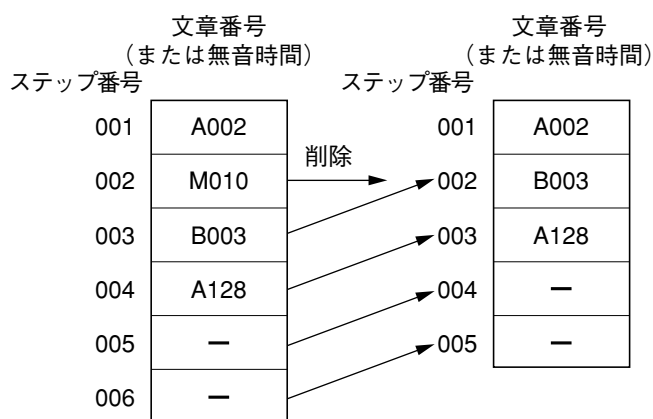
ステップ番号002に文章番号A003を入力したとき



[ステップの削除]

選択されたステップを削除したあと、ステップをつめます。
ステップ番号が変わります。

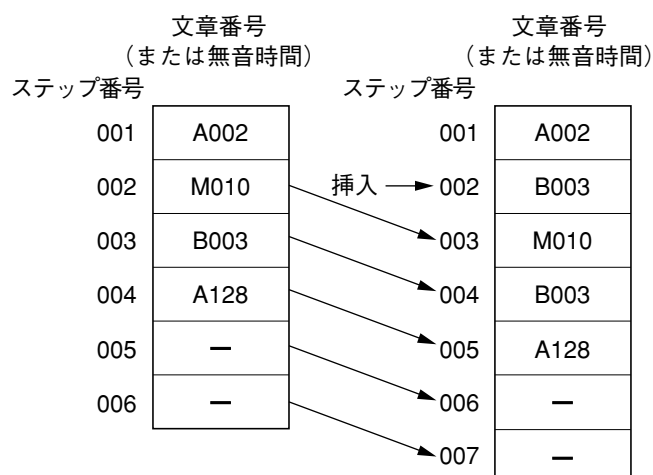
ステップ番号002を削除したとき




[ステップの挿入]

選択されたステップに挿入したあと、元のステップを続けます。
ステップ番号が変わります。


ステップ番号002に文章番号B003を挿入したとき





● プログラムの出力レベルの設定 (1-2 出力レベル)

作成されたプログラムごとに出力レベルを設定します。
(設定操作手順  P. 60)


● プログラムの確認 (1-3 プログラム確認)

作成されたプログラムのプログラムタイトル、再生方式、および内容の確認ができます。
(設定操作手順  P. 60)

● プログラムの初期化 (1-4 プログラム初期化)

プログラム番号を指定して、作成したプログラムを初期化できます。
プログラムの初期化は1つのプログラムの内容をすべて消し、初期値に戻します。( P. 35)
全のプログラムを一度に初期化することもできます。
(設定操作手順  P. 62)


● プログラムタイトルの入力・編集 (1-5 プログラムタイトル入力)

作成したプログラムにタイトルを付けたり、登録されたタイトルを修正することができます。
(設定操作手順  P. 62)



■ 設定機能 (2. 文章の編集)

録音された文章の内容の確認、文章の消去、および文章タイトルの設定をします。


● 文章の確認 (2-1 文章確認)

録音された文章の録音音質、文章タイトル、および時間が確認できます。
(設定操作手順  P. 64)


● 文章の消去 (2-2 文章消去)

消去したい文章を指定して、録音した文章を消去できます。
文章の消去は1つの文章内容をすべて消します。
全文章を一度に消去することもできます。
文章の消去後はカード最適化 ( P. 78) を必ず実行してください。
(設定操作手順  P. 64)

● 文章タイトルの入力・編集 (2-3 文章タイトル)

録音した文章にタイトルを付けたり、登録されたタイトルを修正することができます。
文章タイトルを入力するには録音に引き続いて入力する方法と、メニュー「2-3 文章タイトル」で入力する方法があります。
録音に引き続いて入力する方法は、P. 24「録音のしかた」をご覧ください。
(設定操作手順  P. 66)

● 文章無音部削除 (2-4 文章無音削除)

文章録音後に、録音内容の前後に残る無音部分を削除します。
削除は0秒～9.9秒の範囲(0.1秒刻み)でできます。
無音部分の削除設定後は、必ずモニタを実行し内容の確認を行った後に確定させるようにしてください。
(設定操作手順  P. 66)


ご注意 モニタ音は出力1、2からは再生されず、ヘッドホン出力からの再生だけになります。

■ 設定機能（3. 文章／プログラムのモニタ）


録音した文章や作成したプログラムをヘッドホンでモニタできます。

ご注意 モニタ音は出力1、2からは再生されず、ヘッドホン出力からの再生だけになります。

● 文章のモニタ（3-1 文章モニタ）

録音した文章をヘッドホンでモニタします。
（設定操作手順  P. 68）

● プログラムモニタ（3-2 プログラムモニタ）

作成したプログラムをヘッドホンでモニタします。
（設定操作手順  P. 68）

■ 設定機能（4. 出力／音量の調節）


● 1元再生モード／2元再生モードの切り換え（4-1 1元／2元再生切り換え）

プログラム再生時の出力を1元または2元に切り換えます。

1元再生モード：プログラムごとに設定された出力先は無視し、出力1からの放送だけになります。出力2は使えません。

出力1に設定したプログラムと出力2に設定したプログラムを同時に再生した場合、両方のプログラムをミキシングし、出力1から放送されます。


2元再生モード：プログラムごとに設定された出力先により、出力1、出力2それぞれから放送されます。

※ 工場出荷時は2元再生モードに設定されています。
（設定操作手順  P. 69）

● 全体音量の設定（4-2 全体音量）

プログラム再生全体の音量を設定します。プログラムごとに設定する出力レベルはプログラム間の相対的な音量として有効ですが、絶対音量はここで決定します。

また、マイク入力や予備入力の音量は設定できません。前面の各ツマミで調節してください。

※ 工場出荷時は「8」に設定されています。
（設定操作手順  P. 69）

■ 設定機能（5. 本体の動作設定）

● リモート制御機能設定（5-1 制御機能設定）〔録音／消去、再生、停止〕

後面の制御入力端子を使い、外部機器から文章の録音、消去およびプログラムの再生をリモート制御することができます。

出力1に設定されたプログラムと出力2に設定されたプログラムは別々にリモート再生、リモート停止をすることができます。

[ダイレクトモードとバイナリモード]

リモート録音、リモート消去で文章番号を選択する場合およびリモート再生でプログラム番号を選択する場合は、起動制御入力端子をメイクします。

起動制御端子による文章番号、プログラム番号の選択のしかた（制御機能）にはダイレクトモードとバイナリモードの2種類が選択できます。

（ダイレクトモードでの起動 ■ P. 44、45、バイナリモードでの起動 ■ P. 44、47）

※ 工場出荷時はダイレクトモードに設定されています。

（設定操作手順 ■ P. 70）

[ダイレクトモードでの起動制御端子1～8]

起動制御端子	録音／消去	再 生
	文章番号	プログラム番号
1	A001	P001
2	A002	P002
3	A003	P003
4	A004	P004
5	A005	P005
6	A006	P006
7	A007	P007
8	A008	P008


[バイナリモードでの起動制御端子1～8]

起動制御端子			録音/ 消去	再生	起動制御端子			録音/ 消去	再生	起動制御端子			録音/ 消去	再生	起動制御端子			録音/ 消去	再生																				
1	2	3	4	5	6	7	8	文 章 番 号	プロ グ ラ ム 番 号	1	2	3	4	5	6	7	8	文 章 番 号	プロ グ ラ ム 番 号	1	2	3	4	5	6	7	8	文 章 番 号	プロ グ ラ ム 番 号	1	2	3	4	5	6	7	8	文 章 番 号	プロ グ ラ ム 番 号
00000000	A001	P001	00000010	A065	P065	00000001	B001	P129	00000011	B065	P193																												
10000000	A002	P002	10000010	A066	P066	10000001	B002	P130	10000011	B066	P194																												
01000000	A003	P003	01000010	A067	P067	01000001	B003	P131	01000011	B067	P195																												
11000000	A004	P004	11000010	A068	P068	11000001	B004	P132	11000011	B068	P196																												
00100000	A005	P005	00100010	A069	P069	00100001	B005	P133	00100011	B069	P197																												
10100000	A006	P006	10100010	A070	P070	10100001	B006	P134	10100011	B070	P198																												
01100000	A007	P007	01100010	A071	P071	01100001	B007	P135	01100011	B071	P199																												
11100000	A008	P008	11100010	A072	P072	11100001	B008	P136	11100011	B072	P200																												
00010000	A009	P009	00010010	A073	P073	00010001	B009	P137	00010011	B073	P201																												
10010000	A010	P010	10010010	A074	P074	10010001	B010	P138	10010011	B074	P202																												
01010000	A011	P011	01010010	A075	P075	01010001	B011	P139	01010011	B075	P203																												
11010000	A012	P012	11010010	A076	P076	11010001	B012	P140	11010011	B076	P204																												
00110000	A013	P013	00110010	A077	P077	00110001	B013	P141	00110011	B077	P205																												
10110000	A014	P014	10110010	A078	P078	10110001	B014	P142	10110011	B078	P206																												
01110000	A015	P015	01110010	A079	P079	01110001	B015	P143	01110011	B079	P207																												
11110000	A016	P016	11110010	A080	P080	11110001	B016	P144	11110011	B080	P208																												
00001000	A017	P017	00001010	A081	P081	00001001	B017	P145	00001011	B081	P209																												
10001000	A018	P018	10001010	A082	P082	10001001	B018	P146	10001011	B082	P210																												
01001000	A019	P019	01001010	A083	P083	01001001	B019	P147	01001011	B083	P211																												
11001000	A020	P020	11001010	A084	P084	11001001	B020	P148	11001011	B084	P212																												
00101000	A021	P021	00101010	A085	P085	00101001	B021	P149	00101011	B085	P213																												
10101000	A022	P022	10101010	A086	P086	10101001	B022	P150	10101011	B086	P214																												
01101000	A023	P023	01101010	A087	P087	01101001	B023	P151	01101011	B087	P215																												
11101000	A024	P024	11101010	A088	P088	11101001	B024	P152	11101011	B088	P216																												
00011000	A025	P025	00011010	A089	P089	00011001	B025	P153	00011011	B089	P217																												
10011000	A026	P026	10011010	A090	P090	10011001	B026	P154	10011011	B090	P218																												
01011000	A027	P027	01011010	A091	P091	01011001	B027	P155	01011011	B091	P219																												
11011000	A028	P028	11011010	A092	P092	11011001	B028	P156	11011011	B092	P220																												
00111000	A029	P029	00111010	A093	P093	00111001	B029	P157	00111011	B093	P221																												
10111000	A030	P030	10111010	A094	P094	10111001	B030	P158	10111011	B094	P222																												
01111000	A031	P031	01111010	A095	P095	01111001	B031	P159	01111011	B095	P223																												
11111000	A032	P032	11111010	A096	P096	11111001	B032	P160	11111011	B096	P224																												
00000100	A033	P033	00000110	A097	P097	00000101	B033	P161	00000111	B097	P225																												
10000100	A034	P034	10000110	A098	P098	10000101	B034	P162	10000111	B098	P226																												
01000100	A035	P035	01000110	A099	P099	01000101	B035	P163	01000111	B099	P227																												
11000100	A036	P036	11000110	A100	P100	11000101	B036	P164	11000111	B100	P228																												
00100100	A037	P037	00100110	A101	P101	00100101	B037	P165	00100111	B101	P229																												
10100100	A038	P038	10100110	A102	P102	10100101	B038	P166	10100111	B102	P230																												
01100100	A039	P039	01100110	A103	P103	01100101	B039	P167	01100111	B103	P231																												
11100100	A040	P040	11100110	A104	P104	11100101	B040	P168	11100111	B104	P232																												
00010100	A041	P041	00010110	A105	P105	00010101	B041	P169	00010111	B105	P233																												
10010100	A042	P042	10010110	A106	P106	10010101	B042	P170	10010111	B106	P234																												
01010100	A043	P043	01010110	A107	P107	01010101	B043	P171	01010111	B107	P235																												
11010100	A044	P044	11010110	A108	P108	11010101	B044	P172	11010111	B108	P236																												
00110100	A045	P045	00110110	A109	P109	00110101	B045	P173	00110111	B109	P237																												
10110100	A046	P046	10110110	A110	P110	10110101	B046	P174	10110111	B110	P238																												
01110100	A047	P047	01110110	A111	P111	01110101	B047	P175	01110111	B111	P239																												
11110100	A048	P048	11110110	A112	P112	11110101	B048	P176	11110111	B112	P240																												
00001100	A049	P049	00001110	A113	P113	00001101	B049	P177	00001111	B113	P241																												
10001100	A050	P050	10001110	A114	P114	10001101	B050	P178	10001111	B114	P242																												
01001100	A051	P051	01001110	A115	P115	01001101	B051	P179	01001111	B115	P243																												
11001100	A052	P052	11001110	A116	P116	11001101	B052	P180	11001111	B116	P244																												
00101100	A053	P053	00101110	A117	P117	00101101	B053	P181	00101111	B117	P245																												
10101100	A054	P054	10101110	A118	P118	10101101	B054	P182	10101111	B118	P246																												
01101100	A055	P055	01101110	A119	P119	01101101	B055	P183	01101111	B119	P247																												
11101100	A056	P056	11101110	A120	P120	11101101	B056	P184	11101111	B120	P248																												
00011100	A057	P057	00011110	A121	P121	00011101	B057	P185	00011111	B121	P249																												
10011100	A058	P058	10011110	A122	P122	10011101	B058	P186	10011111	B122	P250																												
01011100	A059	P059	01011110	A123	P123	01011101	B059	P187	01011111	B123	P251																												
11011100	A060	P060	11011110	A124	P124	11011101	B060	P188	11011111	B124	P252																												
00111100	A061	P061	00111110	A125	P125	00111101	B061	P189	00111111	B125	P253																												
10111100	A062	P062	10111110	A126	P126	10111101	B062	P190	10111111	B126	P254																												
01111100	A063	P063	01111110	A127	P127	01111101	B063	P191	01111111	B127	P255																												
11111100	A064	P064	11111110	A128	P128	11111101	B064	P192	11111111	B128	P256																												

※ 表中の1は、マイクを表します。

● リモート制御の起動モード切り換え (5-2 起動モード切り換え)

[起動モード]

リモート録音、リモート再生、リモート停止にはそれぞれ起動モードを設定することができます。
(設定操作手順  P. 70)

リモート録音

- (1) 録音起動モード1 (ワンショット起動) : 工場出荷時設定
- (2) 録音起動モード2 (レベル起動)

リモート再生

・ダイレクトモード

- (1) 再生起動モード1 (ワンショット起動、後入力禁止) : 工場出荷時設定
- (2) 再生起動モード2 (ワンショット起動、後入力優先割込み)
- (3) 再生起動モード3 (ワンショット起動、小さいプログラム番号優先)
- (4) 再生起動モード4 (ワンショット起動、順次記憶再生)
- (5) 再生起動モード5 (レベル起動、先入力優先)
- (6) 再生起動モード6 (レベル起動、後入力優先割込み)
- (7) 再生起動モード7 (レベル起動、小さいプログラム番号優先)

・バイナリモード

- (1) 再生起動モード1 (ワンショット起動、後入力禁止)
- (2) 再生起動モード2 (ワンショット起動、後入力優先割込み)
- (3) 再生起動モード3 (ワンショット起動、小さいプログラム番号優先)
- (4) 再生起動モード4 (ワンショット起動、順次記憶再生)
- (5) 再生起動モード5 (レベル起動)

リモート停止

- (1) 停止起動モード1 (再生の途中で停止) : 工場出荷時設定
- (2) 停止起動モード2 (文章再生終了後に停止)

● ダイレクトモード

[リモート録音]

文章の上書き録音はできません。文章を録音し直すときは必ず消去してから録音してください。

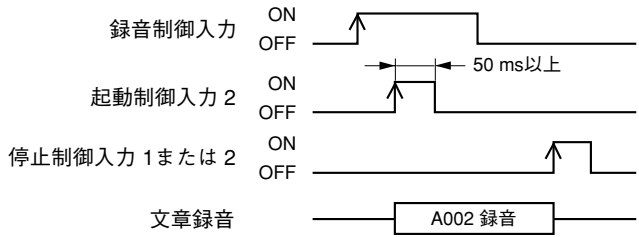
8文章（A001～A008）をリモート録音することができます。

メモリーカードスロットAに実装されているメモリーカードにのみリモート録音されます。

メモリーカードスロットBに実装されているカードにはリモート録音できません。

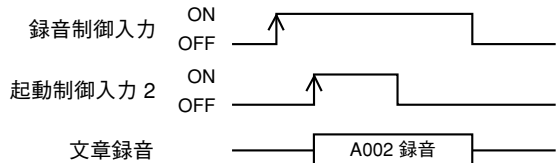
録音制御入力をメイクしたあと起動制御入力をメイクすると録音を始めます。

(1) 録音起動モード1（ワンショット起動）



- ・ 録音制御入力をメイク（OFF→ON）したあと、起動制御入力をメイクすると録音を始めます。
- ・ 停止制御入力1または停止制御入力2のメイクおよび停止キーを押すと停止します。
- ・ 録音残時間が0になると録音を停止します。
- ・ 録音中の再生起動およびキー操作は受け付けません。

(2) 録音起動モード2（レベル起動）

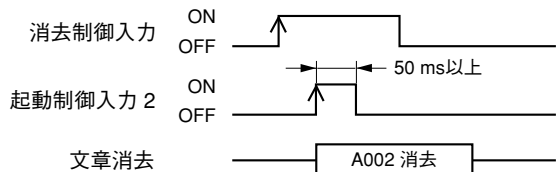


- ・ 録音制御入力をメイクしたあと、起動制御入力のメイクで録音を始め、録音制御入力がメイクされている間録音します。
- ・ 録音残時間が0になると録音を停止します。
- ・ 録音中の停止制御入力1または停止制御入力2のメイクおよび停止キーの操作によって録音は停止します。
- ・ 録音中の再生起動およびキー操作は受け付けません。

[リモート消去]

消去制御入力をメイクしたあと、起動制御入力をメイクしたときに消去を始めます。

消去が終わると停止します。



- ・ 消去中の制御入力およびキー操作は受け付けません。

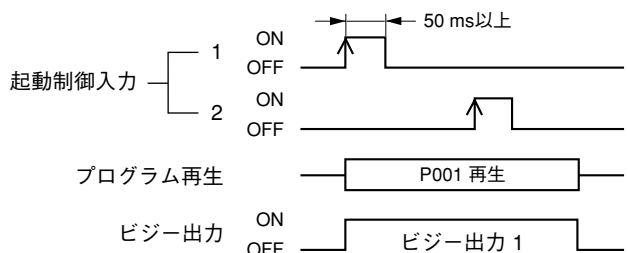
[リモート再生]

8プログラム（P001～P008）をリモート再生することができます

制御起動入力をメイクすると再生を始めます。

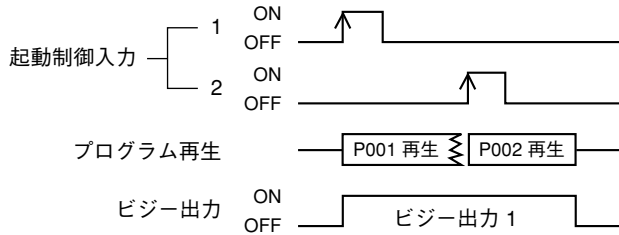
※ プログラム番号P001、P002は出力1に設定されているものとします。

(1) 再生起動モード1（ワンショット起動、後入力禁止）



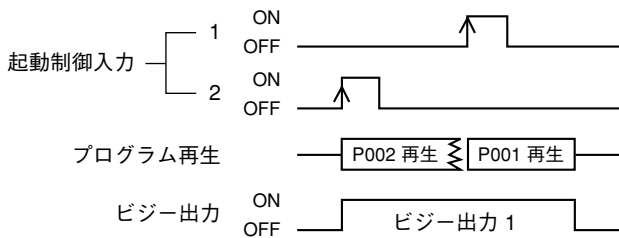
- ・ 起動制御入力をメイク（OFF→ON）すると再生を始めます。
- ・ 再生中の起動制御入力に再度入力があっても受け付けません。
- ・ 起動制御入力がメイクされ続けていても再生は1回だけです。
- ・ 同時に複数の起動制御入力がメイクしたときは、プログラム番号の小さいものが再生されます。

(2) 再生起動モード2 (ワンショット起動、後入力優先割込み)



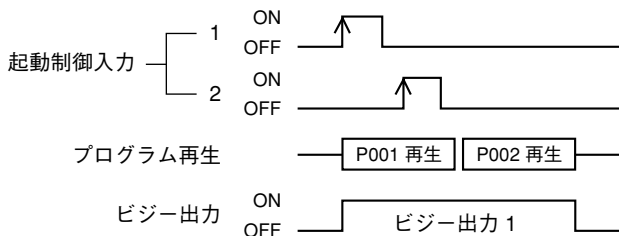
- 起動制御入力をメイクすると再生を始めます。
- 後から入った起動制御入力を優先します。
- 起動制御入力がメイクされ続けていても再生は1回だけです。

(3) 再生起動モード3 (ワンショット起動、小さいプログラム番号優先)



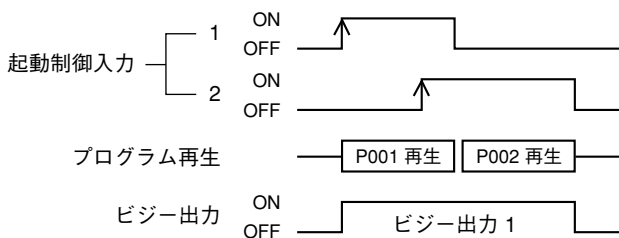
- 起動制御入力をメイクすると再生を始めます。
- 再生中のプログラム番号よりも小さいプログラム番号の起動制御入力があったときは、小さい番号を優先して再生します。大きいプログラム番号は受け付けられません。
- 起動制御入力がメイクされ続けていても再生は1回だけです。

(4) 再生起動モード4 (ワンショット起動、順次記憶再生)



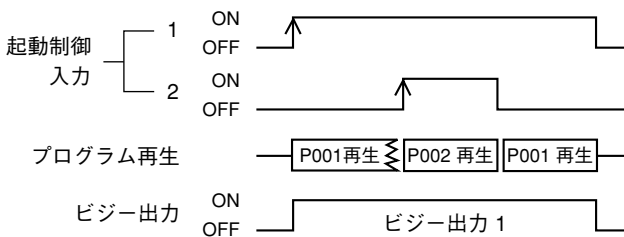
- 起動制御入力をメイクすると再生を始めます。
- 起動制御入力を順次記憶して入力順に再生します。
- 出力ごとに最大16入力まで記憶します。
- 同時に複数の起動制御入力がメイクしたときは、プログラム番号の小さいものが先に記憶再生されます。
- 起動制御入力がメイクされ続けていても再生は1回だけです。
- 停止制御入力をメイクすると再生中のプログラムを停止します。(再生プログラムが出力1および2に出力されているときに、停止1制御入力をメイクすると出力1は出力がなくなりますが、出力2はそのままプログラム再生を続けます。) つぎに記憶されている起動制御入力がある場合は、自動的につぎのプログラム再生を開始します。
- 再生制御入力をメイクしながら消去/クリア制御入力をメイクすると、記憶した入力はすべてクリアされます。

(5) 再生起動モード5 (レベル起動、先入力優先)



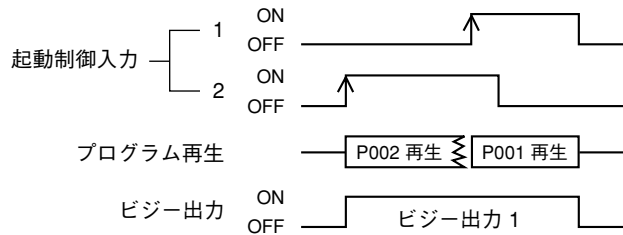
- 起動制御入力をメイクしている間再生します。
- 再生中は、後から入った起動制御入力は受け付けません。
- 再生後、他の起動制御入力があれば続けてそのプログラムを再生します。
- 同時に複数の起動制御入力がメイクしたときは、プログラム番号の小さいものが再生されます。

(6) 再生起動モード6 (レベル起動、後入力優先割込み)



- 起動制御入力をメイクしている間再生します。
- 再生中でも、後から入った起動制御入力を優先します。
- 再生後、他の起動制御入力があれば続けてそのプログラムを再生します。
- 同時に複数の起動制御入力がメイクしたときは、プログラム番号の小さいものが再生されます。

(7) 再生起動モード7 (レベル起動、小さいプログラム番号優先)

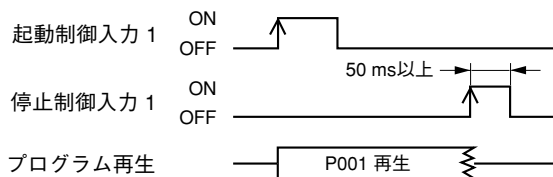


- ・ 起動制御入力をメイクしている間再生します。
- ・ 再生中のプログラム番号よりも小さいプログラム番号の起動制御入力があったときは、小さいプログラム番号を優先して再生します。大きいプログラム番号は受け付けられません。
- ・ 同時に複数の起動制御入力がメイクしたときは、プログラム番号の小さいものが再生されます。

[リモート停止]

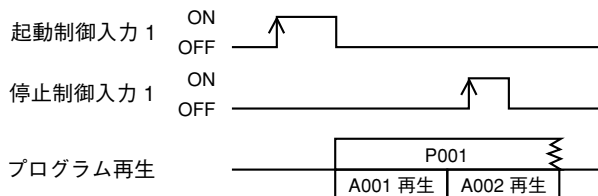
再生起動モードがワンショット起動のとき (再生起動モード1～4) の停止モードが設定できます。

(1) 停止起動モード1 (再生の途中で停止)



- ・ 停止制御入力がメイク (OFF → ON) されるとすぐに再生を停止します。
- ・ 停止制御入力がメイクされているときは、プログラム再生できません。

(2) 停止起動モード2 (文章再生終了後に停止)



- ・ 停止制御入力がメイクされると、再生しているプログラム中の文章が終了したあとに停止します。
- ・ 停止制御入力がメイクされているときは、プログラム再生できません。

● バイナリモード

[リモート録音]

文章の上書き録音はできません。文章を録音し直すときは必ず消去してから録音してください。

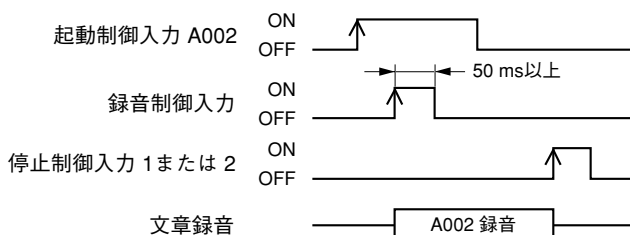
256文章 (A001～A128、B001～B128) をリモート録音することができます。

メモリーカードスロットAのメモリーカードにはA001～A128の文章が録音されます。

メモリーカードスロットBのメモリーカードにはB001～B128の文章が録音されます。

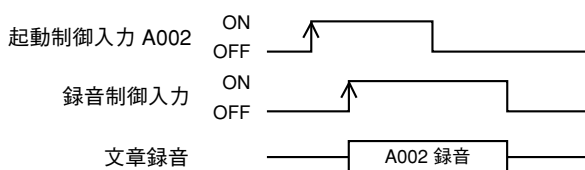
起動制御入力をメイクしたあと録音制御入力をメイクすると録音を始めます。

(1) 録音起動モード1 (ワンショット起動)



- ・ 起動制御入力をメイク (OFF → ON) したあと、録音制御入力をメイクすると録音を始めます。
- ・ 停止制御入力1または停止制御入力2のメイクおよび停止キーを押すと停止します。
- ・ 録音残時間が0になると録音を停止します。
- ・ 録音中の再生起動およびキー操作は受け付けません。

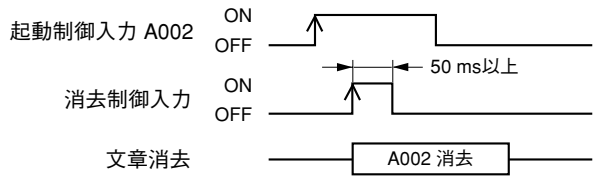
(2) 録音起動モード2 (レベル起動)



- ・ 起動制御入力をメイクしたあと、録音制御入力のメイクで録音を始め起動制御入力がメイクされている間録音します。
- ・ 録音残時間が0になると録音を停止します。
- ・ 録音中の停止制御入力1または停止制御入力2のメイクおよび停止キーの操作によって録音は終了します。
- ・ 録音中の再生起動およびキー操作は受け付けません。

[リモート消去]

起動制御入力をメイクしたあと、消去制御入力をメイクすると消去を始めます。
消去が終わると停止します。



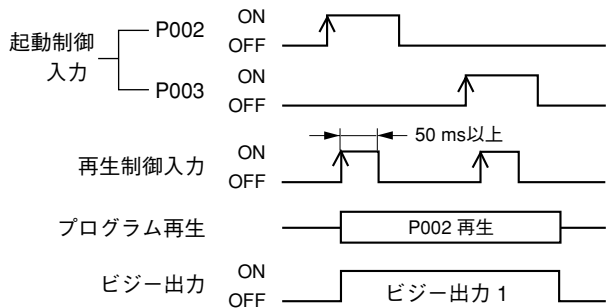
- 消去中の制御入力およびキー操作は受け付けません。

[リモート再生]

256 プログラム (P001 ~ P256) がリモート再生できます。
起動制御入力をメイクしたあと再生制御入力をメイクすると再生を始めます。

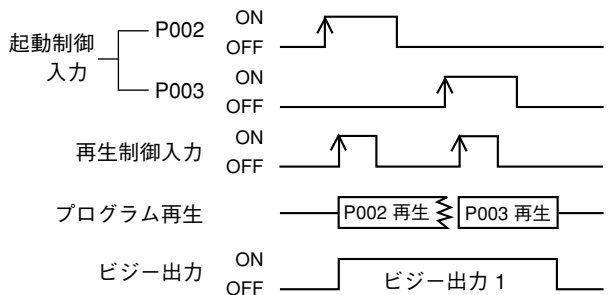
※ プログラム番号 P002、P003 は出力 1 に設定されているものとします。

(1) 再生起動モード 1 (ワンショット起動、後入力禁止)



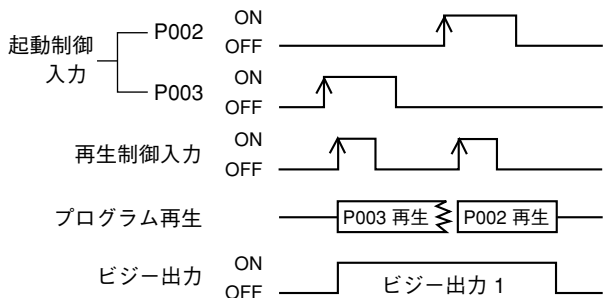
- 起動制御入力をメイク (OFF → ON) したあと、再生制御入力をメイクすると再生を始めます。
- 再生中に起動制御入力を変更し再度、再生制御入力があったとしても受け付けません。
- 起動制御入力メイクされ続けていても再生は 1 回だけです。

(2) 再生起動モード 2 (ワンショット起動、後入力優先割込み)



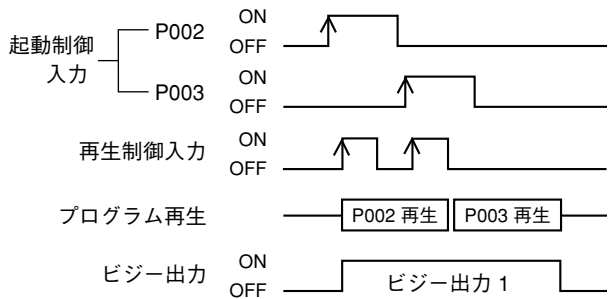
- 起動制御入力をメイク (OFF → ON) したあと、再生制御入力をメイクすると再生を始めます。
- 後から入った起動制御入力と再生制御入力を優先します。
- 起動制御入力メイクされ続けていても再生は 1 回だけです。

(3) 再生起動モード 3 (ワンショット起動、小さいプログラム番号優先)



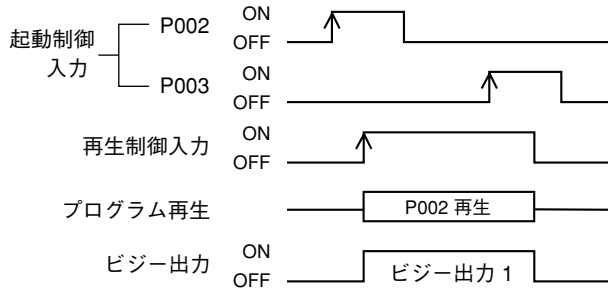
- 起動制御入力をメイク (OFF → ON) したあと、再生制御入力をメイクすると再生を始めます。
- 再生中のプログラム番号よりも小さいプログラム番号の起動制御入力と再生制御入力があったとき、小さい番号を優先して再生します。大きいプログラム番号は受け付けられません。
- 起動制御入力メイクされ続けていても再生は 1 回だけです。

(4) 再生起動モード4 (ワンショット起動、順次記憶再生)



- 起動制御入力をメイク (OFF → ON) したあと、再生制御入力をメイクすると再生を始めます。
- 起動制御入力と再生制御入力を順次記憶して入力順に再生します。
- 出力ごとに最大16入力まで記憶します。
- 起動制御入力メイクが続いても再生は1回だけです。
- 停止制御入力をメイクすると再生中のプログラムを停止します。(再生プログラムが出力1および2に出力されているときに、停止1制御入力をメイクすると出力1は出力がなくなりますが、出力2はそのままプログラム再生を続けます。) つぎに記憶されている起動制御入力がある場合は、自動的につぎのプログラム再生を開始します。
- 再生制御入力をメイクしながら消去/クリア制御入力をメイクすると、記憶した入力はすべてクリアされます。

(5) 再生起動モード5 (レベル起動)

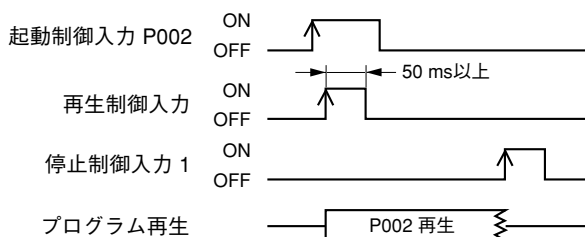


- 起動制御入力をメイク (OFF → ON) したあと、再生制御入力をメイクしている間再生します。

[リモート停止]

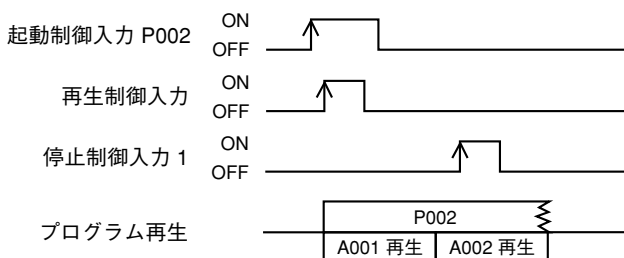
再生起動モードがワンショット起動のとき (再生起動モード1～4) の停止モードが設定できます。

(1) 停止起動モード1 (再生の途中で停止)



- 停止制御入力がメイク (OFF → ON) されるとすぐに再生を停止します。
- 停止制御入力がメイクされているときは、プログラム再生できません。

(2) 停止起動モード2 (文章再生終了後に停止)




- 停止制御入力がメイクされると、再生しているプログラム中の文章が終了したあとと停止します。
- 停止制御入力がメイクされているときは、プログラム再生できません。

● ビジー出力および再生遅延時間の設定 (5-3 ビジー設定)

[ビジー出力の設定]

プログラム再生時、文章録音時、文章消去時、システム設定時*1およびマイク放送時のビジー出力 (ON / OFF) の設定をします。

- ・再生時のビジーを ON にすると、1元再生時でも2元再生時でも、プログラムごとに設定された出力先に応じたビジー出力端子からビジー出力されます。そのビジー出力1、2をそれぞれに ON / OFF を設定できます。
- ・文章録音時、文章消去時、マイク放送時、システム設定時のビジー出力の ON / OFF を、ビジー出力1、2のそれぞれに設定できます。
(設定操作手順  P. 72)

※ 工場出荷時の設定

- ・再生ビジー : ビジー出力1、2共に ON
- ・文章録音時、文章消去時、システム設定時のビジー、マイク放送時 : 出力1、2共に OFF

*1 システムビジーが ON に設定されているとき、以下の機能の設定中または動作中にビジー出力が出ます。


1-1 プログラム入力	7-1 カードネーム入力
1-2 出力レベル	7-2 カード再フォーマット
1-4 プログラム初期化	7-3 カード最適化
1-5 プログラムタイトル	7-4 ソフトライトプロテクト
2-3 文章タイトル	8-1 プログラムコピー
2-4 無音削除 (および無音削除のモニター*2)	8-2 文章コピー
3-1 文章モニター*2	8-3 カードコピー
3-2 プログラムモニター*2	9-1 オートレベル調整

*2 再生ビジーが ON になっていてもビジー出力はされませんのでご注意ください。

メモ

プログラム入力設定でのビジー出力

上記のビジー出力の他に、「プログラム単独再生時のプログラム間隔」のとき、「リピート再生時の演奏間隔」のときにも、ビジー出力1、2に出力することができます。


( P. 35 「1-1 プログラム入力」)

[再生遅延時間の設定]

再生起動がかかってからプログラム再生をはじめまでの遅延時間は、0秒～99秒までの間 (1秒刻み) で設定します。

※ 工場出荷時の設定

再生遅延時間 : 0秒

(設定操作手順  P. 72)

■ 設定機能 (6. 本体の環境設定)

● 操作ビープ音の設定 (6-1 操作ビープ音)

キー操作の時にビープ音を鳴らす (ON)、鳴らさない (OFF) の設定をします。

※ 工場出荷時は ON に設定されています。


(設定操作手順  P. 74)

● RS-232C の設定 (6-2 RS-232C 設定)

RS-232C の通信速度の設定をします。

4800bps、9600bps、19200bps のいずれかに設定します。

※ 工場出荷時は 9600bps に設定されています。

(設定操作手順  P. 74)

● パスワードの設定 (6-3 パスワード)

パスワードの設定をします。

パスワードを設定しておくことでキーロック機能を ON にして誤操作やいたづらを防止することができます。

※ 工場出荷時にはパスワードは設定されていません。

(設定操作手順  P. 74)

● 本体初期化 (6-4 本体初期化)

本体のすべての設定を工場出荷時の設定にします。

「録音設定」、「4. 出力／音量の調節」「5. 本体の動作設定」、「6. 本体の環境設定」、「9. オートレベルの設定」を初期設定値にします。

(設定操作手順  P. 74)

● キーロックの設定 (6-5 キーロック)

キーロック機能の設定をします。

キーロック機能を ON にするまえにパスワードを設定しておく必要があります。

キーロック機能を ON にすると電源キー以外のキーやダイヤルは機能しなくなり、誤操作やいたづらを防止することができます。

※ 工場出荷時はキーロックは OFF に設定されています。

(設定操作手順  P. 74)

● バージョン表示 (6-6 バージョン)

本体のプログラムソフトのバージョンを表示します。

選択ダイヤルで項目を選択するとバージョンが表示されます。

(設定操作手順  P. 74)

■ 設定機能 (7. カードの編集)

メモリーカードに名前を付けたり、再フォーマットができます。

● カードネームの入力・編集 (7-1 カードネーム入力)

録音したカードに名前を付けたり、登録されたカードネームを修正することができます。

(設定操作手順  P. 76)

● カードの再フォーマット (7-2 カード再フォーマット)

カードを再フォーマットします。フォーマットを実行すると、それまでに録音した内容は全て消去されます。


最大文章数を 128 と 512 のいずれかを選択できます。

(最初に実行する「カードのフォーマット」では 128 文章になります。)

(設定操作手順  P. 76)

● カード最適化 (7-3 カード最適化)

カード内の文章の消去を行った場合は、カードの録音可能残時間が短くなる場合があります。カード最適化を実行することによりこれを避けることができます。文章の消去後はカード最適化を必ず実行するようにしてください。

(設定操作手順  P. 78)

● ソフトライトプロテクト (7-4 ソフトライトプロテクト)

カードに録音／設定された内容にプロテクトをかけることができます。プロテクトがかかったカードへの文章登録／消去／編集、プログラム入力／編集などの内容変更の作業ができなくなります。

カード内容を誤って消去したり編集してしまわないように、カード作成後はプロテクトをかけていただくようおすすめします。

プログラム再生／確認、文章確認などはプロテクトがかかっても行うことができます。

※ 工場出荷時の設定：ソフトライトプロテクトはカードA, B共にOFF
(設定操作手順 P. 78)

SRAM カードをご使用の場合は、カードのWP (ライトプロテクト) スイッチの位置とソフトライトプロテクトのON/OFF状態により以下ようになります。

WP スイッチ：WP 側、ソフトライトプロテクト	： ON	→プロテクト ON
WP スイッチ：WP 側、ソフトライトプロテクト	： OFF	→プロテクト ON
WP スイッチ：WP の反対側、ソフトライトプロテクト	： ON	→プロテクト ON
WP スイッチ：WP の反対側、ソフトライトプロテクト	： OFF	→プロテクト OFF

ただし、WP スイッチがWP 側の状態ではソフトライトプロテクトの設定をすることができません。また、ソフトライトプロテクトをONに設定した後にWP スイッチをWP 側にしたカードのプロテクトをOFFにする場合は、WP スイッチをWP の反対側にしてからソフトライトプロテクトをOFFにする必要があります。

■ 設定機能 (8. プログラム／文章／カードコピー)

作成したプログラムや録音した文章を新しいプログラム番号や文章番号にそのままコピーできます。カードAの文章をカードBにもコピーできます。またカードの内容すべてを別のカードへコピーできます。

● プログラムのコピー (8-1 プログラムコピー)

カードAに書き込まれたプログラムを、カードA内の別のプログラム番号にコピーできます。

ご注意 プログラムコピーは、すでに作成されたプログラムにも上書きされます。

● 文章のコピー (8-2 文章コピー)

録音した文章をカードAまたはBの新しい文章番号にコピーできます。

ご注意 緊急文章はコピーできません。

● カードのコピー (8-3 カードコピー)

カードの内容すべてを他のカードにコピーします。

コピー元のカードをカードスロットAに、コピー先のカードをカードスロットBに挿入します。


ご注意 カードスロットA、Bのメモリーカードは必ず同じ種類、容量のカードを使用してください。

● 文章コピー時にエラー表示が出たときの処理


1. 文章コピーを実行して、コピー先のメモリ容量（残時間）が足りないとき、次のエラー表示が出ます。

コピー先のカートリッジ
フック コウカンシテクターサイ

2. 次の方法でメモリ容量を増やしてから再び文章コピーをしてください。

- (1) コピー先のメモリカードを最適化すれば、空き容量が増えることがあります。（ P. 78 「7-3 カード最適化」）
- (2) 最適化をしても文章コピーができなければ、新たに大容量のメモリカードをご用意ください。（メモリカードを1枚だけ使用しているなら、もう1枚を増設してください）。


メモ

- ・文章コピーでは、本体で設定されている録音グレードに関係なく、コピー元の録音グレード（ロング/ノーマル/ハイ1/ハイ2）でそのままコピーされます。
- ・コピー元の文章の録音時間、録音グレードは、次の表示で確認できます。（ P. 64 「2-1 文章確認」）

文章番号	録音グレード	L (ロング)
[A001]	カクコン 32N	N (ノーマル)
メッセージ 1	0:00:10	H1 (ハイ1)
		H2 (ハイ2)
文章タイトル	録音時間	

- ・文章コピーが可能な録音残時間は次の表示で確認できます。

このとき、録音設定で録音グレードをコピー元の文章と同じグレードに設定しておいてください。異っていると正しい残時間表示が出ません。

（ P. 24 「録音設定の手順」）

[A001]	マニユアルスタート	0:10:00
		録音残時間

■ 設定機能（9. オートレベル設定）

● オートレベル調整（9-1 オートレベル調整）

オートレベル調整機能をONにしておくと、録音レベルの違う文章をプログラム再生しても同じ音量で再生することができます。

再生するプログラムによっては再生音に違和感が出ることがあります。

この場合はオートレベル調整機能をOFFにしてください。

※ 工場出荷時はOFFに設定されています。

（設定操作手順  P. 82）

設定操作

■ 設定の操作例

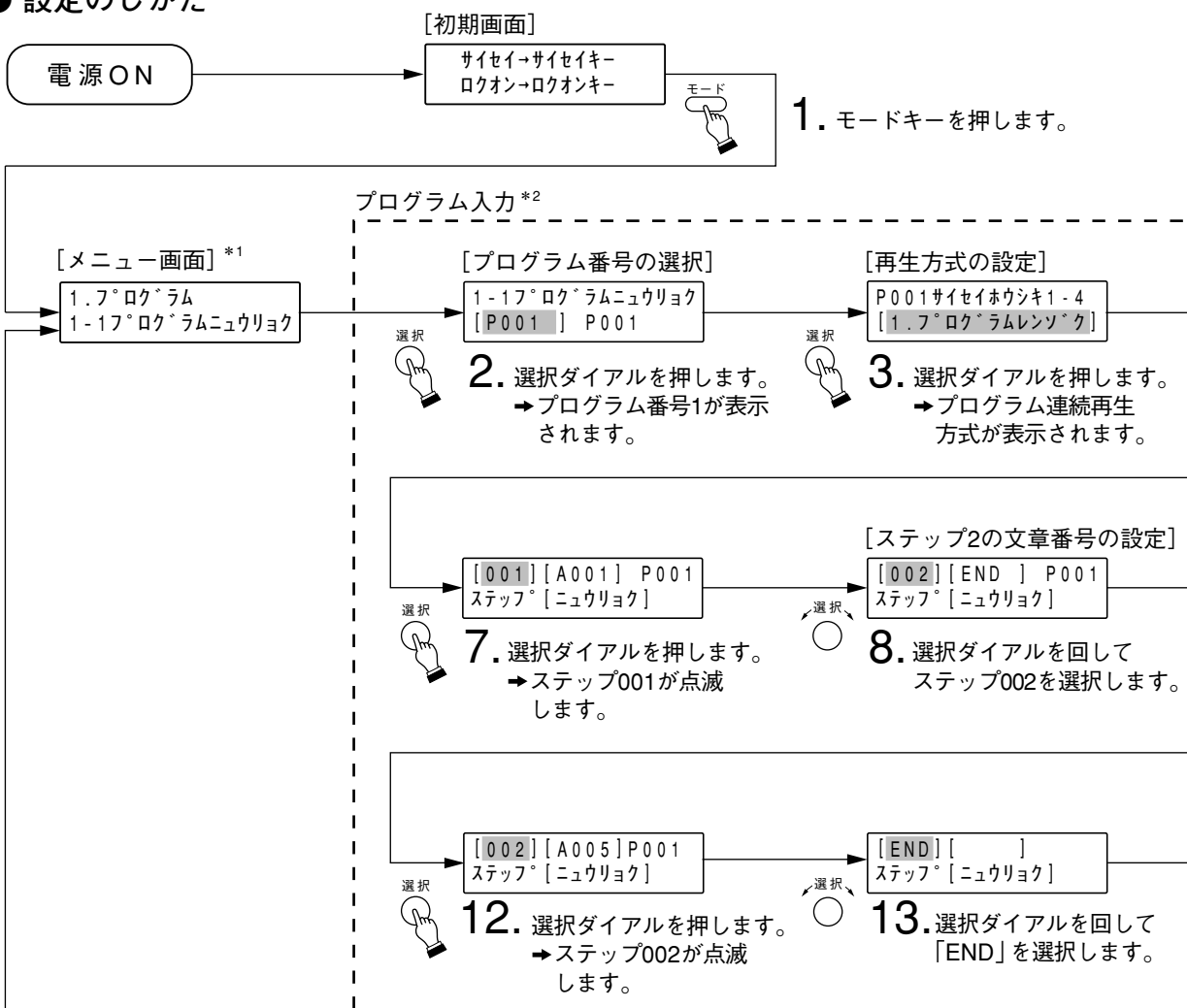
ここでは、「1-1 プログラム入力」(P. 35、56) を例に設定のしかたを説明します。

設定内容 (例)

プログラム番号「P001」に文章番号「A001」「A005」を設定します。また再生方式と出力先を下表のように設定します。

プログラム番号	再生方式	ステップ番号	編集	文章番号	出力先
P001	プログラム連続再生	001	ステップ入力	A001	出力1
		002		A005	

● 設定のしかた



*1 メニュー画面で キーを押すと、初期画面に戻ります。

*2 各機能の設定画面で キーを押すと、直前のメニュー画面に戻ります。

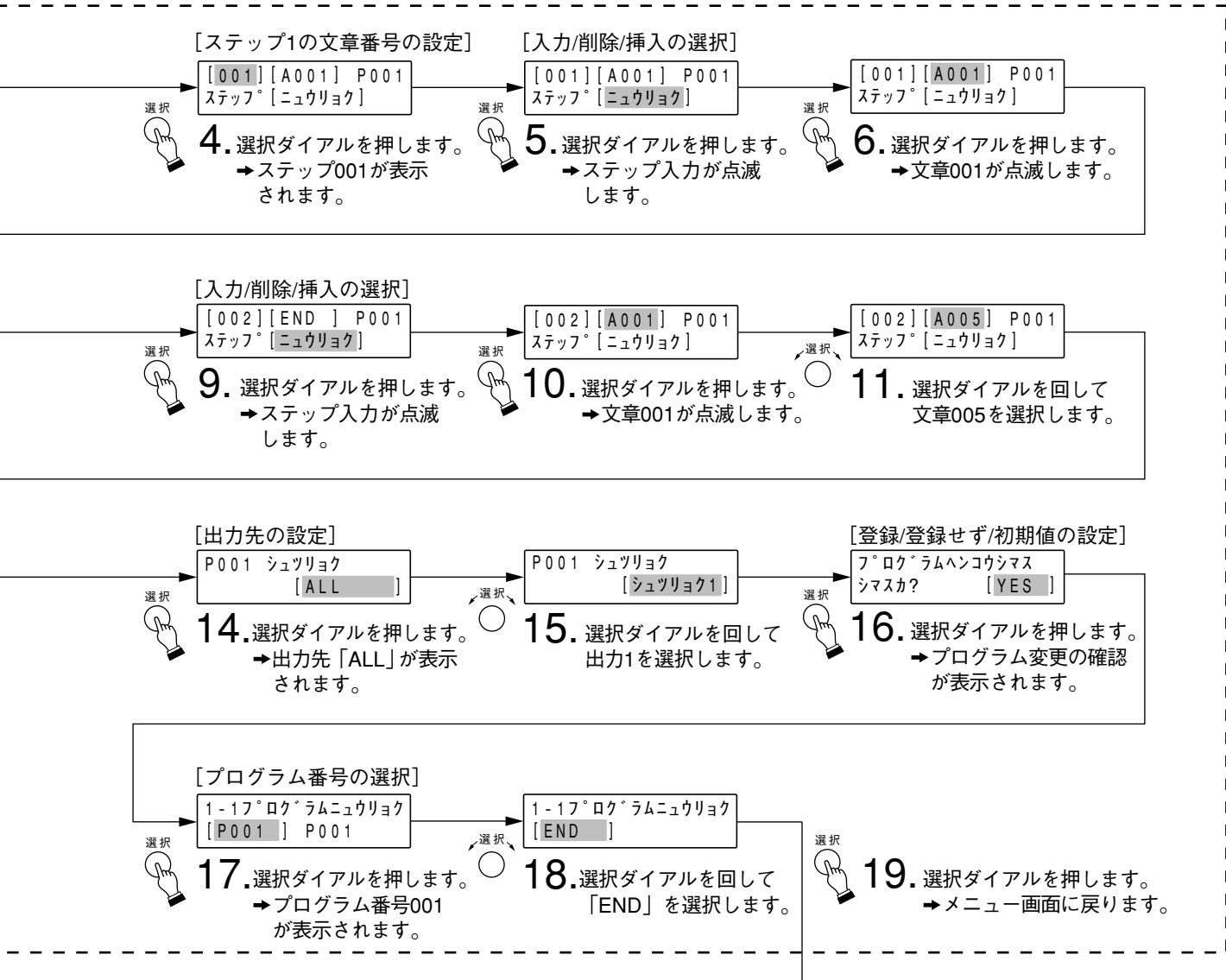
※ 各機能の設定が終了するとメニュー画面に戻ります。

すべての設定操作を終了するには、さらに キーを押して初期画面にしてください。

● プログラムの内容と初期値

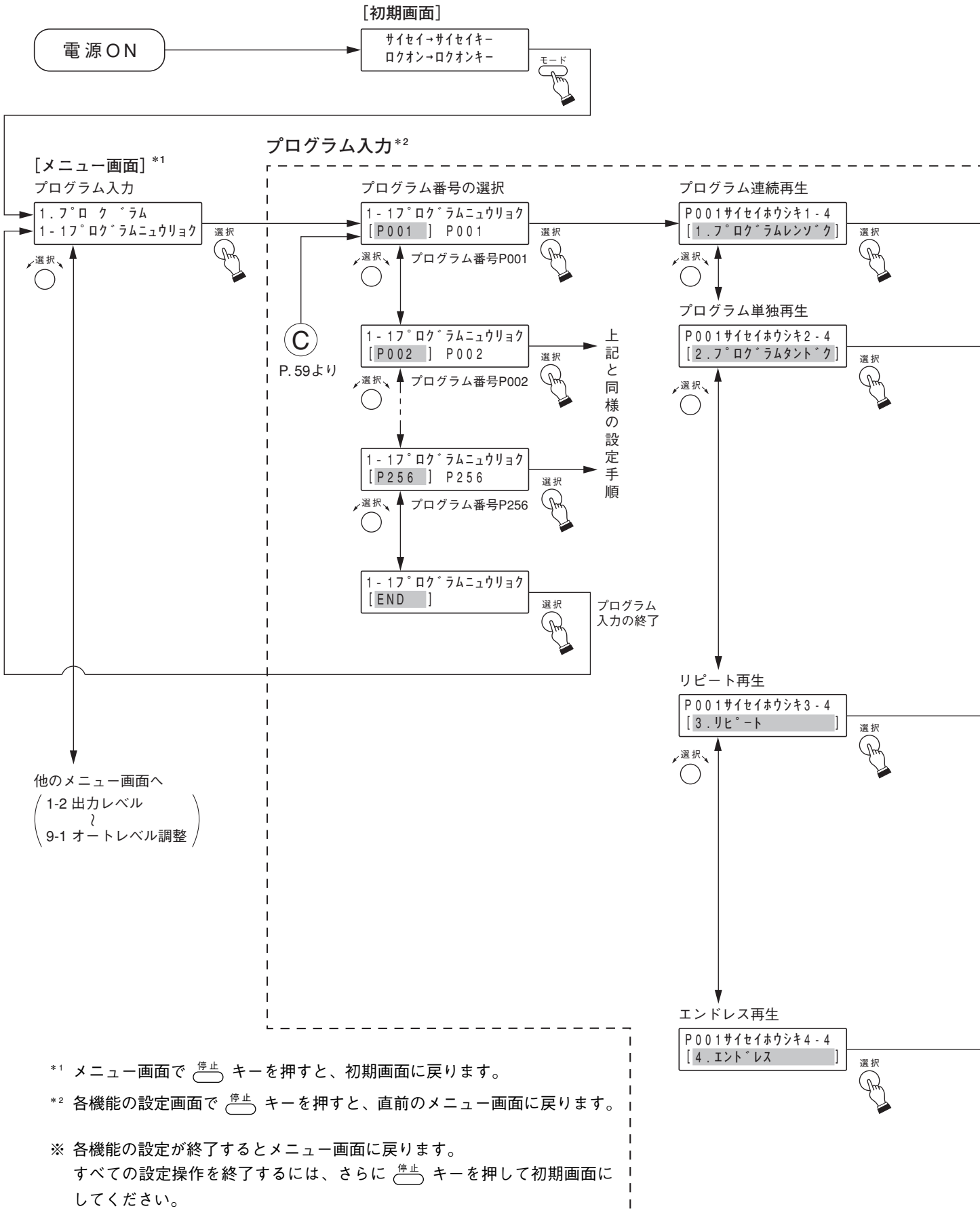
データ	内容	工場出荷時の初期値
再生音データ	文章と無音部の組み合わせ (無音部は0～10秒は0.1秒きざみ、10秒～127秒は1秒きざみで設定可能)	プログラム番号P001～P128に文章番号A001～A128、プログラム番号P129～P256に文章番号B001～B128を割り当て
制御データ	再生方式	プログラム連続再生
	出力先	出力1、出力2に同時に出力
	プログラムタイトル	プログラム番号P001～P256のプログラムタイトルとしてP001～P256を割り当て
	プログラムの出力レベル	目盛6に設定

※ プログラムを入力せずに再生した場合は、工場出荷時の初期値により動作します。



■ 設定操作 (1. プログラムの設定)

● 設定操作の手順 (1-1 プログラム入力)



ステップ入力へ **A**
次ページへ

プログラム間隔
(OFF、10、20、… 50秒、1、2、… 99分)

P001インターハールタイム
[OFF]

選択

P001インターハールタイム
[10sec]

選択

P001インターハールタイム
[99min]

プログラム間隔
ビジー出力 ON/OFF

P001インターハール
ビジーシュツリョク [ON]

選択

P001インターハール
ビジーシュツリョク [OFF]

選択

リピート回数
(連続、1、2、… 128回)

P001カイスウ [レンゾク]
カンカク [00sec]

選択

P001カイスウ [001カイ]
カンカク [00sec]

選択

P001カイスウ [128カイ]
カンカク [00sec]

リピート間隔
(0、10、… 50秒、1、2、… 99分)

P001カイスウ [010カイ]
カンカク [00sec]

選択

P001カイスウ [010カイ]
カンカク [99min]

選択

リピート間隔
ビジー出力 ON/OFF

P001リピートカンカク
ビジーシュツリョク [ON]

選択

P001リピートカンカク
ビジーシュツリョク [OFF]

選択

演奏間隔
(0、1、2、3、4、5秒)

P001エンソウカンカク
[0sec]

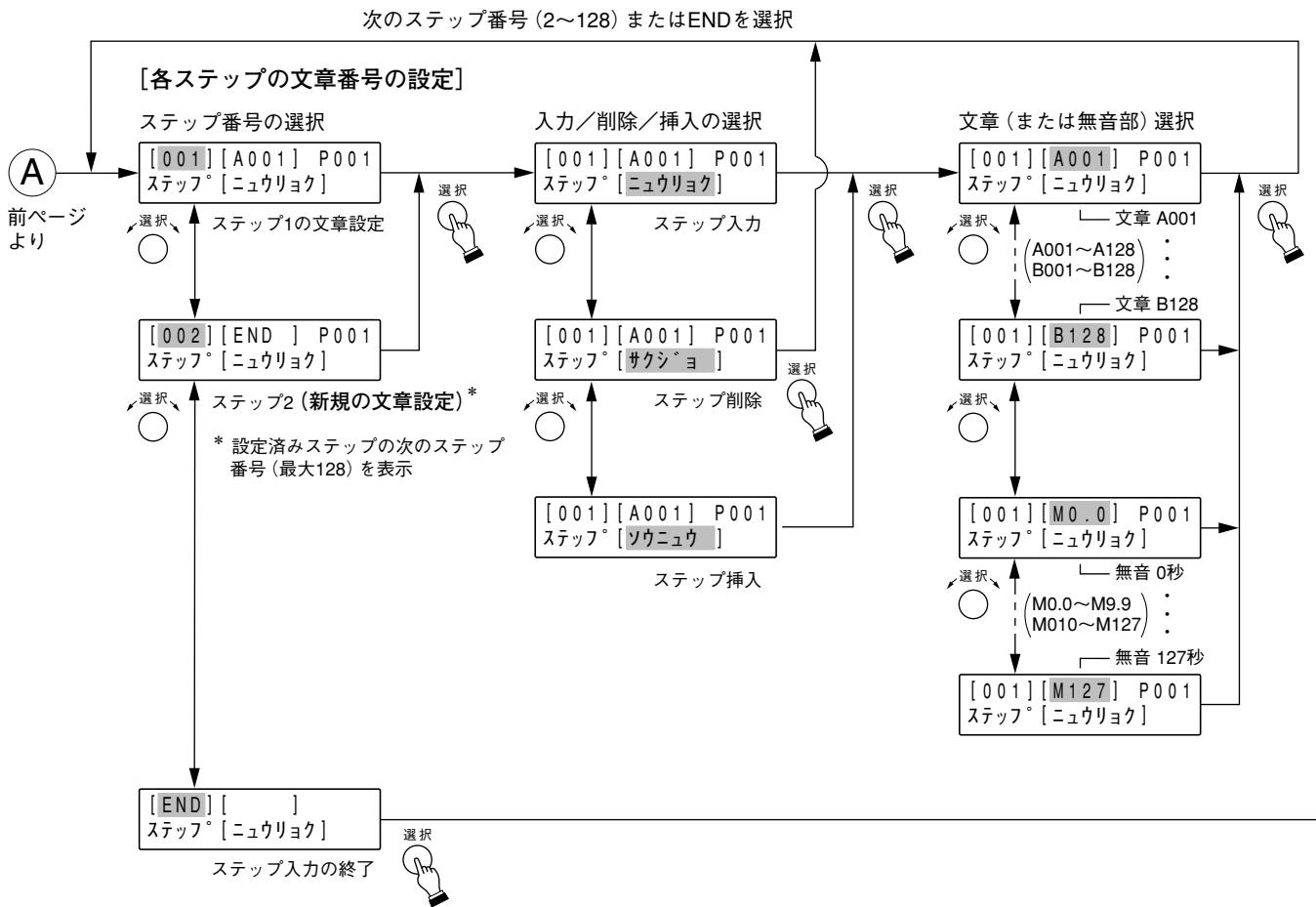
選択

P001エンソウカンカク
[5sec]

選択

出力先の設定へ **B**
P. 59へ

プログラムの入力

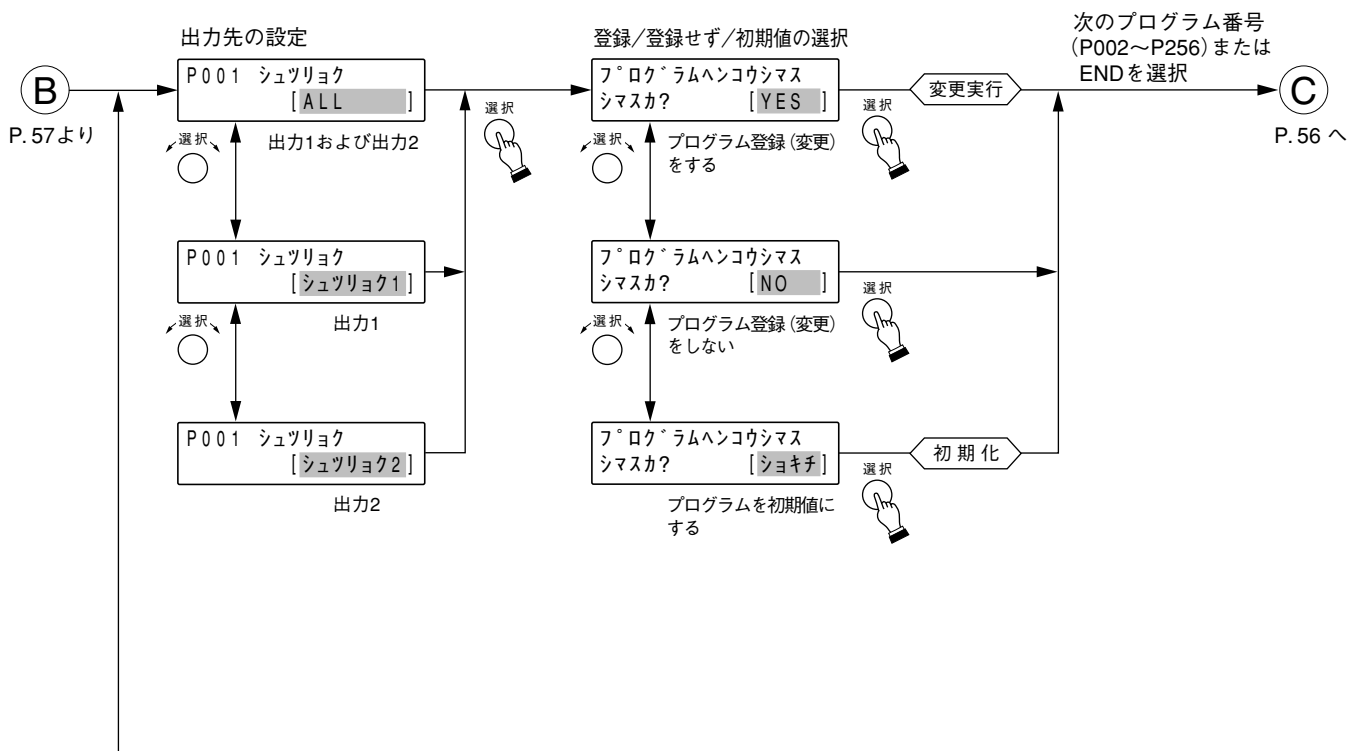


[選択項目と設定内容] (プログラム入力の設定)

プログラム番号	設定内容				
	再生方式	プログラム間隔 (インターバルタイム)	演奏回数	演奏間隔	ビジー出力
P001 ~ P256	プログラム連続再生	—	—	—	—
	プログラム単独再生	OFF (間隔なし) 10、20、…50秒、 1、2、…99分	—	—	ON (「プログラム間隔」 でのビジー出力) OFF
	リピート再生	—	1、2、…128回、 連続	0、10、…50秒、 1、2、…99分	ON (「リピート間隔」 でのビジー出力) OFF
	エンドレス再生	—	—	0、1、2、3、4、5秒	—

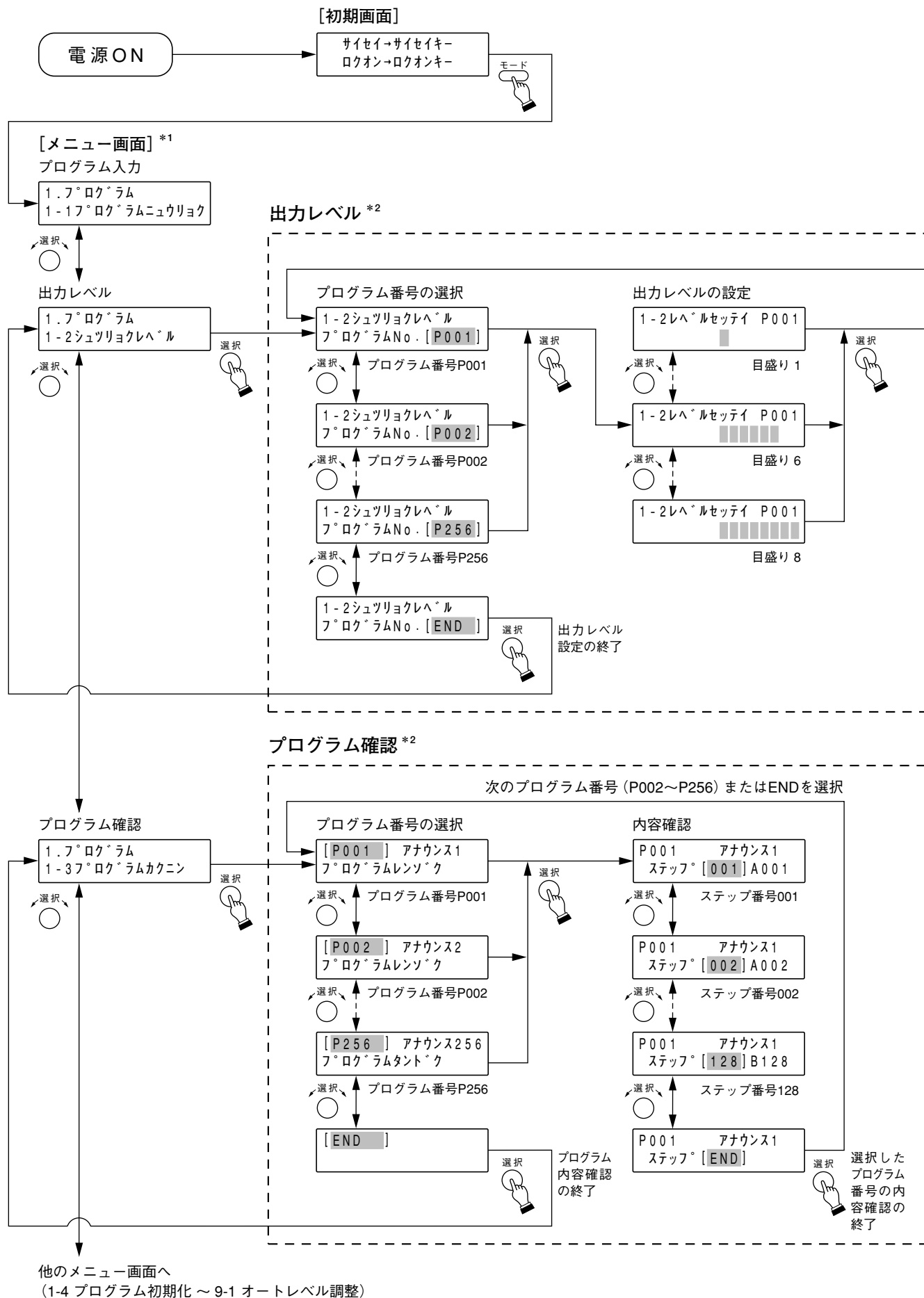
※ 初期設定値 (工場出荷時)




- 下線部が初期値です。
- プログラム番号 P001 ~ P128 には文章番号 A001 ~ A128、プログラム番号 P129 ~ P256 には文章番号 B001 ~ B128 が割り当てられています。(各プログラムには1文章のみ設定されています。)

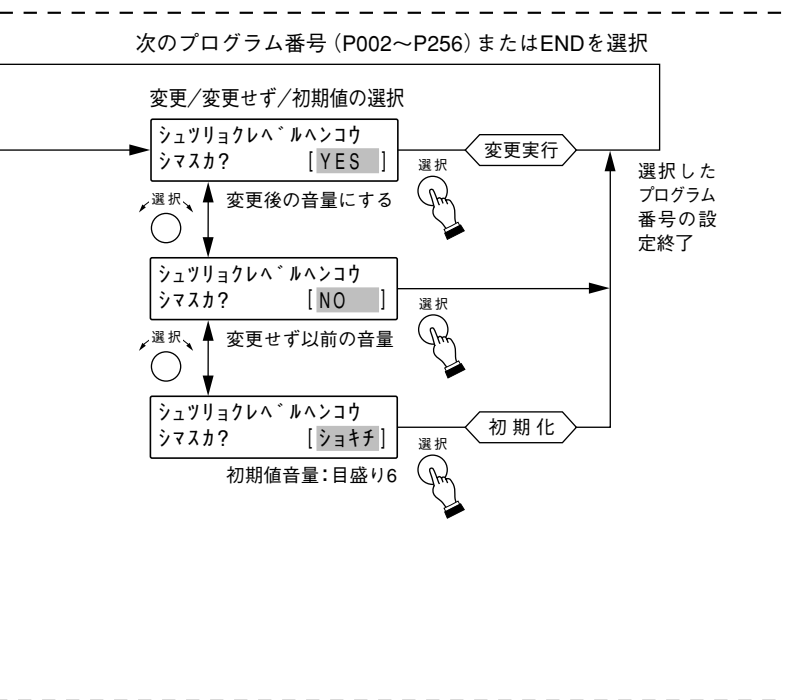


ステップ番号	設定内容		
	編集	文章番号 (または無音部)	出力先
001 ~ 256	ステップ入力 ステップ削除 ステップ挿入	文章番号：A001 ~ A128 B001 ~ B128 無音部の時間：M0.0 ~ M9.9 (0 ~ 9.9秒、0.1秒単位) M010 ~ B127 (10 ~ 127秒、1秒単位)	出力1および出力2 出力1 出力2
—			






● 設定操作の手順 (1-2 出力レベル、1-3 プログラム確認)



- *1 メニュー画面で  キーを押すと、初期画面に戻ります。
- *2 各機能の設定画面で  キーを押すと、直前のメニュー画面に戻ります。
- ※ 各機能の設定が終了するとメニュー画面に戻ります。
すべての設定操作を終了するには、さらに  キーを押して初期画面にしてください。



[選択項目と設定内容] (出力レベル)

プログラム番号	設定内容
	出力レベル
P001 ~ P256	目盛り 1 
	目盛り 2 
	...
	目盛り 6 
	目盛り 7 
	目盛り 8 

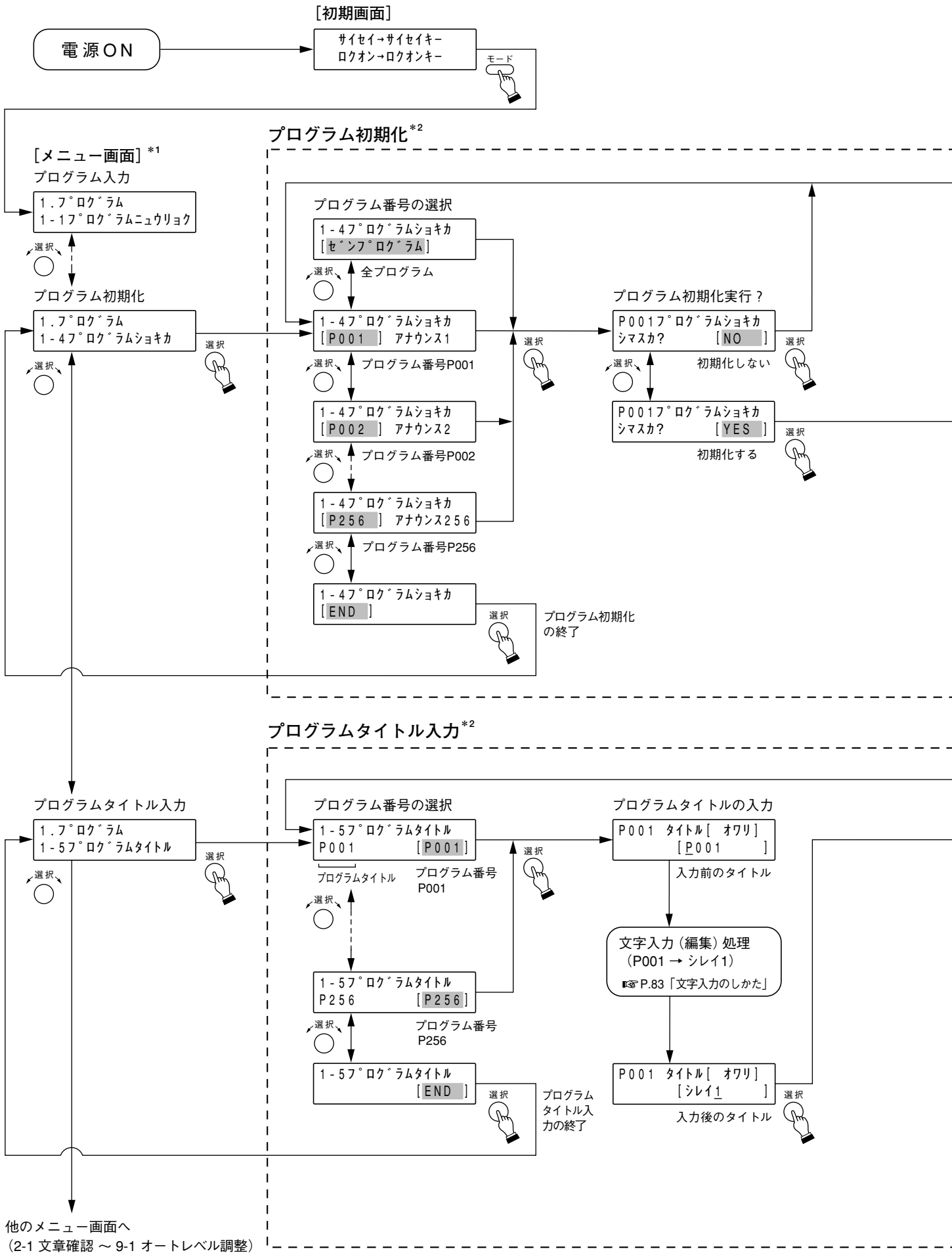
※ 下線部は初期設定値 (工場出荷時) です。



[選択項目と確認内容] (プログラム内容確認)


プログラム番号	確認内容		ステップ番号	確認内容
	プログラムタイトル	再生方式		文章番号 (または無音部)
P001 ~ P256	P001 ~ P256 カタカナ、英数字、記号 (最大8文字)	プログラム連続再生	001 ~ 256	文章番号: A001 ~ A128 B001 ~ B128
		プログラム単独再生		無音部の時間: M0.0 ~ M9.9 (0 ~ 9.9秒、0.1秒単位) M010 ~ M127 (10 ~ 127秒、1秒単位)
		リピート再生		—
		エンドレス再生	—	

※ 下線部は初期設定値 (工場出荷時) です。

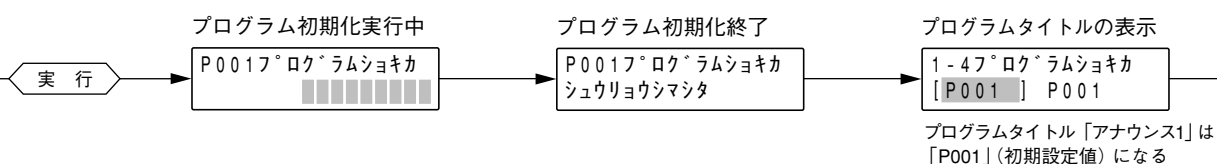
● 設定操作の手順 (1-4 プログラム初期化、1-5 プログラムタイトル入力)



- *1 メニュー画面で  キーを押すと、初期画面に戻ります。
- *2 各機能の設定画面で  キーを押すと、直前のメニュー画面に戻ります。

※ 各機能の設定が終了するとメニュー画面に戻ります。
すべての設定操作を終了するには、さらに  キーを押して初期画面にしてください。

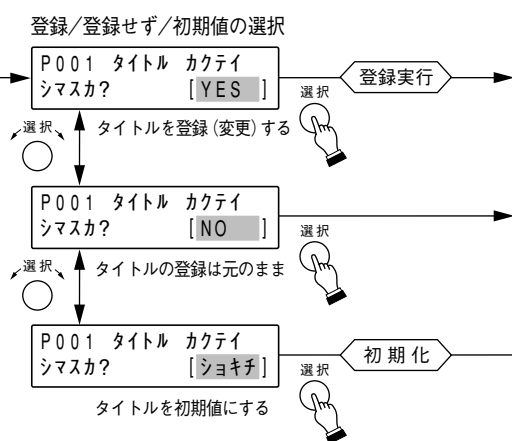
次のプログラム番号 (P002~P256、全プログラム) またはENDを選択



[プログラムの初期設定値]

再生方式	プログラムタイトル	ステップ番号	文章番号	出力先
プログラム連続再生	P001 ~ P256 (プログラム番号と同じ)	001のみ	P001にはA001 ⋮ P128にはA128 P129にはB001 ⋮ P256にはB128 (各プログラムに1文章のみ)	出力1および出力2

次のプログラム番号 (P002~P256) またはENDを選択



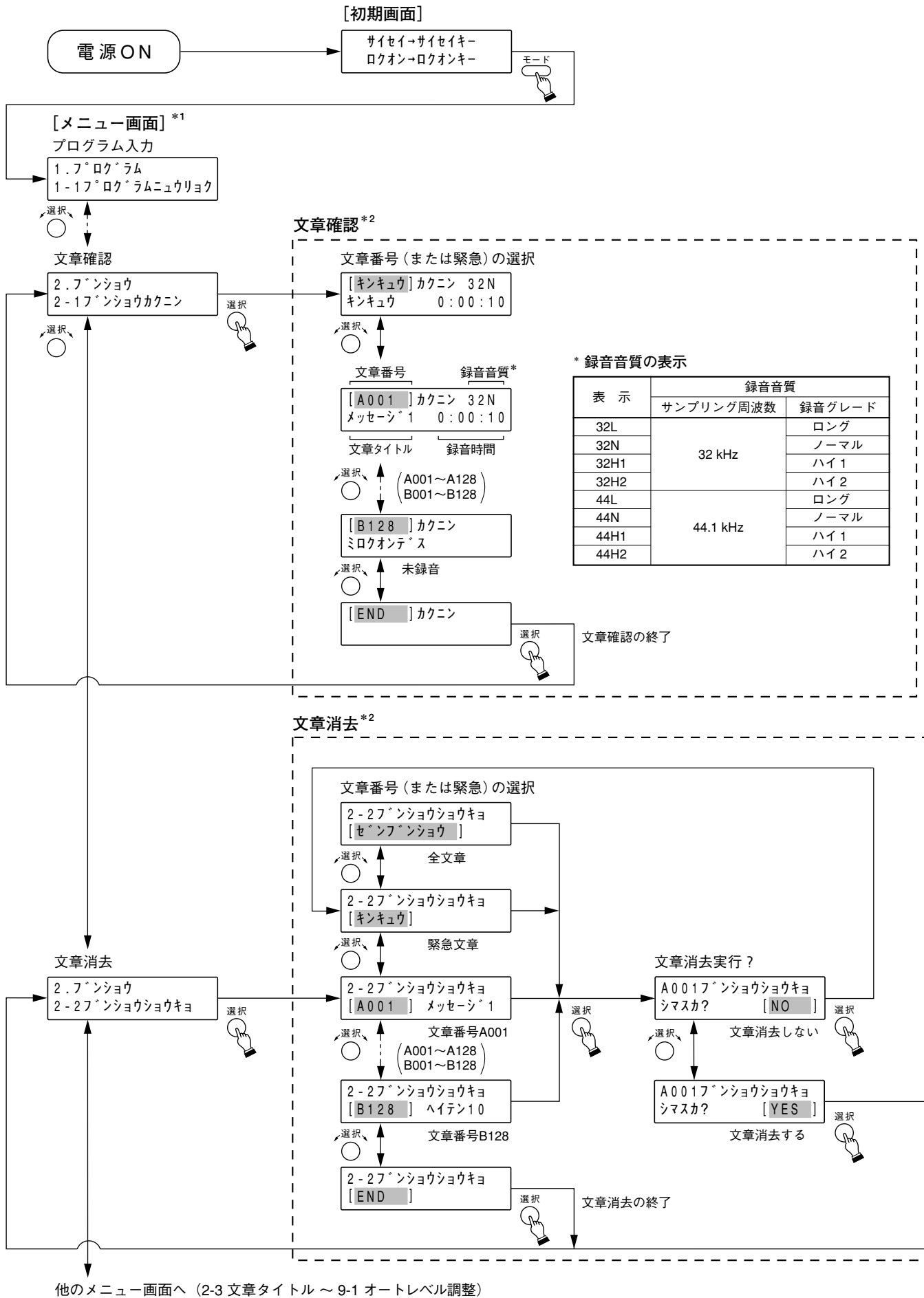
[選択項目と設定内容]


プログラム番号	プログラムタイトル
P001 ~ P256	P001 ~ P256 (プログラム番号と同じ) 文字入力、挿入、削除 (カタカナ、英数字、記号、最大8文字)


※ 下線部は初期設定値 (工場出荷時) です。

設定操作 (2. プログラムの編集)


● 設定操作の手順 (2-1 文章確認、2-2 文章消去)



*1 メニュー画面で  キーを押すと、初期画面に戻ります。

*2 各機能の設定画面で  キーを押すと、直前のメニュー画面に戻ります。

※ 各機能の設定が終了するとメニュー画面に戻ります。

すべての設定操作を終了するには、さらに  キーを押して初期画面にしてください。

[選択項目と確認内容] (文章確認)

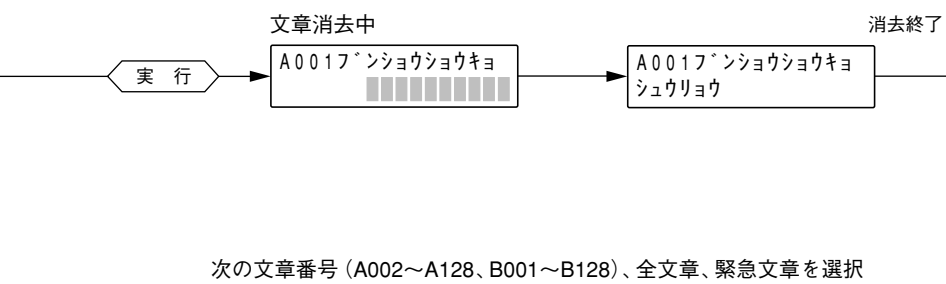
文章番号	確認内容		
	文章タイトル	録音音質	録音時間
A001～A128	<u>A001～A128</u>	32L	X:YY:ZZ
B001～B128	<u>B001～B128</u>	32N	(X : 時間) (YY : 分) (ZZ : 秒)
キンキュウ	タイトル文字	32H1	
	(カタカナ、英数字、記号、最大8文字)	32H2	
		44L	
		44N	
		44H1	
		44H2	

※ 未録音の文章には「ミロクオンデス」と表示しています。

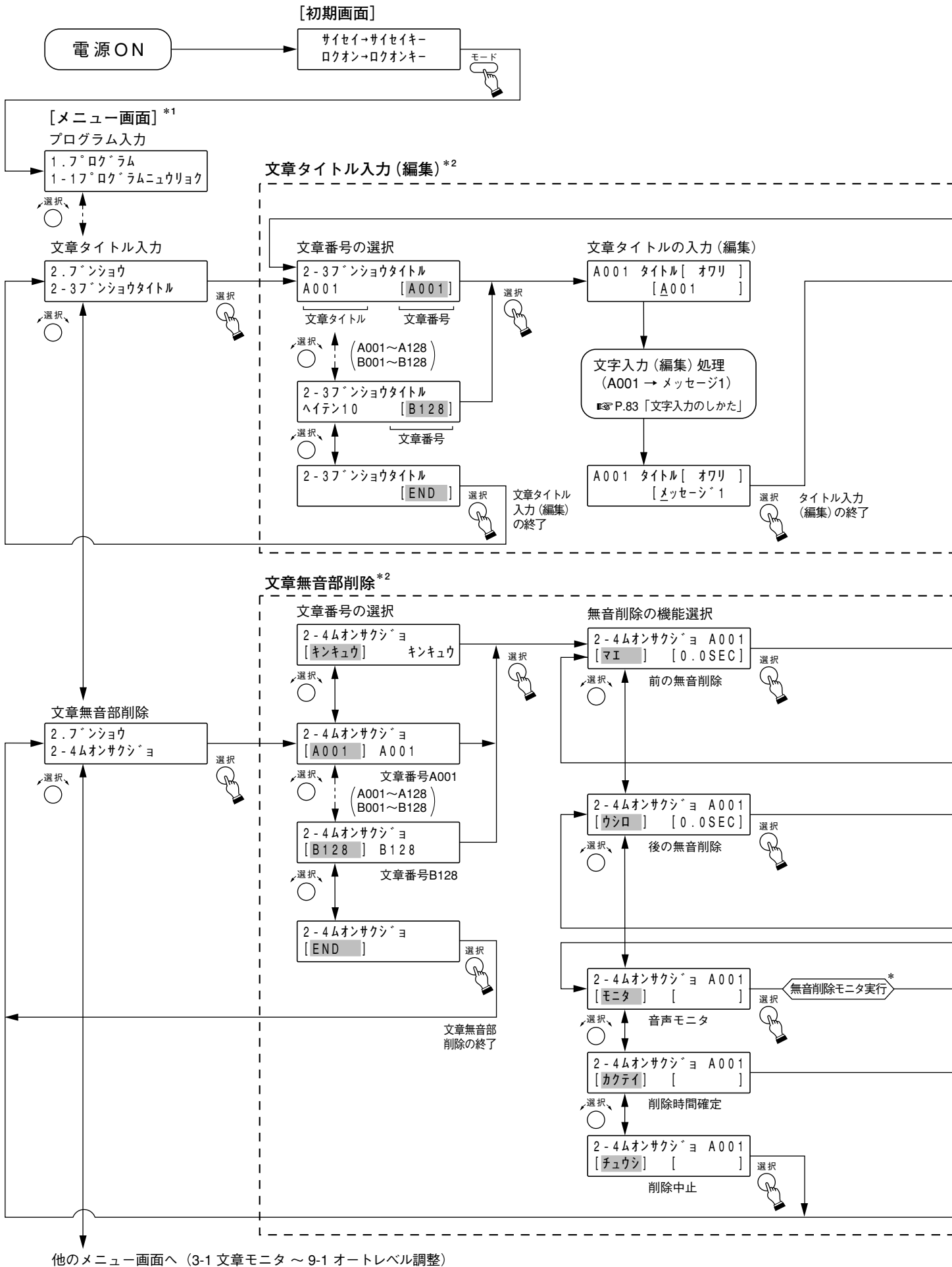
※ 下線部は初期設定値(工場出荷時)です。

[選択項目] (文章消去)

文章番号
全文章
緊急文章
A001～A128
B001～B128



● 設定操作の手順 (2-3 文章タイトル入力、2-4 文章無音部削除)



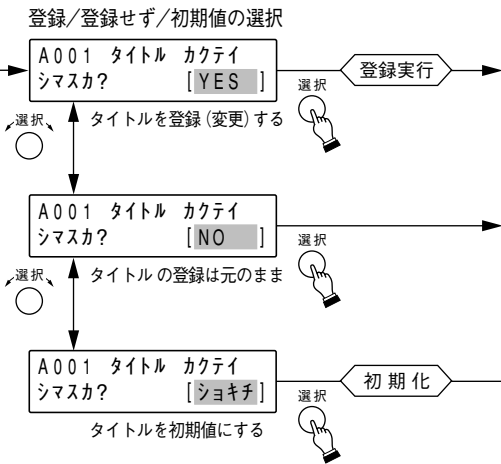
*1 メニュー画面で **停止** キーを押すと、初期画面に戻ります。

*2 各機能の設定画面で **停止** キーを押すと、直前のメニュー画面に戻ります。

※ 各機能の設定が終了するとメニュー画面に戻ります。

すべての設定操作を終了するには、さらに **停止** キーを押して初期画面にしてください。

次の文章番号 (A002~A128、B001~B128)
またはENDを選択

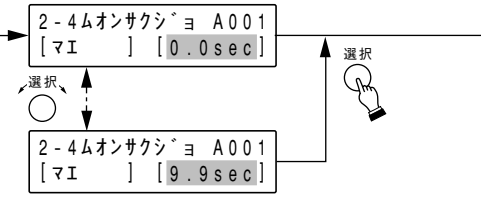


[選択項目と設定内容] (文章タイトル入力)

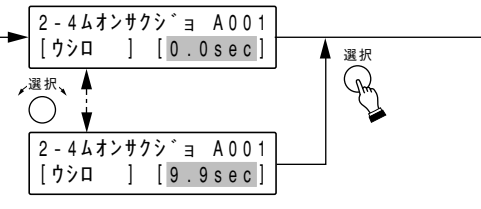
文章番号	文章タイトル
A001 ~ A128	<u>A001 ~ A128</u>
B001 ~ B128	<u>B001 ~ B128</u>
	文字の入力、挿入、削除 (カタカナ、英数字、記号、 最大8文字)

※ 下線部は初期設定値 (工場出荷時) です。

前の無音削除時間 (0.1~9.9秒、0.1秒単位)の選択

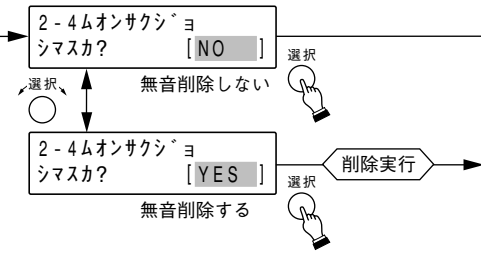


後の無音削除時間 (0.1~9.9秒、0.1秒単位)の選択

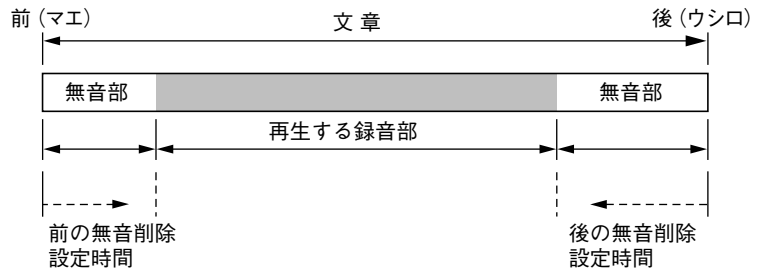


削除時間を修正するとき → [マエ]、[ウシロ]へ
モニタ結果がOKのとき → [カクテイ]へ

実行の確認



[文章の無音部]



* 無音削除モニタ

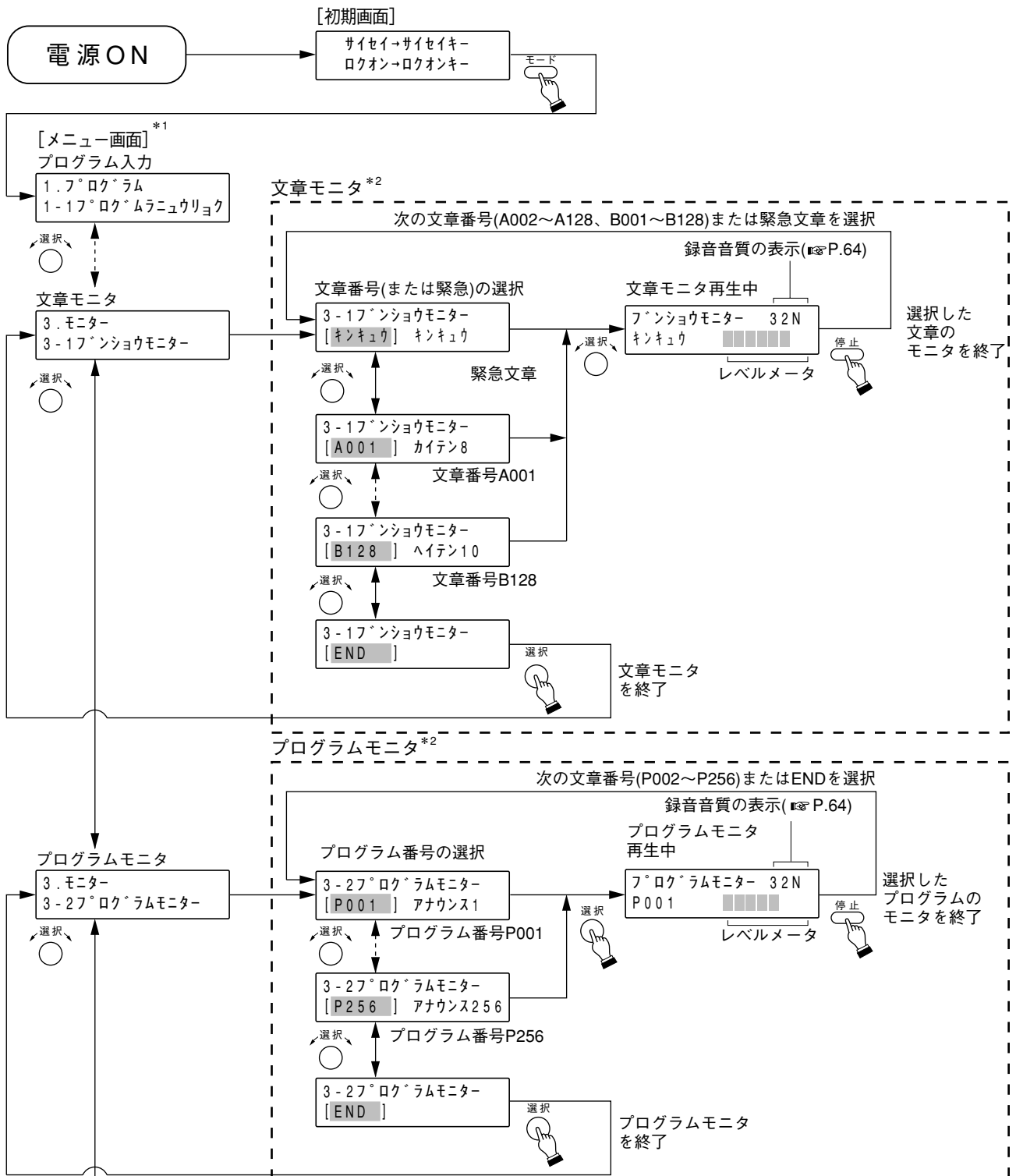
- ・「修正前の文章」が10秒未満のとき
文章全体を再生します。
- ・「修正前の文章」が10秒以上のとき
前(マエ)の5秒間を再生し、0.5秒の中断をはさんで、後(ウシロ)の5秒間を再生します。

[選択項目と設定内容] (文章無音部削除)

文章番号	設定内容	
	前の無音削除の時間	後の無音削除の時間
キンキュウ A001 ~ A128 B001 ~ B128	0~9.9秒 (0.1秒単位)	0~9.9秒 (0.1秒単位)

設定操作 (3. 文章／プログラムのモニタ)

● 設定操作の手順 (3-1 文章モニタ、3-2 プログラムモニタ)



[設定内容]

項目	内容	
全体音量	目盛り1	■
	目盛り2	■■

	目盛り7	■■■■■■■
	目盛り8	■■■■■■■■

※ 下線部は初期設定値(工場出荷時)です。

*1 メニュー画面で キーを押すと、初期画面に戻ります。

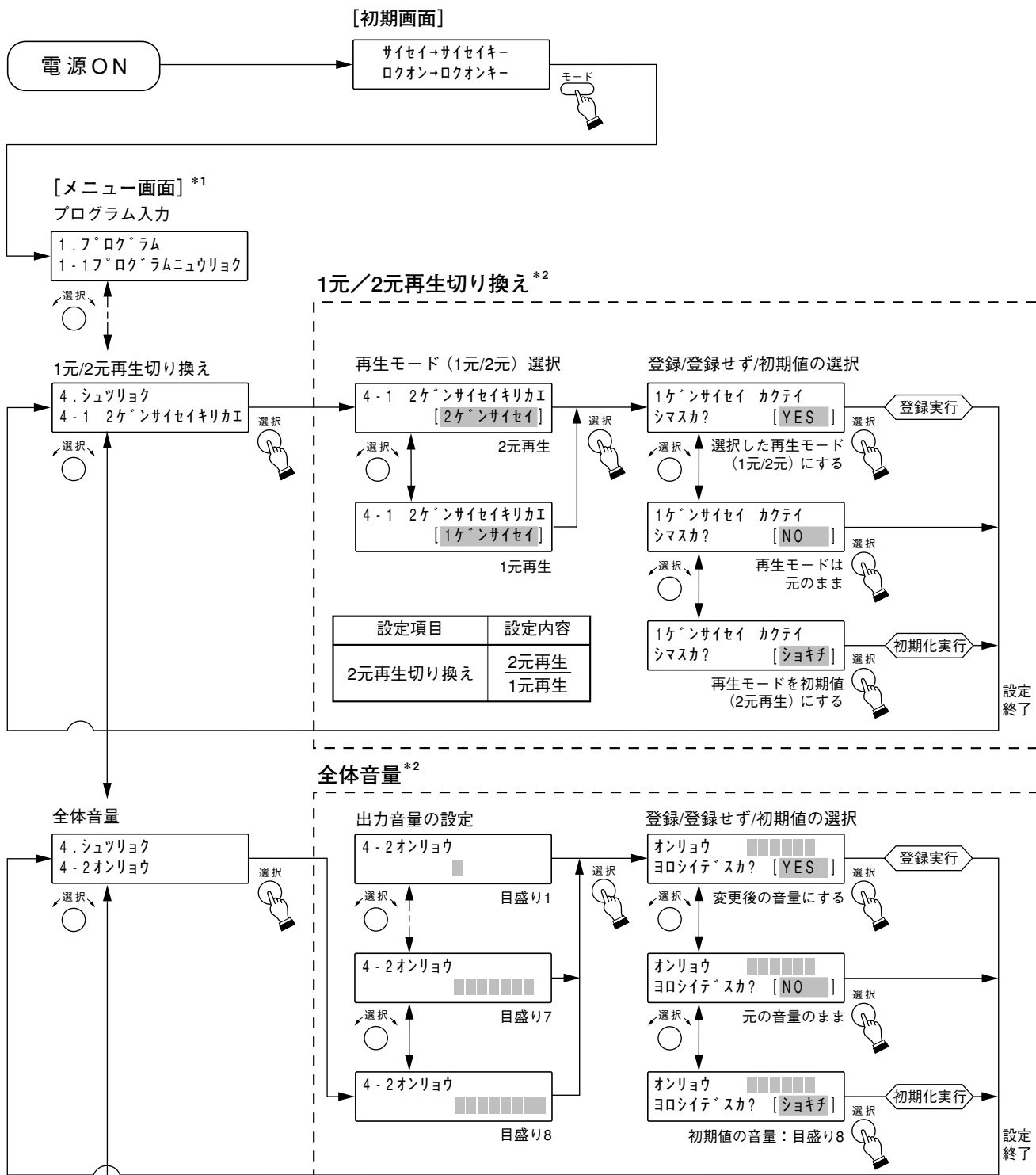
*2 各機能の設定画面で キーを押すと、直前のメニュー画面に戻ります。

※ 各機能の設定が終了するとメニュー画面に戻ります。

すべての設定操作を終了するには、さらに キーを押して初期画面にしてください。

設定操作 (4. 出力/音量の調節)

● 設定操作の手順 (4-1 1元/2元再生切り換え、4-2 全体音量)



他のメニュー画面へ
(5-1 制御機能設定)
(9-1 オートレベル調整)

[設定内容]

項目	内容
全体音量	目盛り1 ■
	目盛り2 ■■
	...
	目盛り7 ■■■■■■
	目盛り8 ■■■■■■■■

※ 下線部は初期設定値 (工場出荷時) です。

*1 メニュー画面で 停止 キーを押すと、初期画面に戻ります。

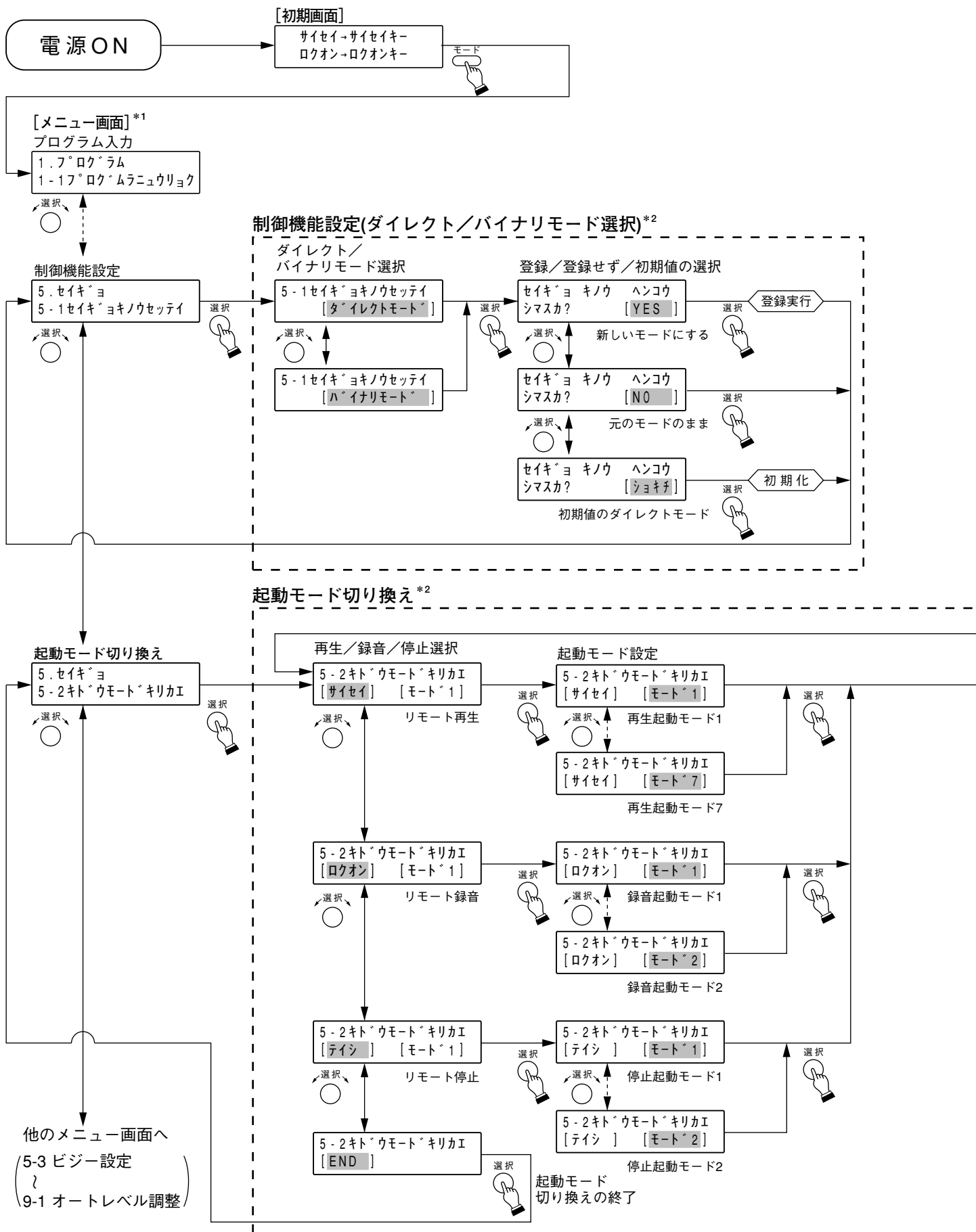
*2 各機能の設定画面で 停止 キーを押すと、直前のメニュー画面に戻ります。




※ 各機能の設定が終了するとメニュー画面に戻ります。

すべての設定操作を終了するには、さらに 停止 キーを押して初期画面にしてください。

設定操作 (5. 本体の動作設定)

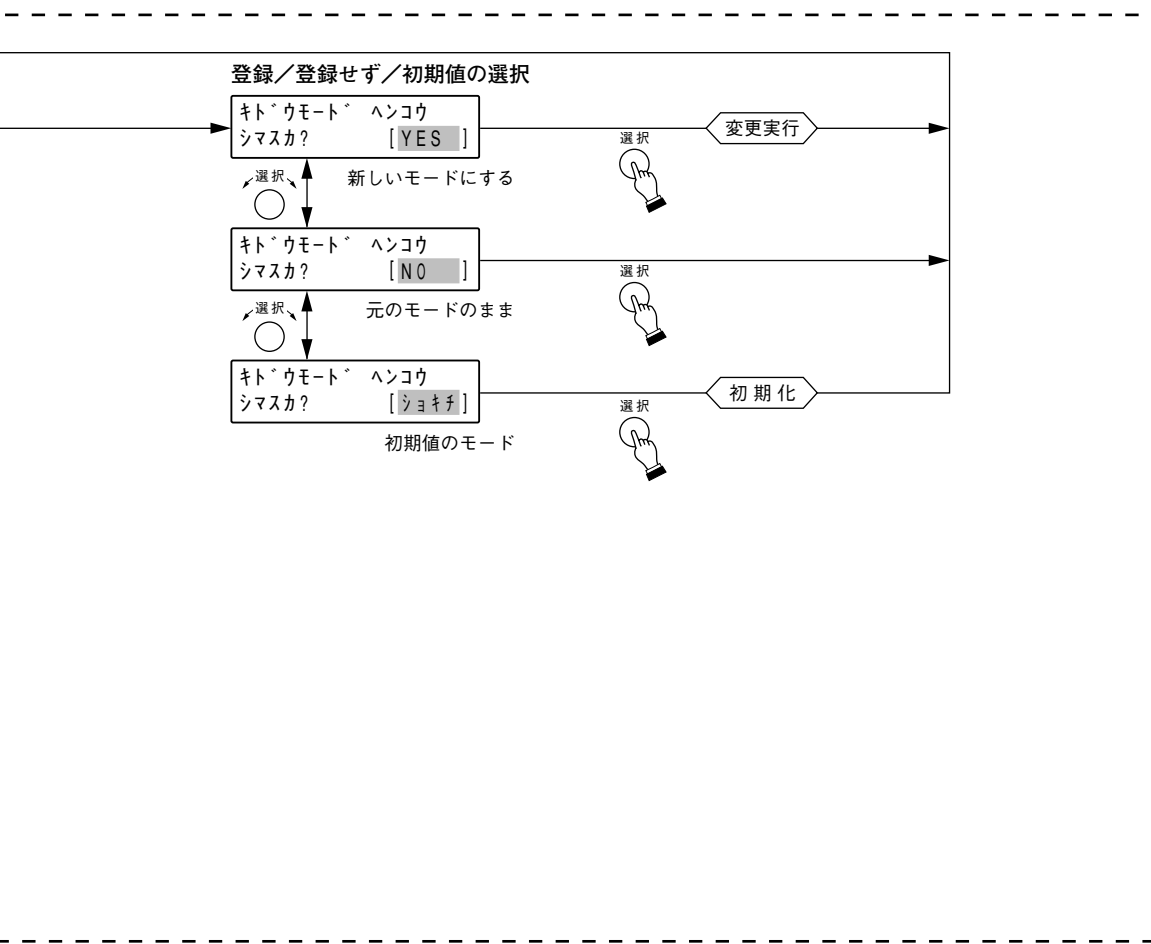
● 設定操作の手順 (5-1 制御機能設定、5-2 起動モード切り換え)



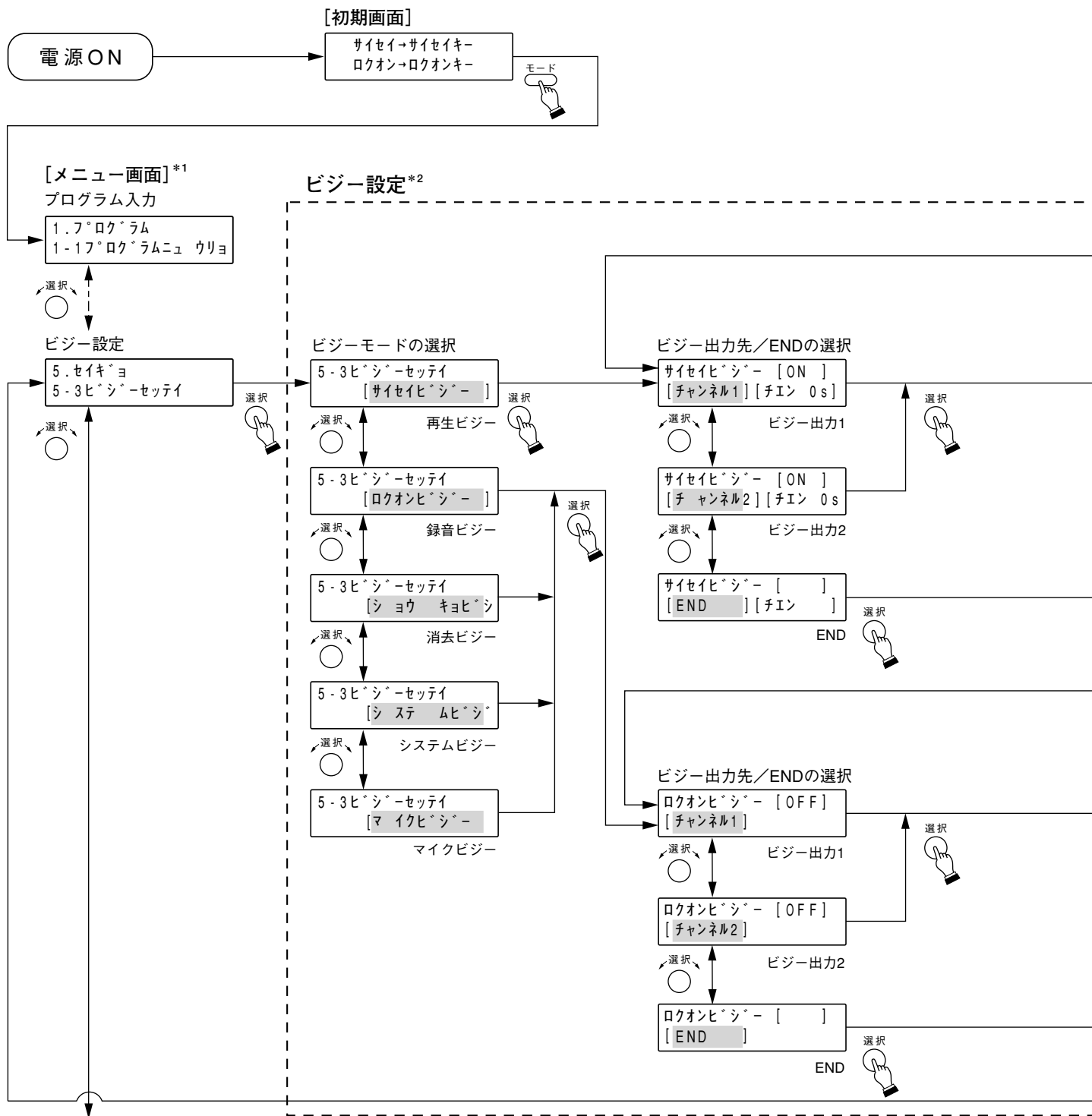
- *1 メニュー画面で  キーを押すと、初期画面に戻ります。
- *2 各機能の設定画面で  キーを押すと、直前のメニュー画面に戻ります。
- ※ 各機能の設定が終了するとメニュー画面に戻ります。
すべての設定操作を終了するには、さらに  キーを押して初期画面にしてください。

[選択項目と設定内容] (起動モード切り換え)

再生/録音/停止	設定内容		起動モードの説明
	ダイレクトモード	バイナリモード	
リモート再生	起動モード1 起動モード2 起動モード3 起動モード4 起動モード5 起動モード6 起動モード7	起動モード1 起動モード2 起動モード3 起動モード4 起動モード5	モード1：ワンショット起動、後入力禁止 モード2：ワンショット起動、後入力優先割込み モード3：ワンショット起動、小さいプログラム番号優先 モード4：ワンショット起動、順次記憶再生 モード5：レベル起動、先入力優先 (ダイレクトモード時のみ) モード6：レベル起動、後入力優先割込み モード7：レベル起動、小さいプログラム番号優先
リモート録音	起動モード1 起動モード2		モード1：ワンショット起動 モード2：レベル起動
リモート停止	起動モード1 起動モード2		モード1：再生の途中で停止 モード2：文章再生終了後に停止



● 設定操作の手順 (5-3 ビジー設定)



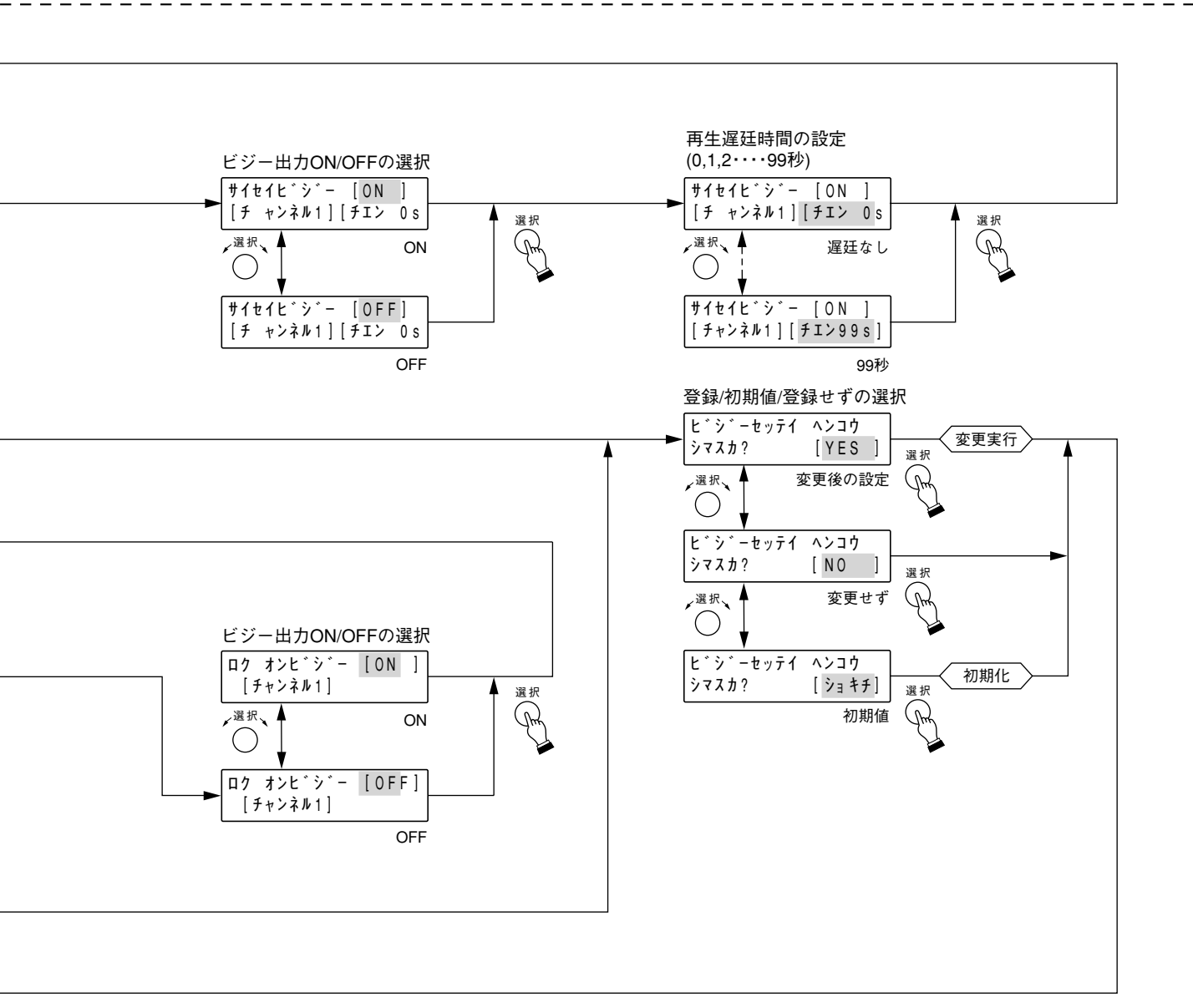
他のメニュー画面へ
(6-1 操作ビープ音)
(9-1 オートレベル調整)

*1 メニュー画面で 停止 キーを押すと、初期画面に戻ります。

*2 各機能の設定画面で 停止 キーを押すと、直前のメニュー画面に戻ります。

※ 各機能の設定が終了するとメニュー画面に戻ります。

すべての設定操作を終了するには、さらに 停止 キーを押して初期画面にしてください。

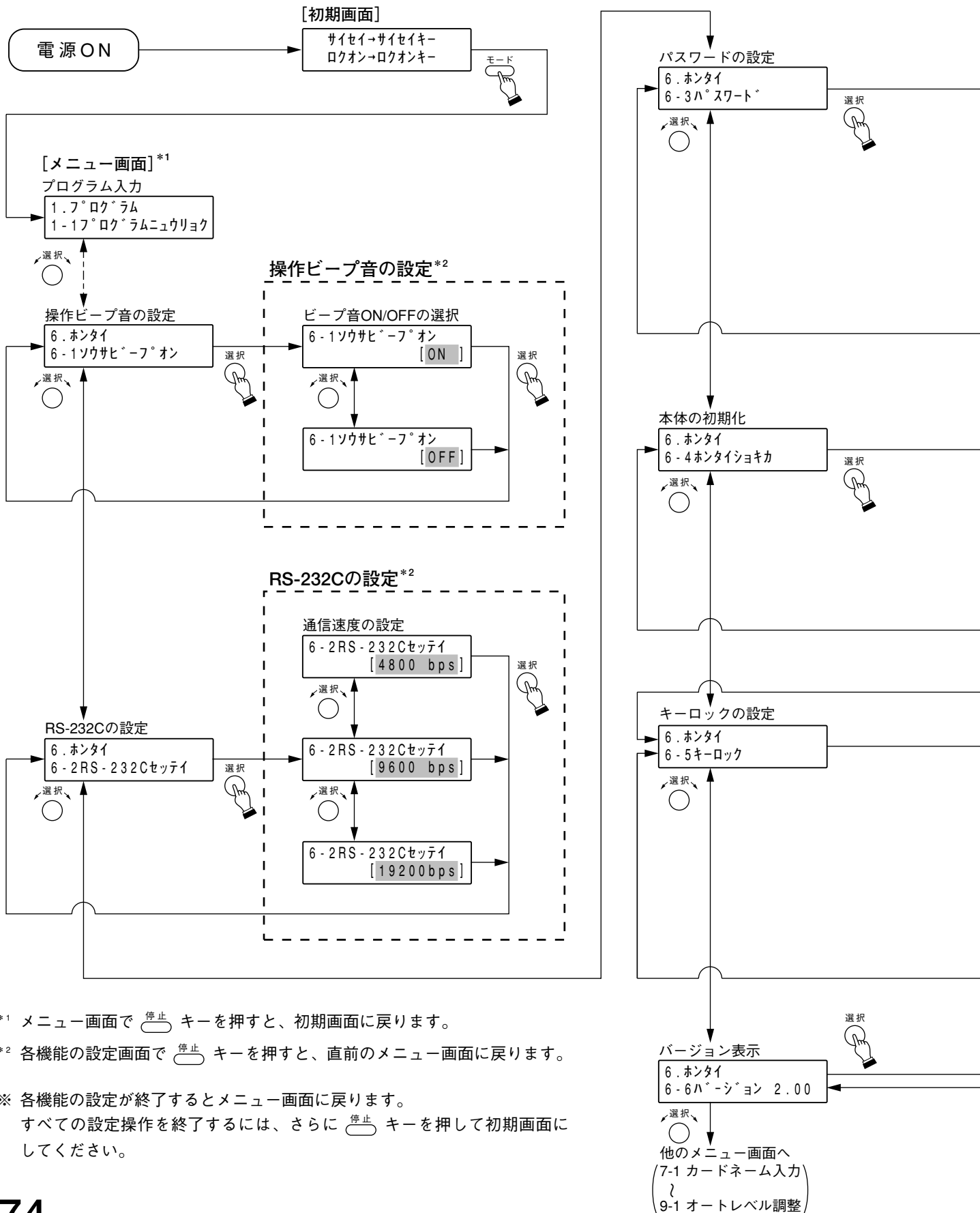


[選択項目と設定内容] (ビジー設定)

ビジーモード	ビジー出力先	設定内容	
		ビジー出力	再生遅延時間
再生ビジー	ビジー出力1 ビジー出力2	ON OFF	0、1、2、…99秒
録音ビジー	ビジー出力1 ビジー出力2	ON OFF	—
消去ビジー			
システムビジー			
マイクビジー			

■ 設定操作 (6. 本体の環境設定)

- 設定操作の手順 (6-1 操作ビープ音、6-2 RS-232C 設定、6-3 パスワード、6-4 本体初期化、6-5 キーロック、6-6 バージョン)



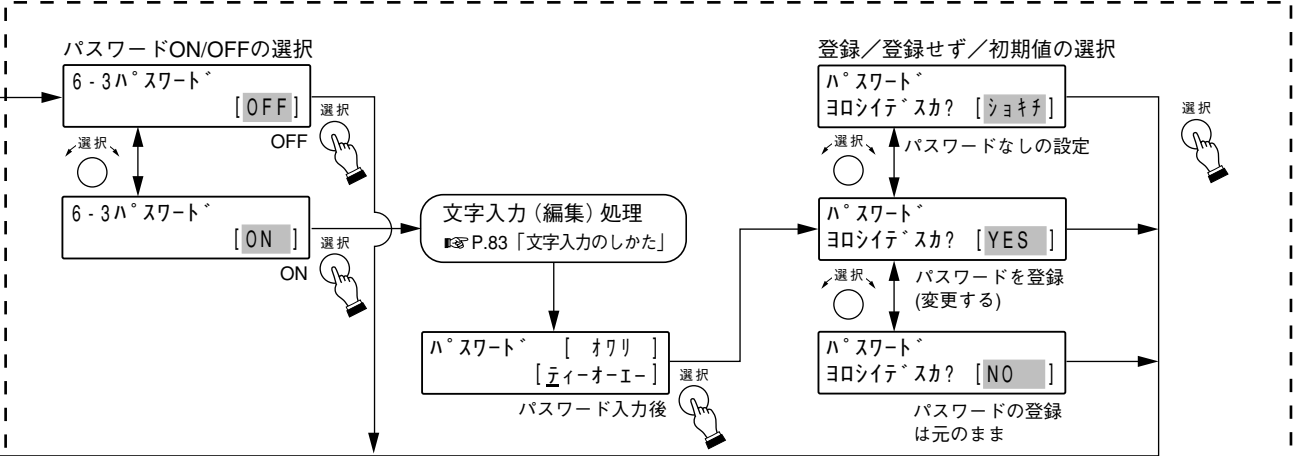
*1 メニュー画面で 停止 キーを押すと、初期画面に戻ります。

*2 各機能の設定画面で 停止 キーを押すと、直前のメニュー画面に戻ります。

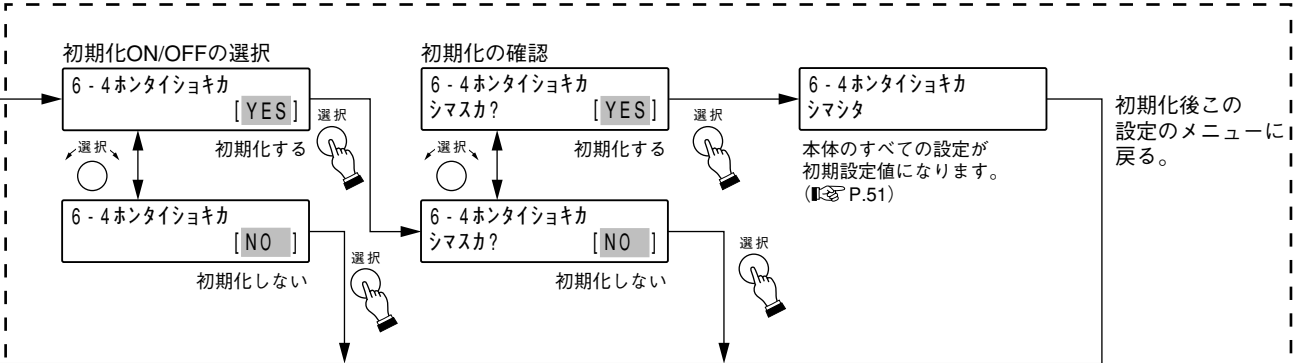
※ 各機能の設定が終了するとメニュー画面に戻ります。

すべての設定操作を終了するには、さらに 停止 キーを押して初期画面にしてください。

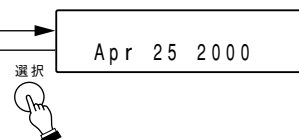
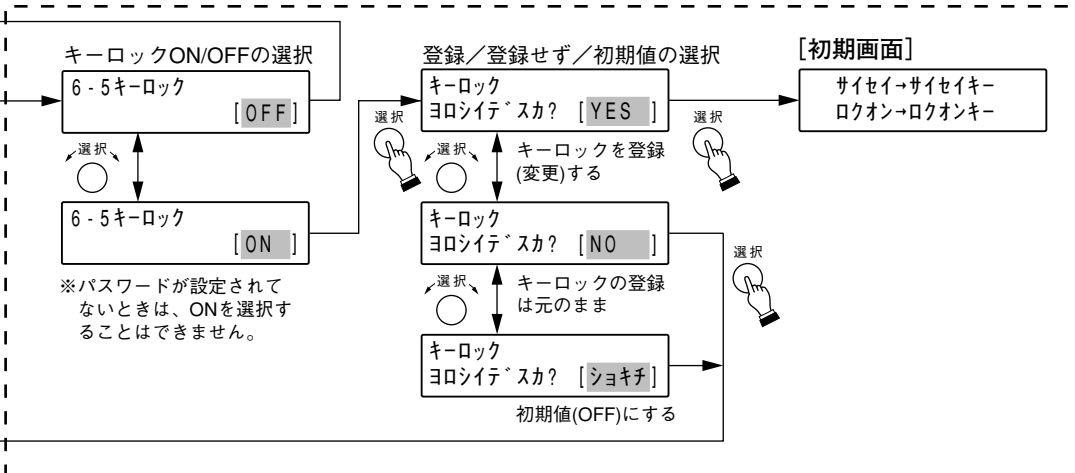
パスワードの設定*2



本体の初期化*2

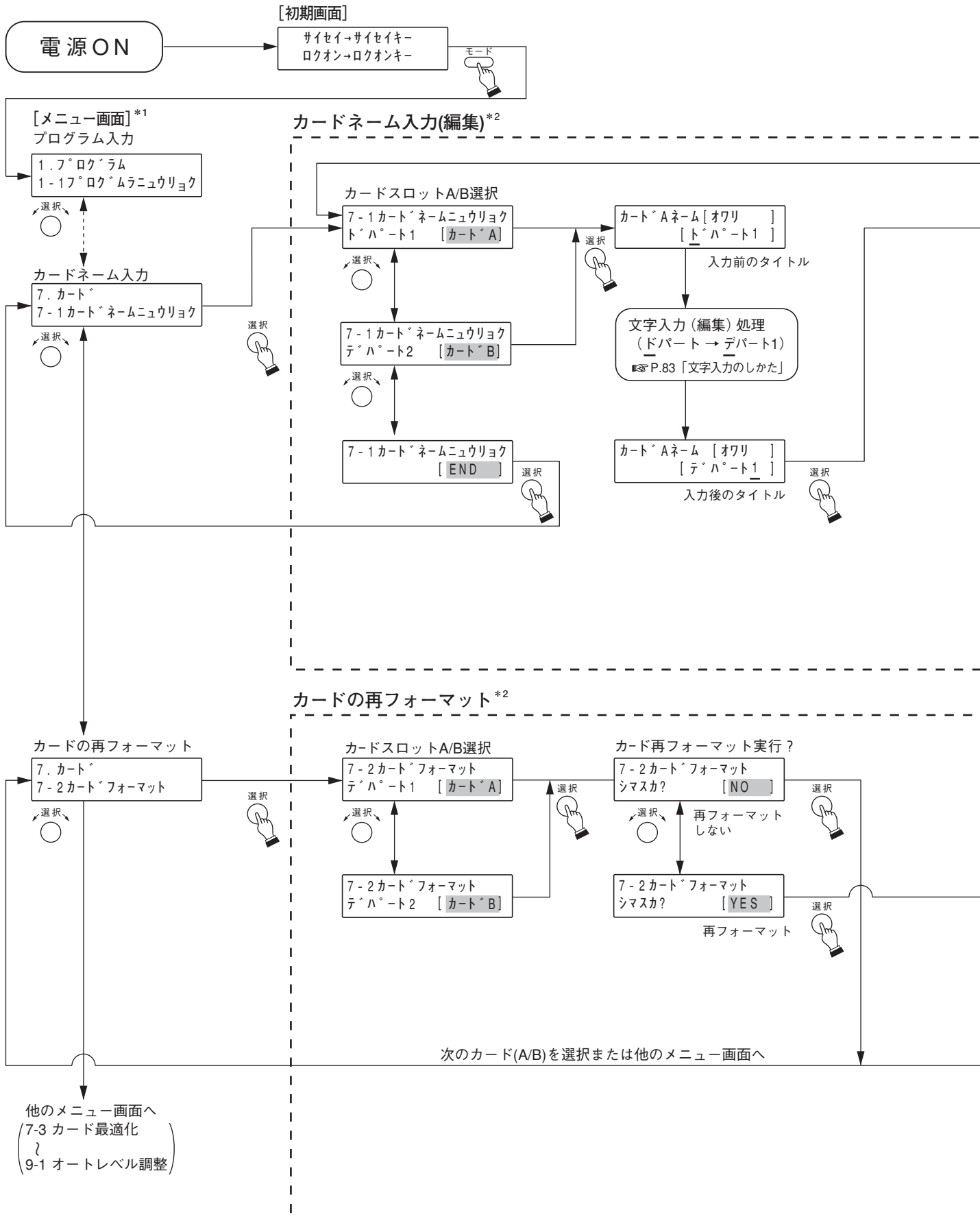



キーロックの設定*2




■ 設定操作 (7. カードの編集)

● 設定操作の手順 (7-1 カード名前入力、7-2 カード再フォーマット)



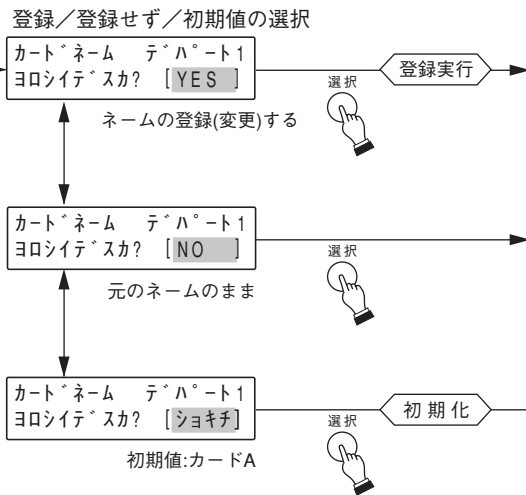
*1 メニュー画面で  キーを押すと、初期画面に戻ります。

*2 各機能の設定画面で  キーを押すと、直前のメニュー画面に戻ります。

※ 各機能の設定が終了するとメニュー画面に戻ります。

すべての設定操作を終了するには、さらに  キーを押して初期画面にしてください。

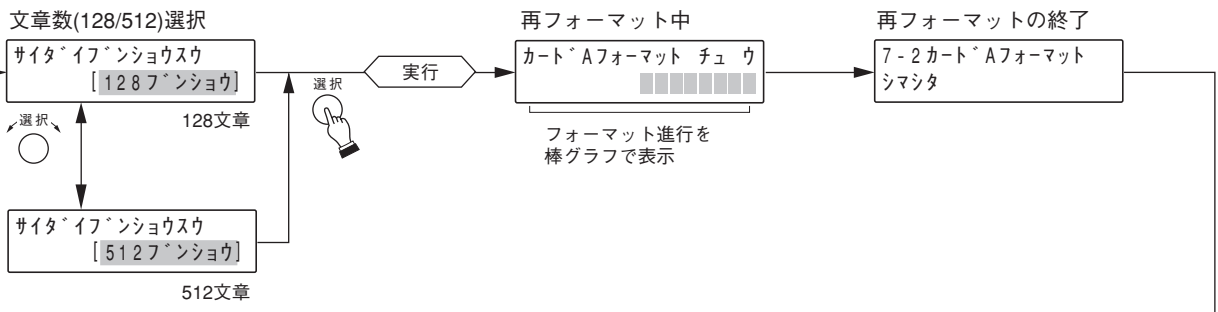
次のカード(A/B)またはENDを選択



[選択項目と設定内容]

カードスロット	カードネーム
カードA	カードA
カードB	カードB
	文字の入力、挿入、削除 (カタカナ、英数字、記号、最大8文字)

※ 下線部は初期設定時（工場出荷時）です。

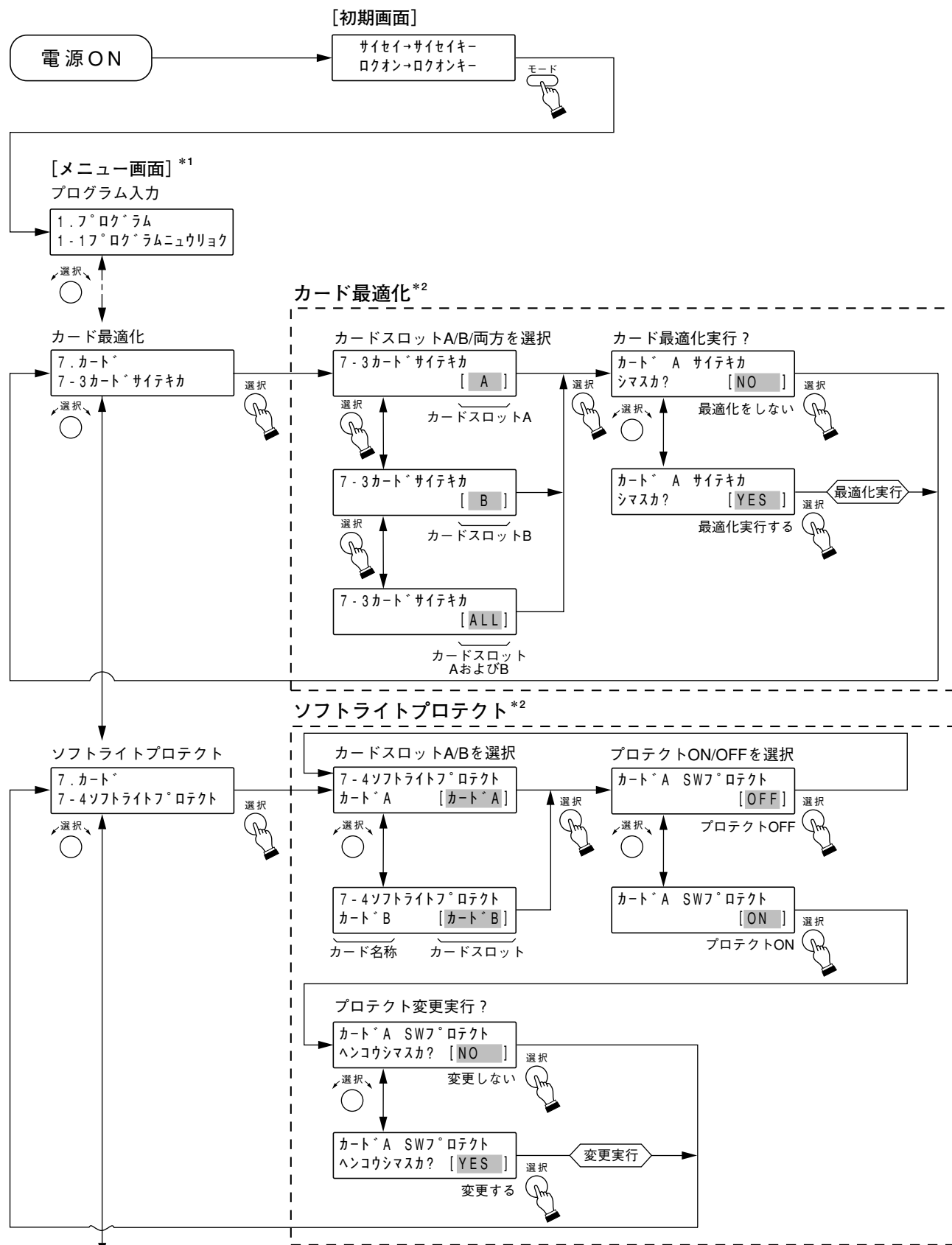


[選択項目と設定内容]

カードスロット	文章数
カードA	128
カードB	512

※ 下線部は初期設定時（工場出荷時）です。

● 設定操作の手順 (7-3 カード最適化、7-4 ソフトライトプロテクト)



他のメニュー画面へ
 (8-1 プログラムコピー)
 }
 (9-1 オートレベル調整)

*1 メニュー画面で キーを押すと、初期画面に戻ります。

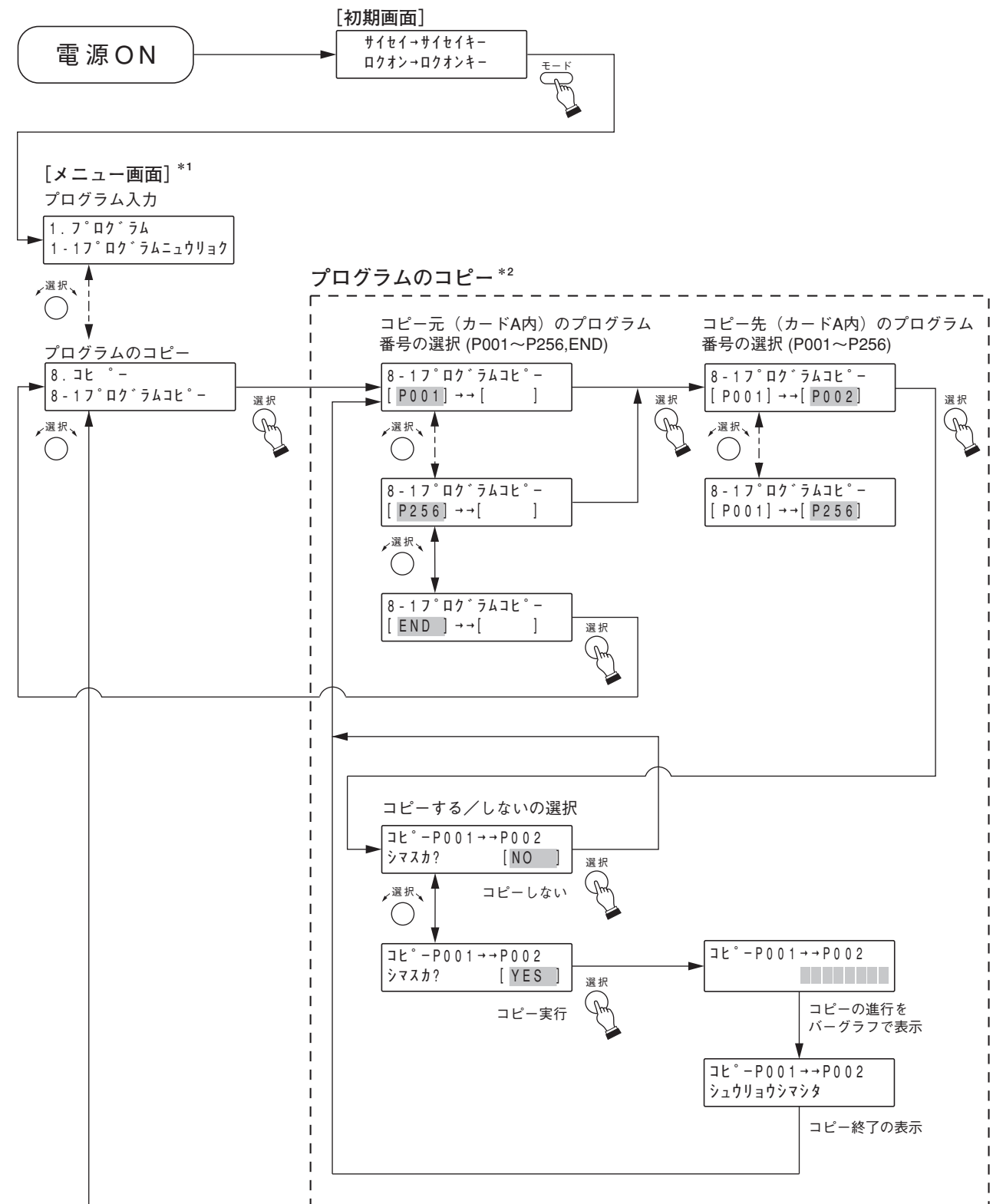
*2 各機能の設定画面で キーを押すと、直前のメニュー画面に戻ります。

※ 各機能の設定が終了するとメニュー画面に戻ります。

すべての設定操作を終了するには、さらに キーを押して初期画面にしてください。

■ 設定操作 (8. コピー)

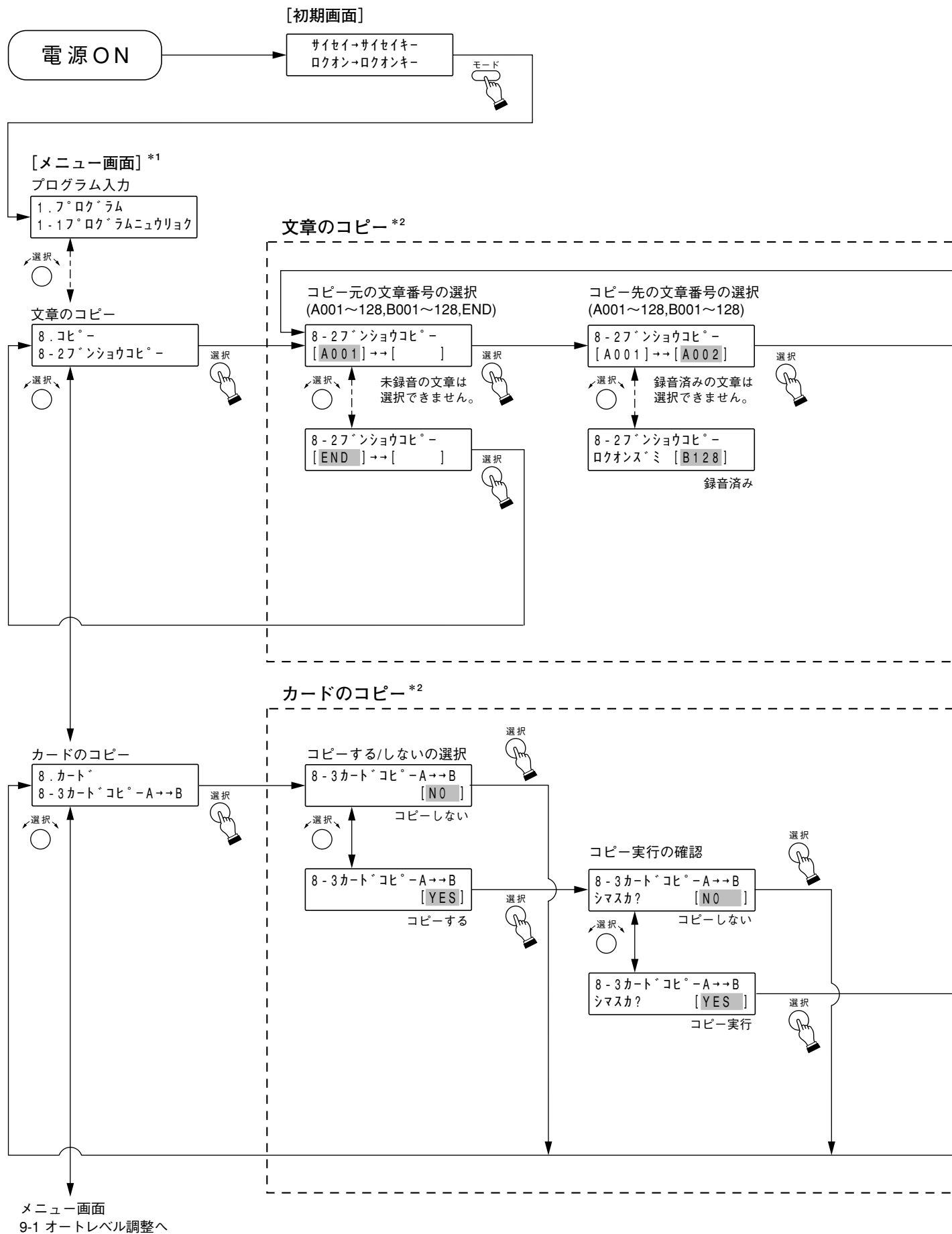
● 設定操作の手順 (8-1 プログラムコピー)





他のメニュー画面へ
 (8-2 文章のコピー)
 (9-1 オートレベル調整)

*1 メニュー画面で **停止** キーを押すと、初期画面に戻ります。
 *2 各機能の設定画面で **停止** キーを押すと、直前のメニュー画面に戻ります。
 ※ 各機能の設定が終了するとメニュー画面に戻ります。
 すべての設定操作を終了するには、さらに **停止** キーを押して初期画面にしてください。

● 設定操作の手順 (8-2 文章コピー、8-3 カードコピー)

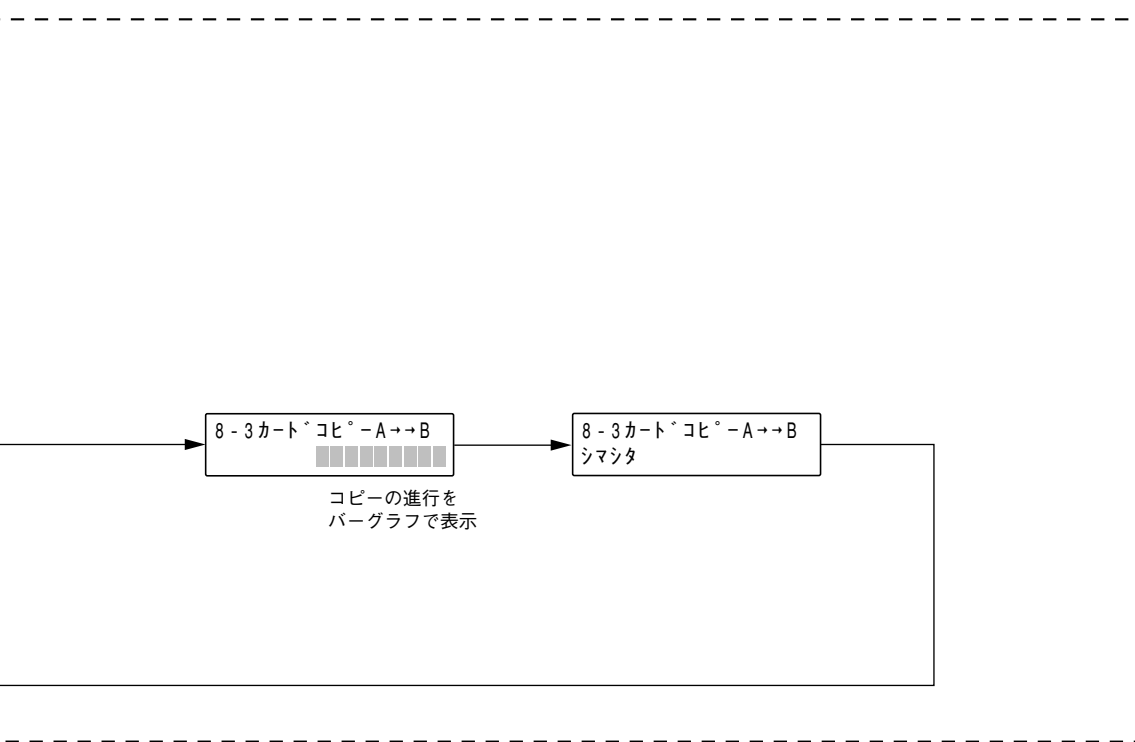
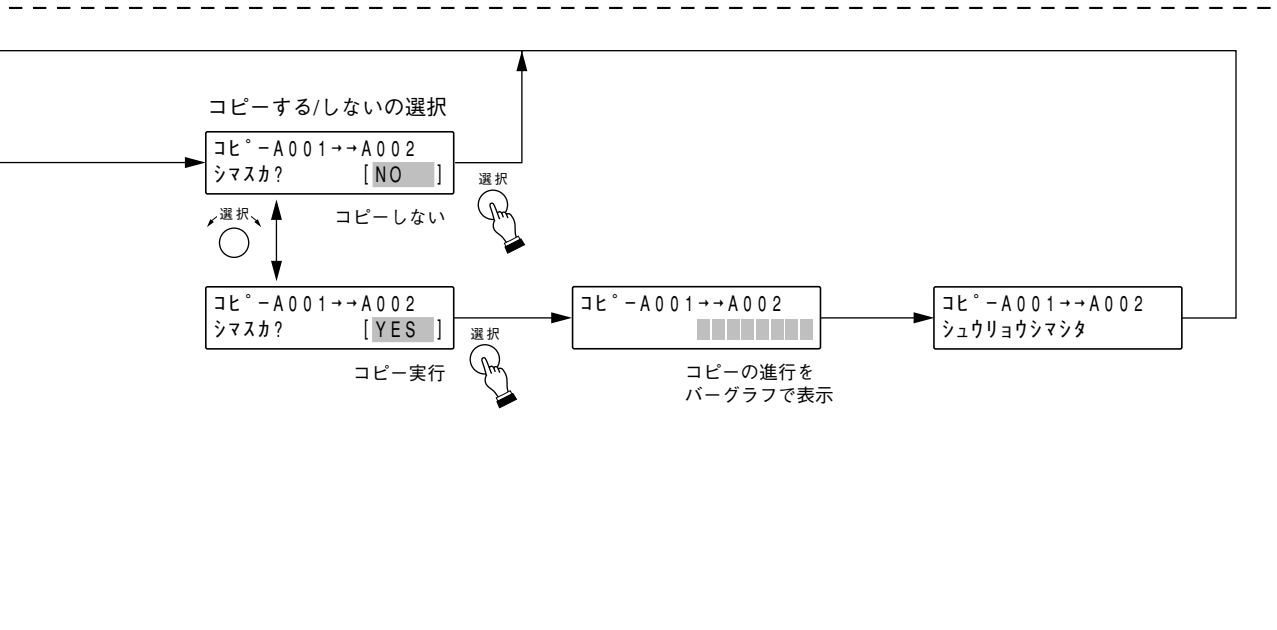


*1 メニュー画面で  キーを押すと、初期画面に戻ります。

*2 各機能の設定画面で  キーを押すと、直前のメニュー画面に戻ります。

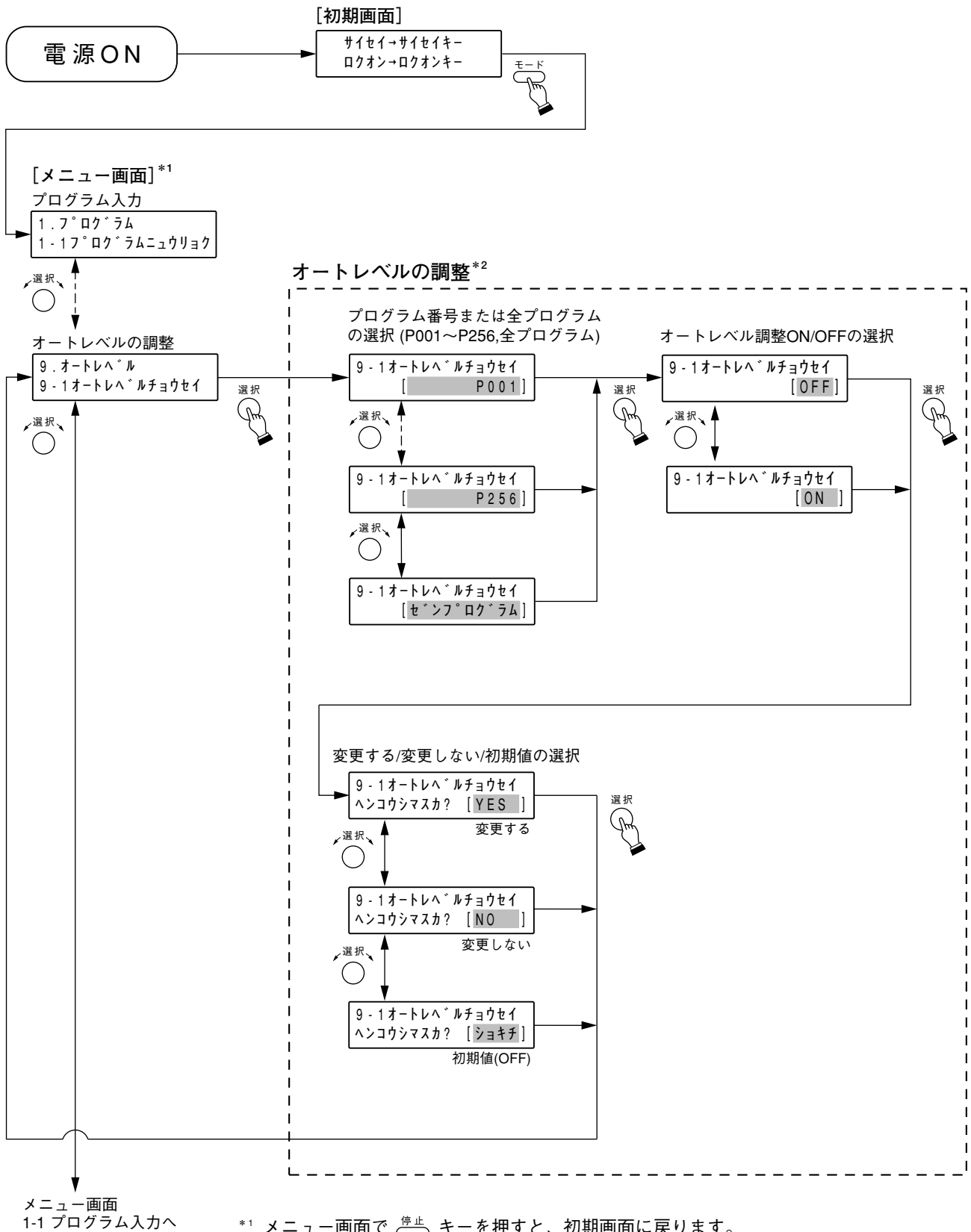
※ 各機能の設定が終了するとメニュー画面に戻ります。

すべての設定操作を終了するには、さらに  キーを押して初期画面にしてください。



■ 設定操作 (9. オートレベル調整)

● 設定操作の手順 (9-1 オートレベル調整)



*1 メニュー画面で **停止** キーを押すと、初期画面に戻ります。

*2 各機能の設定画面で **停止** キーを押すと、直前のメニュー画面に戻ります。

※ 各機能の設定が終了するとメニュー画面に戻ります。

すべての設定操作を終了するには、さらに **停止** キーを押して初期画面にしてください。

■ 文字入力のしかた

アルファベット、カタカナ、数字、記号を使って文章タイトル、プログラムタイトル、カードネーム、パスワードを書き込むことができます。

それぞれに書き込める文字は8文字です。

操作は選択ダイヤルで行います。

● 使用できる文字、記号、コマンド

文字、記号

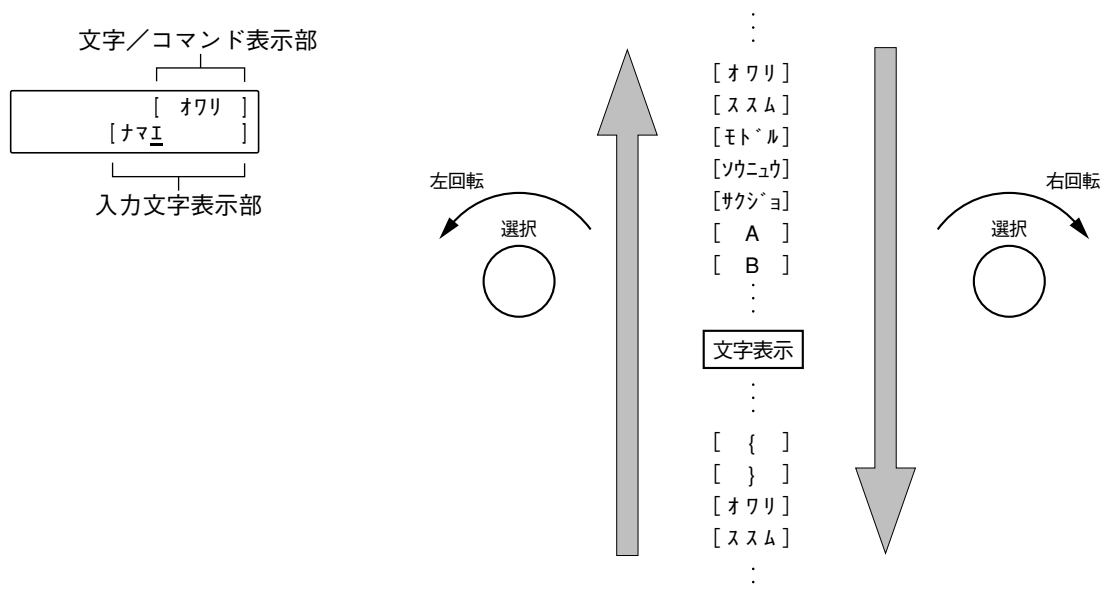
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X
Y	Z	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v
w	x	y	z	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	ミ
ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ
ヲ	ン	ァ	ィ	ゥ	ヱ	ォ	ャ	ュ	ョ	ツ	ゝ
。	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	!
^	#	\$	%	&	()	-	@	_	{	}

コマンド

[オワリ]	文字入力画面を終了する。
[ススム]	カーソル位置を一文字右へ移動する。
[モトメル]	カーソル位置を一文字左へ移動する。
[ソウニュウ]	カーソル位置に空白を挿入し、以降の文字を一文字右に移動させる。
[サクジヨ]	カーソル位置の文字を削除し、以降の文字を左に詰める。

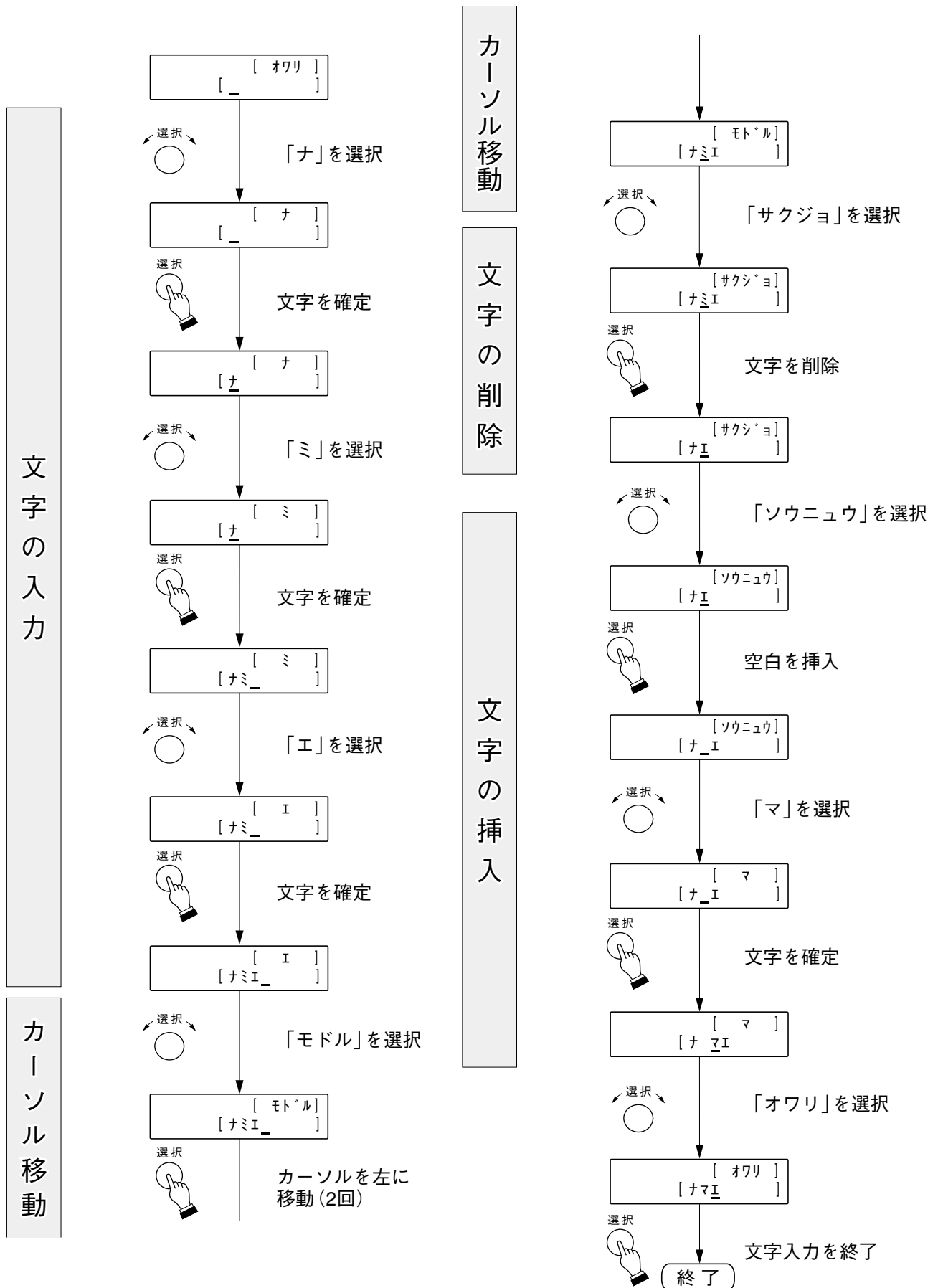
● 文字／コマンド表示部と選択ダイヤルの操作

選択ダイヤルを回すと文字／コマンド表示部の [] 内が変わります。



● 文字の入力例

「ナミエ」と入力し、「ナマエ」に修正します。



マイク放送と入力機器の放送

前面のマイク入力に接続されたマイクや前面、後面の予備入力に接続された外部演奏機器からも放送することができます。

放送にはあらかじめ優先が設定されています。

《 放送の優先順位 》

1. 緊急再生
2. マイク放送
3. プログラム再生
4. 外部演奏機器の放送

※ 録音中はマイクや入力機器からの放送はできません。マイクや外部演奏機器は録音専用となります。

■ マイク放送のしかた

マイク入力音量調節ツマミは最小位置（0）に調節しておきます。

1. マイクを前面のマイク入力に接続します。
2. マイクで放送しながら適正な音量になるようにマイク入力音量調節ツマミで調節します。

※ マイク放送中はプログラム再生の再生音は放送されませんが停止にはならず再生を続けます。

■ 入力機器の放送のしかた

予備入力音量調節ツマミは最小位置（0）に調節しておきます。

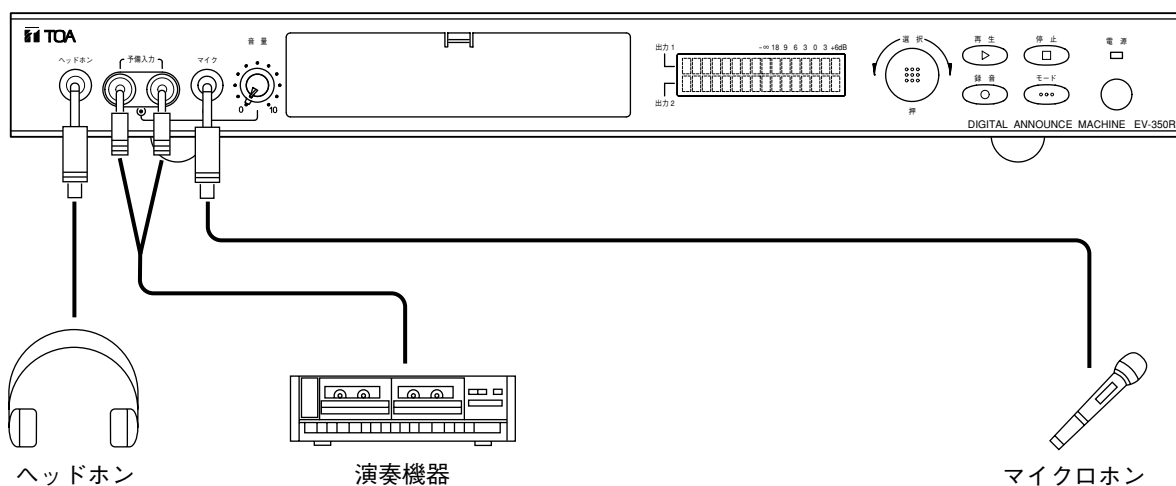
1. 外部演奏機器を予備入力に接続します。
予備入力は前面（ピンジャック）と後面（ホーンジャック）にあります。
前面の予備入力と後面の予備入力は内部でミキシングされています。
2. 外部演奏機器を演奏しながら適正な音量になるように予備入力音量調節ツマミで調節します。

設置

■ 接続例

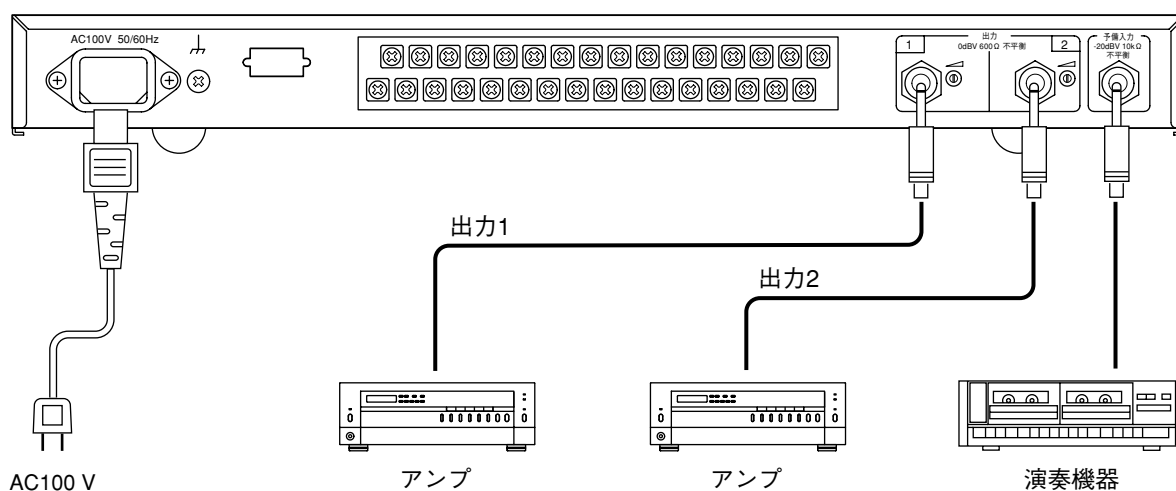
カセットデッキやCDプレーヤの演奏機器、アンプなどと接続するとき、また本機の電源を接続するときは各機器の電源を必ず切ってください。

● 前面



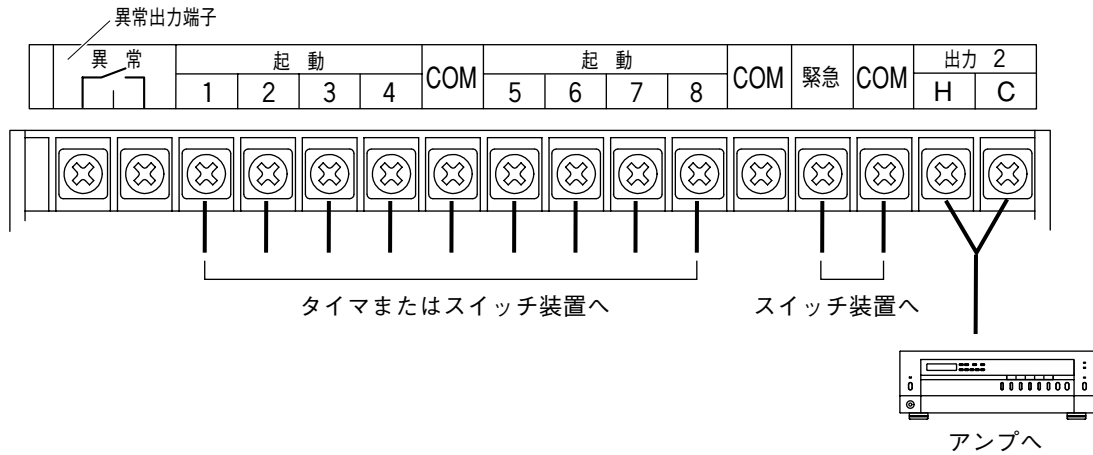
- ・ 録音時、マイク入力と予備入力は内部でミキシングされていますので、アナウンスとBGMを同時に録音することができます。
- ・ 前面の予備入力端子は内部でミキシングされていますので、演奏機器のステレオ出力を接続するとモノラルになります。
- ・ 録音中、マイク入力信号および予備入力信号は出力1、出力2から送出しません。ヘッドホン出力からの送出だけとなります。
- ・ ヘッドホンをヘッドホン端子に接続しても出力1、出力2からの音は止まりません。

● 後面



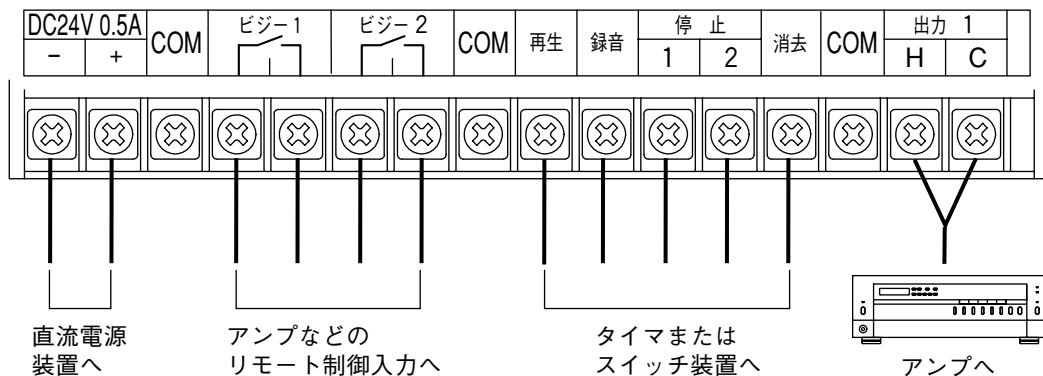
● 端子台

[上段]



- ・端子台の出力1、出力2はホーンジャックの出力1、出力2と同じ信号を出力します。
- ・接点入力は無電圧メイク接点、開放電圧DC24 V、短絡電流10 mA、短絡時間50 ms以上でお使いください。
- ・ビジー出力の接点容量はDC30 V 500 mA以下でお使いください。
- ・アンプの電源を直接制御するときは必ず十分な接点容量を持ったリレー接点を介してください。

[下段]



● 異常出力端子（後面端子台）の動作

通常はメイクしています。

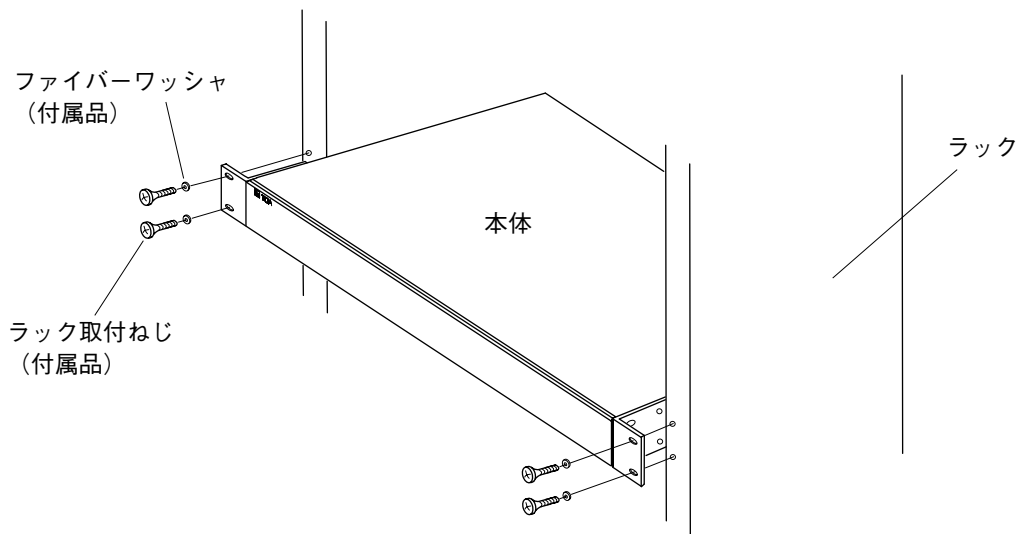
本機が次の状態になったとき、この端子がブレイクします。

- (1) カードスロットA、Bともにメモリカードが実装されていないとき
- (2) 使用できないタイプのメモリカードや故障のメモリカードが実装されたとき
- (3) SRAMメモリカードのバッテリー電圧が低下したとき
- (4) 本機の電源が切れているとき
- (5) 本機が異常動作したとき

(1) ~ (4) については、正常な状態になれば端子はメイクします。

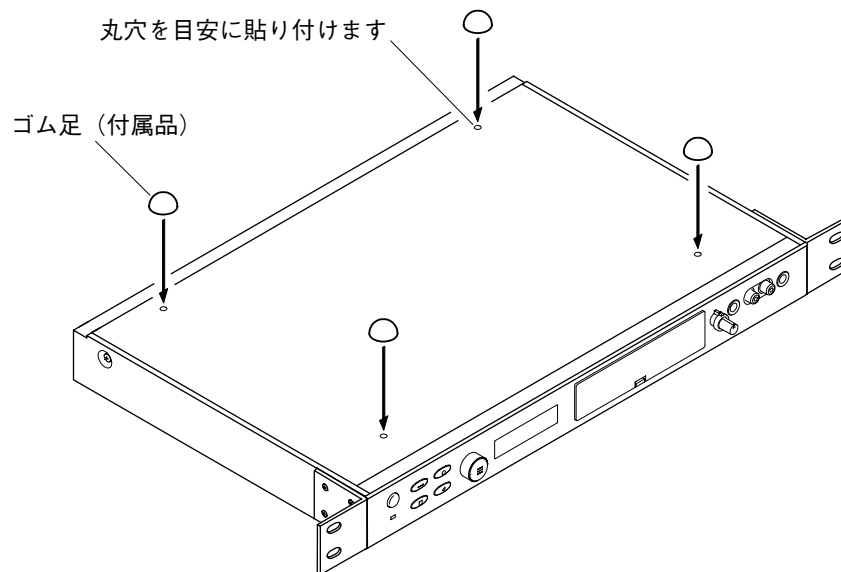
(5) の異常時には、一度電源を切り再度電源を入れなおしてください。正常に戻れば端子はメイクしますが、なお異常が続くようでしたら故障が考えられますので、販売店にご相談ください。

■ ラックマウントのしかた



■ ゴム足の取り付けかた

卓上に置いてご使用されるときは、付属のゴム足を本機の底面に貼り付けてください。

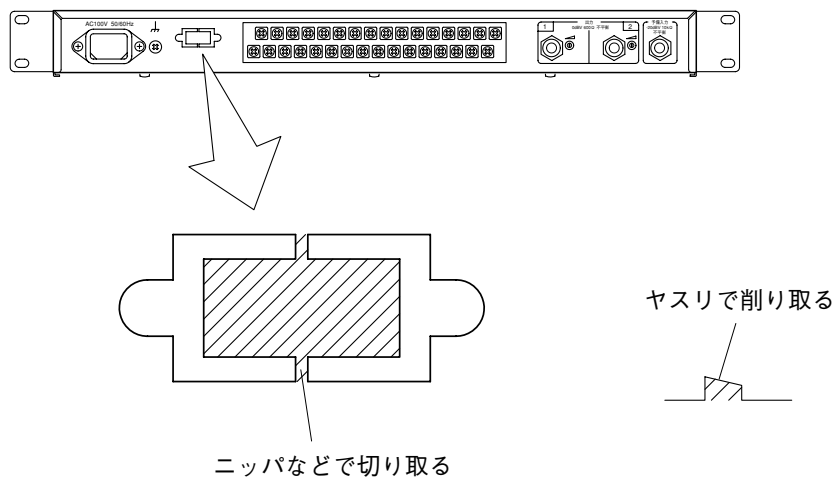


■ RS-232C 端子の移設

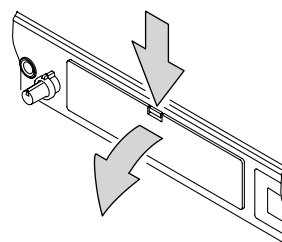
フロントカバーの中にある RS-232C 端子を後面パネルに移動させることができます。
RS-232C 端子の移設作業をするときは、必ず電源コードを抜いてから行ってください。

《 準備 》

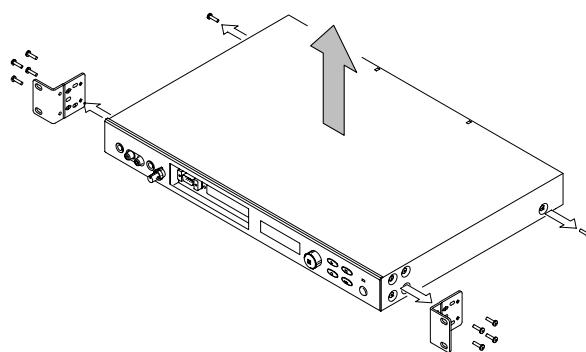
後面パネルの RS-232C 取付部のつなぎ部分をニッパなどで切り取り、切り残しをヤスリで削ります。



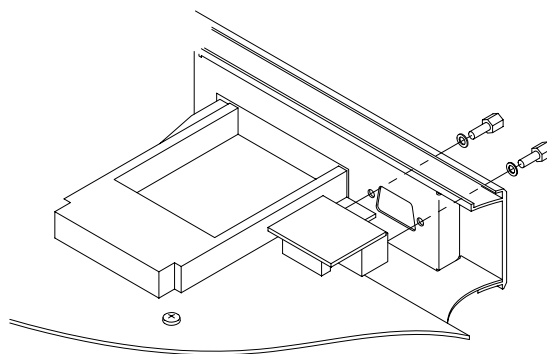
1. フロントカバーを取り外します。
フロントカバーのつめを下に押し、取り外します。



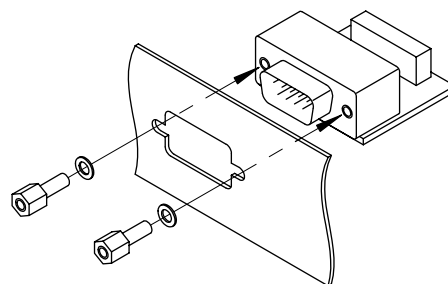
2. 側面左右各5ヶ所のねじをはずし、ラックマウント金具とケースを取り外します。



- 3.** RS-232C コネクタを取り付けているネジ（2本）とワッシャ（2本）を取り外します。



- 4.** 手順3.で外したネジとワッシャを用いてRS-232C コネクタを後面に取り付けます。



- 5.** ケース、ラックマウント金具、およびフロントカバーを元どおりに取り付けます。

■ 仕 様

電 源	AC100 V 50 / 60 Hz または DC24 V 0.5 A
消 費 電 力	12 W
周 波 数 特 性	20 ~ 20,000 Hz (44.1 kHz サンプリング時) 20 ~ 14,000 Hz (32 kHz サンプリング時)
歪 率	0.3%以下 (44.1 kHz、録音グレード：ハイ2)
出 力	出力1、2 : 0 dB*、600 Ω、不平衡、ホーンジャック / M3.5 ねじ端子 ヘッドホン出力 : 0 dB*、100 Ω、不平衡、ホーンジャック
入 力	マイク : -55 dB*、600 Ω、不平衡、ホーンジャック 予備 : -20 dB*、10 kΩ、不平衡、ホーンジャック / RCA ピンジャック
メモリーカード実装数	2枚 (A、Bの2スロット) ※メモリーカードは別売です。
録 音 文 章 数	カード1枚実装時 : 128文章または512文章 (切換式) カード2枚実装時 : 256文章または1024文章 (切換式) 上記以外に緊急文章を1文章録音可能 起動制御入力での録音は8文章 (ダイレクトモード) または256文章 (バイナリモード)
録 音 音 質	サンプリング周波数 : 32 kHz または 44.1 kHz 録音グレード : ロング (ビットレート 64 kbps) ノーマル (ビットレート 96 kbps) ハイ1 (ビットレート 128 kbps) ハイ2 (ビットレート 192 kbps) のいずれか
再 生 モ ー ド 数	2元モノラルまたは1元モノラル (切換式)
再 生 プ ロ グ ラ ム 数	8プログラム (ダイレクト制御)、256プログラム (バイナリ制御) のいずれか 上記に優先して緊急文章を1文章再生可能
制 御 入 力	起動1~8、再生、停止1、 停止2、緊急、録音、消去 : 無電圧メイク接点 50 ms 以上、 開放電圧 DC24 V、短絡電流 10 mA、 M3.5 ねじ端子 RS-232C 端子 : D-sub コネクタ (9ピン) オス
制 御 出 力	ビジー出力1・2、異常出力 : M3.5 ねじ端子、接点容量 DC30 V 0.5A
操 作 表 示	16文字 × 2行 バックライト付LCD
仕 上 げ	パネル : アルミ、黒 (マンセルN1.0近似色)、3分艶塗装 ケース : プレコート鋼板、黒 (マンセルN1.0近似色)、3分艶
質 量	約 4 kg

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● 付属品

電源コード (5 m)	1
不平衡型ホーンプラグ付コード	2
ラック取付ねじ	4
ラック取付座金	4
ゴム足	4



TOA お客様相談センター	フリーダイヤル 0120-108-117
商品の内容や組み合わせ、設置方法などについての技術的なお問い合わせにお応えします。 受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日除く)	ナビダイヤル 0570-064-475 (有料)
	FAX 0570-017-108 (有料)
	※ PHS、IP電話からはつながりません。

商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、下記のホームページをご確認ください。

TOA ホームページ <http://www.toa.co.jp/>